

平成 30 年度 事業報告

目 次	
1 廣望会・役員会開催状況	P 1
2 財産取得	P 4
3 借入金と償還金の状況	P 5
4 クリーニング工房 CoCo の状況	P 6
5 アトリエ CoCo の状況	P 1 7
6 キッチン CoCo の状況	P 4 5
7 CoCo JAVJAV・Bakery Cafe CoCo の状況	P 6 8
8 スタジオ CoCo の状況	P 8 2
9 アートカフェ CoCo の状況	P 1 0 4
10 地域生活支援センターCoCo の状況	P 1 1 2

令和元年 5 月 23 日

社会福祉法人 廣望会

多機能型障がい福祉サービス事業所	クリーニング工房 CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	ア ト リ エ CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	キ ッ チ ン CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	CoCo JAVJAV
	Bakery Cafe CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	ス タ ジ オ CoCo
生活介護 フリースペース	アートカフェ CoCo
共同生活援助・短期入所・相談支援・居宅介護	地域生活支援センターCoCo なの
共同生活援助・短期入所・相談支援	地域生活支援センターCoCo ちくま

社会福祉法人 廣望会

本年度法人設立21年、法人第1号事業所クリーニング工房CoCoが開所して20年となります。障がいのある方々の働く場がまだまだ無い状況の中で障がい者多数雇用事業所として、全国でも先駆けて障害者雇用を進めてきた長野リネンサプライの社長である納富廣幸理事長が「働く力はあれども企業就労が難しい」そんな障がいのある方々の働く場として、当時知的障がい者福祉工場20名定員クリーニング工房CoCoを開所しました。

それから20年・・・養護学校のPTA・育成会・障がい当事者の皆様のお声をお聞きしながら、アトリエCoCo・キッチンCoCo・CoCoJAVJAV・BakeryCaféCoCo・スタジオCoCo・アートカフェCoCo・地域生活センターCoCoながの・地域生活センターCoCoちくま（グループホーム8か所）と、千曲市・長野市・須坂市と3市に障がいのある方々の様々なニーズの下、働く場のみではなく、表現活動・生活・余暇支援等を含んで障がい者支援の場を創造してまいりました。

また、本年度長野市より「長野市障害者相談支援センター」事業を受託、千曲市・坂城町より「千曲市・坂城町基幹相談支援センター」のセンター長・相談員を新たに受託し、地域の障がいのある方々への相談支援を広く専門性をもって担い、地域社会への更なる貢献を目指して参りました。

そして、社会情勢の変化激しい時代において、福祉ニーズの多様化、障がいの多様化に伴ってのサービス提供の在り方の難しさを改めて実感するところですが、地域の中で支えて頂いていることへの感謝の気持ちを込めて、地域の中で障がいのある方たちと一緒に当法人が出来ることを真摯に考え進めて参りました。そして、障がいのある人もない人も・・・誰もが地域の中で笑顔で「働く」「暮らす」を当たり前を実現できる地域づくりの一端を担うべく、今後においても進めて参りたいと思います。

社会福祉法人 廣望会の役員会等の開催状況

【監事監査】

平成30年5月26日 平成29年度の監事監査

【理事会・評議員会】

平成30年6月4日 第76回理事会

- (1)平成29年度事業報告・決算報告並びに監事監査報告
- (2)就業規則改定について
- (3)就労継続支援A型労働者就業規則改定について
- (4)育児・介護規程改定について
- (5)基本財産追加による定款変更について
- (6)障がい福祉サービス 共同生活援助「(仮称)CoCo ホーム白塚」平成31年度事業計画について

- (7)クリーニング工房 CoCo 平成 30 年度機械整備計画について
- (8)就労継続支援 A 型 運営規程について
- (9)スタジオ CoCo 利用者送迎・外出時用バスの新規整備事業の実施について
- (10)第 50 回評議員会の開催の日時及び場所について

平成 30 年 6 月 15 日 第 50 回評議員会

- (1)平成 29 年度事業報告・決算報告並びに監事監査報告
- (2)基本財産追加による定款変更について
- (3)報告事項
 - 平成 30 年度事業計画・平成 30 年度予算について
 - 就業規則改定について
 - 就労継続支援 A 型労働者就業規則改定について
 - 育児・介護規程改定について
 - 障がい福祉サービス 共同生活援助「(仮称)CoCo ホーム白塚」平成 31 年度事業計画について
 - クリーニング工房 CoCo 平成 30 年度機械整備計画について
 - 就労継続支援 A 型 運営規程について
 - スタジオ CoCo 利用者の送迎・外出時用バスの新規整備事業の実施について

平成 30 年 9 月 28 日 第 77 回理事会

- (1)キッチン CoCo 所長の任命について
- (2)スタジオ CoCo 機械整備について

平成 30 年 11 月 21 日 第 78 回理事会

- (1)スタジオ CoCo 利用者送迎・外出時用バスの新規整備事業について、資金を借入れる件
- (2)スタジオ CoCo 機械整備について、資金を借入れる件

平成 31 年 1 月 28 日 第 79 回理事会

- (1)平成 30 年度補正予算について
- (2)経理規程の見直しについて
- (3)定款細則及び定款細則別表の見直しについて
- (4)評議員選任・解任委員会の運営に関する規定について

平成 31 年 3 月 28 日 第 80 回理事会

- (1)CoCo JAVJAV エアコン交換工事並びに外壁補修工事について及びそれに伴う補正予算について
- (2)就業規則の改定について
- (3)就労継続支援 A 型労働者就業規則の改定について
- (4)アトリエ CoCo 事業内容変更について
- (5)平成 31 年度事業計画について
- (6)平成 31 年度予算について
- (7)運営規程の変更について
- (8)スタジオ CoCo 油圧脱水機入れ替え事業について

【評議員選任・解任委員会】

開催なし

【職員総会・研修】

平成 30 年 3 月 26 日～30 日 法人新入職員内部研修

平成 30 年 4 月 1 日 平成 30 年度新年度会及び入所式 法人全職員出席

理事長の新年度に向けての訓示

法人新年度計画発表

新入職員紹介

辞令交付

永年勤続者表彰 精励職員理事長賞授与

情報交換会・懇親会

平成 30 年 12 月 8 日 講演会 桜井よし子氏

「これからの日本のあるべき姿とは」

平成 30 年 12 月 13 日 法人全職員出席（パート等も含む）

《研修会》

障がい者虐待防止及び危機管理について 綿貫常務理事

講演「事業所職員における障がい者虐待防止について」

講師：長野市権利擁護サポートセンターベターデイズ

センター長 岸田 隆 氏

講演 ワーク「虐待防止について考える」

～最近のニュースより～

講師：地域生活支援センターCoCo 内堀祐輔所長

《総会》

各事業所経過報告・活動紹介（DVD による）

伝達事項

懇親・情報交換会

平成 31 年 1 月 23 日 千曲市事業所新年会

平成 31 年 1 月 25 日 長野市・須坂市事業所新年会

【諸会議・その他】

平成 30 年 4 月 1 日 NLS グループ合同による「新年度会・新入職員入所式」

* 毎月 1 回経営会議（月次報告含む） 出席者：理事長 参与 事務局長 各事業所長

法人の経営状況、各事業・福祉サービスの運営状況について協議を行った。

* 毎月 1 回会計月次報告検討会

出席者：会計事務所 参与 事務局長 各事業所長 事務担当

会計事務所より月次の報告を受け、各事業の経営状況について確認、協議を行った。

* 毎月1回管理職会議

出席者：理事長 参与 事務局長 各事業所所長 各事業所課長

経営会議の報告、各事業所の状況報告、課題検討・協議を行った。

* 各事業所にての定期的な職員会議の開催

経営会議及び管理職会議の内容の周知、作業・生活支援上の課題検討、ケース検討・就労事業検討等を行った。

ほか、毎日職員打合せを行い様々な気付き・情報をタイムリーに共有し検討をし、チーム支援を行った。

* 各種団体の諸会議及び研修等への参加

・知的障害福祉協会・セルフセンター協議会・県社協・県・長野市自立支援協議会・千曲坂城自立支援協議会等の研修及び部会活動等に各事業所より積極的に参加をした。

【社会貢献事業】

* 地域の小学校との交流会「み～んなともだちプロジェクト」(福祉教育の実践・長野市)

* 引きこもりの子供たちや大人たちの活動の場の提供(フリースペース・須坂市)

* 荒廃農地の活用(長野市)

* 長野中央ライオンズクラブとの協力による生活困窮の子供たち・者への支援(フードドライブ・長野市)

* 長野市生活困窮者自立支援事業への支援協力(プチバイト事業/認定就労訓練事業所登録・長野市)

* 緊急ショートステイの提供(障がい者地域生活拠点として・千曲市)

* 長野県知的障がい福祉協会の活動への積極的参加協力

* 長野市及び千曲市・坂城町の自立支援協議会への積極的参加協力

* ほか、地域の行事活動等への積極的参加協力

廣望会並びに施設に関わる財産取得

平成30年5月	クリーニング工房COCO	投入機 M-11 設置工事
	総事業費	1,620,000円
平成30年8月	クリーニング工房COCO	クールミスト取付工事
	総事業費	1,714,881円
平成30年10月	スタジオCOCO	チェイスト・カレンダーSMR-4I
	総事業費	2,808,000円
平成30年10月	スタジオCOCO	油圧ポンプ取替え工事
	総事業費	916,920円
平成30年11月	スタジオCOCO	送迎バス購入

平成31年1月	総事業費 クリーニング工房C o C o	乾燥機 PF-60 設置工事	6,148,785円
平成31年3月	総事業費 C o C o J A V J A V	エアコン取替工事	460,566円
	総事業費		1,242,000円

借入金と償還金の状況

平成30年7月	福祉医療機構へ償還	6,860,000円
	〃 利息	61,740円
	(クリーニング工房C o C o 建設時借入金、償還終了)	
平成30年7月	福祉医療機構へ償還	840,000円
	〃 利息	41,160円
	(アトリエC o C o 建設時借入金)	
平成30年8月	八十二銀行借入へ返済	12,000,000円
	(スタジオCoCo リネ資材購入資金、5年返済毎年12,000,000円)	
平成31年1月	福祉医療機構へ償還(利息)	35,280円
	(アトリエC o C o 建設時借入金)	
毎月	八十二銀行借入金利息(年額)	634,539円
	(スタジオCoCo リネ資材購入資金)	
毎月	八十二銀行借入金利息(年額)	202,494円
	(地域センター CoCo ちくま 三本木建設時借入金)	
毎月	福祉医療機構借入金利息(年額)	112,500円
	(地域センター CoCo ちくま 三本木建設時借入金)	
毎月	福祉医療機構借入金利息(年額)	102,000円
	(アトリエ CoCo 建設時借入金)	
毎月	八十二銀行借入金利息(11~3月)	17,361円
	(スタジオCoCo 送迎バス購入時借入金)	
毎月	八十二銀行借入金利息(11~3月)	10,867円
	(スタジオ0 CoCo 機械装置設置時借入金)	

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業
多機能型障がい福祉サービス事業所

ク リ ー ニ ン グ 工 房 Co Co

目の前のクリーニングの仕事を黙々と行き、常に効率を考えて試行錯誤の1年だった。多くの利用者の移動はあったが、後の生産状況にもあるとおり、年間の生産量は、昨年度に対し5%増で過去最高に達した。

40名の利用者は、とても元気で精神的にも遅しく、安定的な就労生活を送っている。

支援者側の課題として、作業支援員の配置、繁忙期の時差出勤による交代勤務等を行いながら、工場の運営と個別支援作成業務の体制をつくることを計画した。支援の軸となる個別支援計画も家族面談を取り入れながら作成した。今後も支援員の役割分担を明確にしながら進めていきたい。

法人の基幹となり得るよう、ひとりひとりのその力を存分に発揮していきたい。

就労継続支援A型

1 事業の開始

平成10年8月1日 知的障がい者福祉工場操業開始

平成19年4月1日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる。

平成30年5月1日 定員を20名から24名に変更する。

2 利用者の推移

平成30年	4月	1日		26名
平成30年	4月	8日	1名退所	25名
平成30年	7月	1日	1名入所	26名
平成30年	7月	31日	1名退所	25名
平成30年	11月	15日	1名退所	24名
平成31年	3月	31日	現在	24名

3 利用者の内訳

出身市町分布

長野市6名 千曲市10名 上田市4名 坂城町4名

性別 男性 18名 女性 6名

年齢

20歳～49歳 平均年齢34.4歳

20代・・・8名 30代・・・9名 40代・・・7名

障がい種別

全員知的障がい者療育手帳・・・ B1 10名 B2 13名 A1 1名

その他

男性 18 名中利用者 4 名、女性 6 名中利用者 2 名が CoCo ホーム千曲(当法人運営ケアホーム)より通勤

4 勤務体制

始業時刻... 8 : 40 終業時刻... 17 : 10

休憩... 昼休み(50分) 3時休み(20分) 実労時数... 7時間 20分

・年間休日 90 日... 繁忙期及び納期の変更等のため、1 年単位の变形労働時間制で運営をしている。原則として木曜日・日曜日は休みとした。(希望者は残業も担っている)

5 利用者の通勤方法

(1) 通勤支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 13 名

(2) 徒歩及び自転車 7 名

(3) 公共の路線バスおよび家族の送迎 4 名

6 通所状況

勤務実態(出勤率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
94.9%	95.7%	98.0%	94.3%	97.0%	97.0%	95.3%	93.1%	95.7%

1月	2月	3月	年平均
93.6%	94.4%	93.9%	95.2%

全体の通所率は前年度平均とほぼ同様。すべての月で通所率が 90% 以上である。

7 利用者の給与

給与は最低賃金を確保するよう努力しているが、労働実態に合わせて労働基準監督署の承認を得て最低賃金の適応除外を受けている方が 9 名いる。通勤費は実質全額支給、有給休暇付与、社会保険・労働保険全員加入。

年収の状況

29,000 円 ~ 500,000 円	3 名(年度内退所者)
695,800 円 ~ 1,000,000 円	5 名
1,000,001 円 ~ 1,300,000 円	2 名
1,300,001 円 ~ 1,400,000 円	1 名
1,400,001 円 ~ 1,500,000 円	2 名
1,500,001 円 ~ 1,600,000 円	5 名
1,600,001 円 ~ 1,700,000 円	9 名

平均年収 1,453,000 円 (年度途中入退所者を除く)

月額平均 121,000 円

(24 名 障害者基礎年金受給... 2 級 24 名 年間 822,250 円)

8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・所長との個別面談にて「就労継続 A 型支援計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。6 カ月ごとのモニタリングを実施して見直しをした。

9 利用者の作業内容

洗い場 3名 シーツローラー 4名 浴衣ローラー 1名
 多種ローラー 8名 タオルたたみ 8名

A型利用者は洗い場、ローラーでの作業が主である。中には体力等に応じ軽作業のタオルたたみを担う方もいる。

利用者は出勤率にもあるように、真面目に日々勤務をして自分の役割を果たしている。ただし、中には能力後退が顕著であり、限られた作業種にしか従事できない方が複数人見受けられる。

10 職員の指導態勢 総員 16名（平成31年3月31日）

所長 サービス管理責任者 出荷主任 機械保守・管理担当支援員

支援員7名（パート1名） 作業支援員7名（パート2名）

事務兼支援員1名（パート1名） 配送1名

作業支援員は、個別担当を兼務する支援員とともに各作業部署に配置し、利用者の作業指導を始め利用者に無理な作業（出荷に直接関わる作業など）や残業と次の日の段取り、機械メンテナンス等の作業をしている。

11 職員の処遇

服務規程及び賃金規定により処遇している。

障がい者の人権擁護については、平成24年10月の障がい者虐待防止法施行にあたり、特に職員としてあるべき利用者対応・指導方法について、個別指導及び相談に心がけた。

職員研修については、本年度の実績は下記のように実施した。

[研修実績]

所内研修 工場内における危機管理・安全管理と工場運営について
 障がい者の人権擁護について

施設長研修 知的障がい福祉協会主催

職員研修 知的障がい福祉協会各部会（支援員 事務） 県主催

クリーニング師研修 その他

主催・実施主体	内容	出席者
社会就労センター関係	福祉就労強化事業工賃ステップアップセミナー	2名
長野県知的障害福祉協会関係	県知障協代表者会 知障協研修会「事業所の管理者・施設長研修」	1名 1名
千曲・坂城自立支援協議会	ケアマネジメント部会（5月・12月・3月） 就労事業所連絡部会 さん・さんネット部会	1名 2名 2名
長野県・県社協関係	苦情対応システム研修会 障がい者虐待防止・権利擁護研修 就労継続B型事業アセスメント実施研修	1名 1名 1名
労働基準監督署	過重労働防止説明会	1名

	科学物質管理研修会	1名
その他	安全運転管理者講習	1名
	安全運転講習会	1名
	防火管理者会議	1名
	法人関係	法人職員研修会・総会

12 生産活動

取り扱い業務 ホテル・旅館寝具等のクリーニング

シーツ 掛けカバー 枕カバー クロス類 ナプキン類 浴衣 ガウン
タオル類 一般クリーニングの受付

協力顧客 (株)戸上リネンサプライ 長野リネンサプライ(株) 信州リネンサプライ(株)
(有)東京洗染 労協ながの(つるの湯・福祉健康プラザ) 千曲市高齢福祉課
千曲市福祉課 千曲市子育て支援課(千曲市内保育園4施設) 千曲坂城消防本部

ともいきライフ月影 上田第三ひもろ木園 NPO法人らぼうる
城越自治会 日本レクシー(株)(白鳥園) 坂城保育園

生産状況 生産トン数は前年度より5%増加となっている。
夏をはじめとする繁忙期において、NLSグループにて生産量の調整を行う
などして作業をすすめた。

月別全生産トン数

月	平成29年度	平成30年度	前年比較
4月	190トン	213トン	23トン増
5月	247トン	272トン	25トン増
6月	202トン	226トン	24トン増
7月	267トン	278トン	11トン増
8月	300トン	299トン	1トン減
9月	266トン	250トン	16トン減
10月	230トン	272トン	42トン増
11月	199トン	225トン	26トン増
12月	183トン	208トン	25トン増
1月	190トン	187トン	3トン減
2月	182トン	180トン	2トン減
3月	199トン	177トン	22トン減
合計	2,655トン	2,787トン	132トン増

13 健康管理

利用者の特性から健康管理には日々のきめ細やかな対応が必要なためそれなりに
配慮をしている。(職員も同じ)

日々の配慮

朝会時の健康観察と言葉掛け

作業時の巡回指導と担当職員の直接指導

特定指導、相談

インフルエンザ予防のための「手洗い・うがい・消毒」励行のための声掛けを

常時実施

熱中症、脱水症状の注意喚起と水分補給の呼びかけを常時実施

特定管理

- ・毎月2回の非常勤安里みどり看護師による健康相談

3事業合計 延べ107人実施

健康相談時に体重測定、及び血圧測定、必要に応じて体温測定を実施し、経過的に記録をして健康管理に努めている。

生活習慣の相談が主である。また、持病のある方や、体調を崩した方に対しては、健康の維持についてのアドバイス等いただいた。

健康相談では、いつもと違う雰囲気の中で色々なことを相談することができている。普段ご自分のことを伝えることが苦手で、訴えが少ない方も看護師にいろいろと相談ができていた。

- ・健康診断

日本労働福祉協会長野県支部による健康診断 平成30年6月 2日(土)

- ・安里嘱託医師による健康診断 平成31年2月15日(金)

家庭連絡 必要に応じて随時行う。病院へのつなぎも行う。

保健講話

安里嘱託医師による健康講話 平成31年2月20日(水)

「貧血について」

動画を見ながら、バランスの取れた食事が大切。

インフルエンザの予防接種実施 平成30年11月17日(土)

14 安全・衛生管理

安全管理

日常、機械操作および安全確認を行っている。工場内の機械設備 安全・危機管理に努める、機械設備の保守点検、管理業務の見直し、危険個所に事故防止のためのガード等設置、作業標準手順書の整備、危険区域、部位に注意喚起表示の設置、機械修理時の標記、動作確認等を行っている。

日常的には、管理者の指示のもとに安全・衛生思想の普及や労災事故防止のための点検等を随時行うとともに、事故防止についての声掛けを継続的に行っている。

この他、衛生管理、危険防止として日々施設内外の整備に努めるため、朝礼終了後から

作業開始までの時間を利用して、各部署毎に清掃に取り組んだ。

防災訓練

防災計画により、防災訓練を年度内2回実施した。

平成31年 1月16日(水) 消火・通報・避難誘導訓練

平成31年 3月 6日(水) 救急訓練・身近にあるものでの止血

避難誘導訓練においては消防署員より「非常によく訓練されている」と評価がある。

15 委託給食

常時利用者 22名

昼食数 年間268日 合計5,360食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見の吸収(随時)

誕生日メニューの実施(利用者の誕生日近くに本人の希望メニューによる)

選択メニューの実施(今年度は特に希望を反映)

給食検討会の実施(キッチンCoCo:栄養士・調理員・所長・給食担当)

16 QOL活動の実施状況 - 就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様 -

工場稼働日におけるカルチャー教室の実施

・スポーツ活動

・季節に応じたミニ行事 「クリスマス会」「鏡開き～おしるこを食べる会」「節分豆まき」

諸行事の実施および参加

・知的障がい福祉協会北信地区施設のレクの実施及び参加

(休日余暇支援 他施設の利用者及び地域や学生ボランティアとともに)

・千曲・坂城自立支援協議会さんさんネットの実施及び参加

(休日余暇支援 千曲市・坂城町の障害児・者及び地域のボランティアとともに)

・クリーニング工房 CoCo での事業及び行事の実施

以下実施状況

開催日	内容	参加者
4/19(木)	日帰り旅行「東京ディズニーランド」	利用者20名 他9名
8/1(水)	第20回創業祭	利用者33名 他21名
9/9(日)	第17回長野県障がい者スポーツ大会 長野県主催	利用者8名 他2名
10/21(日)	家族レク そば打ち体験とちびっこ忍者村 家族会主催	利用者18名 他11名
12/12(水)	クリスマス会	利用者41名

		他 13 名
2/24 (日)	家族のつどい 利用者参加 CoCo 家族会主催	利用者 3 名 他 17 名

生活相談支援 随時或は特定して実施 健康上の問題 仲間関係
経済生活面等 ケースによっては圏域のコーディネーター、
関係機関とケア会議ケア会議を行った。

家庭訪問 家族を交えての助言、指導をする必要のある時は必要に応じて随時家庭訪問をした。ご家族に来所していただくこともあった。

家族会の運営 家族会総会・家族レク(旅行)・家族のつどい・サンアップル等の諸行事への積極的参加呼びかけ
助っ人隊'のタオルたたみ体験

17 地域への開放状況

千曲市及び周辺市町

- ・若宮区及び芝原区には区費を納入し区民としての交際をしている。
- ・千曲・坂城自立支援協議会

運営委員会 就労・事業所連絡会 さんさんネット部会 地域支援部会
ケアマネジメント部会 全体会 に参加

同業者関係

環境衛生同業組合に加入、情報を得ている。

現場実習の受入れ

- ・稲荷山養護学校、上田養護学校、安曇野養護学校から体験実習や就職をめざしての実習の受け入れ
- ・施設研修のための見学受入れ(学校、PTA、民生児童委員協議会、県内外の施設、企業等)

県及び北信の知的障がい福祉協会の一員として、各会合に参加した

就 労 移 行 支 援

1 事業の開始

平成 14 年 4 月 1 日 障害者等共同作業訓練事業を開始する
平成 15 年 4 月 1 日 補助金認可され、新たにスタート
平成 19 年 4 月 1 日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる
平成 21 年 4 月 1 日 定員を 20 名から 10 名に変更する
平成 25 年 12 月 1 日 定員を 10 名から 12 名に変更する。
平成 30 年 5 月 1 日 定員を 12 名から 6 名に変更する。

2 利用者の状況

平成 30 年 4 月 1 日 8 名
平成 30 年 4 月 30 日 男性 1 名退所

平成 30 年 9 月 1 日 女性 1 名退所

平成 31 年 3 月 1 日 男性 1 名退所

平成 31 年 3 月 31 日 現在 4 名

3 利用者の内訳

出身市町分布 長野市 3 名 築北村 1 名

性別 男性 3 名 女性 1 名

障害種別 知的障がい者 4 名 (B1・1 名 B2・3 名)

年齢 19 歳～21 歳 平均年齢 19.5 歳

10 代...3 名 20 代...1 名

4 作業訓練内容

事業運営日数 268 日 (基本的には木・日の週休 2 日制 他開所日は希望通所)

日 課 8:40～17:10 昼休み 50 分 3 時休み 20 分

(基本的には本人希望と体調・体力等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。)

作業訓練内容 タオル・ガウン・パジャマ・作務衣・ジャージ等のたたみ作業

公共温泉施設のマットのクリーニング (回収と配達も)

シーツ等投入補助 洗い場仕分け補助

就職に向けて職場実習、施設外就労を行う

状 況 全員が大変前向きであり、欠席も少なく毎日元気に通所をされる。作業能力も高く、先輩社員を追い越す勢いである。

中には障がい特性から集中が難しい、気持ちが落ち着かない。あるいは、タオルたたみの中のダスターを中心に作業に取り組んでいる方もいる。

5 利用者の通所方法

(1) 通所支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 4 名

事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている

6 利用者の通所状況

(通所率)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
98.2%	90.1%	79.9%	79.1%	75.6%	92.4%	95.7%	99.5%	96.5%

1 月	2 月	3 月	年平均
95.5%	100.0%	100.0%	91.8%

7 利用者の工賃支給

月	平均工賃額	月	平均工賃額
4 月	19,500 円	10 月	19,300 円
5 月	19,400 円	11 月	18,000 円
6 月	16,400 円	12 月	16,900 円

7月	20,700円	1月	19,400円
8月	22,800円	2月	18,000円
9月	17,000円	3月	17,300円
平均月額 18,700円			

8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・施設長との個別面談にて「就労移行支援計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。3カ月ごとのモニタリングを行い見直しをした。

9 職員の指導体制

所長 サービス管理責任者 1名

支援員 3名（うち1名就労支援員）

10 健康管理

就労継続支援A型事業とB型事業と同様

11 給食の提供

希望者には給食を提供した（1食250円） 3名 804食

利用者の希望・意見の吸収（随時）

誕生日メニューの実施（利用者の誕生日近くに本人の希望メニューによる）

選択メニューの実施（今年度は特に希望を反映）

給食検討会の実施（キッチンCoco：栄養士・調理員・所長・給食担当）

12 QOL活動の実施状況

就労継続支援A型事業及び就労継続支援B型事業と同様

13 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労継続支援B型事業と同様

就労継続支援B型

1 事業の開始

平成14年4月1日 障害者等共同作業訓練事業を開始する

平成15年4月1日 補助金認可され、新たにスタート

平成19年4月1日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる
（就労継続支援A型事業・就労移行支援事業）

平成21年4月1日 就労継続支援B型事業開始 定員10名

平成25年12月1日 定員を10名から8名に変更する。

平成30年5月1日 定員を8名から10名に変更する。

2（利用者の状況）

平成30年 4月1日 11名

平成30年 5月1日 1名入所

平成31年 3月1日 1名入所

平成30年度における総在籍者数 11名

3 利用者の内訳

出身市町分布 千曲市 9名 上田市 1名 長野市 1名

性別 男性 7名 女性 4名

障害種別 知的障がい者 11名 (A 1...1名 B 1...6名 B 2...3名)

身障 2級 1名

年齢 21歳～56歳 平均年齢 35.0歳

20代...4名 30代...4名 40代...1名 50代...2名

4 作業訓練内容

事業運営日数 268日 (基本的には木・日の週休2日制 他開所日は希望通所)

日 課 8:40～17:10 昼休み 50分 3時休み 20分

(基本的には本人希望と体調・体力、家庭環境等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。家族の介護、家事を担っている利用者等もいる)

作業訓練内容 タオル・ガウン・パジャマ・作務衣・ジャージ等のたたみ作業

公共温泉施設のマットのクリーニング(回収と配達も)

シーツ等投入補助 洗い場仕分け補助

状 況 ・ひとりひとり状況が異なるなかで通所状況も様々である。

・安定的な作業をする方が多数いる一方で、中には、作業の力の停滞が顕著に見られる方もいる。障がい特性や、心理的な部分で支援方法に苦慮をする場面もあり、必要に応じて家庭や相談機関との連携を図っている。

・11名のうち発達障害・自閉的傾向の方が4割の人数である。障がい特性や個性に合わせ専門的な知識や支援方法が必要であり、職員の支援技術の研さん習得が今後課題である。

5 利用者の通所方法

(1) 通所支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 4名

(2) 徒歩及び自転車 7名

事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている

6 利用者の通所状況

(通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
98.1%	94.9%	99.2%	96.0%	84.2%	99.1%	97.2%	98.7%	94.1%
1月	2月	3月	年平均					
96.3%	99.5%	97.0%	96.2%					

7 利用者の工賃支給

月	平均工賃額	月	平均工賃額
---	-------	---	-------

4月	29,000円	10月	31,000円
5月	29,500円	11月	27,800円
6月	29,700円	12月	30,000円
7月	58,700円	1月	29,800円
8月	31,900円	2月	27,000円
9月	28,800円	3月	29,000円
平均月額 32,000円			

8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・施設長との個別面談にて「就労継続支援B型計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。6カ月ごとのモニタリングを行い見直しをした。

9 職員の指導体制

所長 サービス管理責任者1名

支援員 4名（うち1名目標工賃達成指導員）

10 健康管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

11 給食の提供

希望者には給食を提供した（1食250円） 8名 2,948食

利用者の希望・意見の吸収（随時）

誕生日メニューの実施（利用者の誕生日近くに本人の希望メニューによる）

選択メニューの実施（今年度は特に希望を反映）

給食検討会の実施（キッチンCOCO：栄養士・調理員・所長・給食担当）

12 QOL活動の実施状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

13 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業
多機能型（ 就労継続 B 型 就労移行 生活介護）

アトリエ CoCo

アトリエ CoCo は平成 17 年 7 月に開所させて頂き、本年 13 年を迎えました。四季折々の豊かな風景に恵まれたこの地域の中で多くの方々にご支援・ご協力を頂き、お陰様で無事に 13 年を迎えさせて頂くことが出来ました。この豊かな自然環境も伴って、障がいの重い方々のご利用ニーズが高くなっています。本年度におきましても言葉の出ない重度の障がいのあるご利用者様を迎えました。ほぼマンツーマン支援の必要な重度の障がいのある方々の生活介護の支援の場としての地域ニーズにお応えできるよう、スキルアップのための研修に積極的に職員が参加し研鑽を積み、新年度の生活介護事業の拡大のための準備を進めました。

また、地域共生社会を目指す中で障害のある皆さんが「働く」「暮らす」を笑顔で実現できるように、地域の皆さんと様々なイベント等（若穂文化祭、若穂ふくしまつり、保科小学校全校生徒との交流会、CoCo 主催のオープンイベント 3 回 等）に積極的に参加させて頂きました。地元保科小学校のみなさんとの交流会も 9 年目を迎え全校生徒と「みんな友達絆プロジェクト」を地域のイベントでも発表をし、「み～んな友達絆プロジェクトメンバー」が拡大しています。

ほか、生活困窮者のための就職活動応援金付職場体験事業（プチバイト事業）を「まいさぼ長野」よりの依頼によって受け入れをし、「生活困窮者就労訓練事業」の受託事業者として認定されました。

障がいのある方々への理解を深めるとともに社会貢献として生活困窮者への支援も含め、より良い地域社会を築き上げていくために、私たちは障害福祉サービスを提供する事業者として地域の中で何を成すべきかを考え、今後も地域の皆様と様々なるチャレンジをしていこうと考えています。

就労継続支援 B 型事業

利用者の推移

平成 30 年 4 月	1 名	就労移行より移行入所	...在籍者数	39 名	
平成 30 年 10 月 31 日		就職により退所	...在籍者数	38 名	
平成 31 年 1 月		新規入所	...在籍者数	39 名	
平成 31 年 2 月 1 日		就労移行より移行入所	...在籍者数	40 名	
				総在籍者数	40 名

就労移行支援事業

利用者の推移

平成 30 年 4 月			...在籍者数	1 名
平成 31 年 1 月 31 日	31 名	就労継続 B 型へ移行退所	...在籍者数	0 名
				平成 31 年 3 月 31 日就労移行事業廃止

生活介護事業

利用者の推移

平成 30 年 4 月

稲養高等部卒業生受入

...在籍者数 18 名

総在籍数 18 名

就労継続支援 B 型事業

1 所員の内訳

出身市町村別

長野市 29 名 信濃町 2 名 須坂市 2 名 飯山市 1 名 小川村 1 名 筑北村 1 名
千曲市 3 名

性別 男 29 名 女 9 名

平均年齢 36 歳 (平成 30 年 10 月 1 日現在)

障がい種別 知的障がい 35 名 精神障がい 3 名

2 通所方法

送迎バス利用 長野駅より 14 名 大豆島東団地より 7 名 信濃川田駅より 4 名

家族の送迎 3 名

バイクまたは車 (本人運転による) 5 名

徒歩 4 名

路線バス 1 名

3 日課について

8 : 5 0	通所 着替え
8 : 5 0 ~ 9 : 0 0	朝会 ラジオ体操
9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	作業
1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0	作業
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食 休憩
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	作業
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 5 0	休憩
1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 5 0	作業
1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 0 5	掃除
1 6 : 0 5 ~ 1 6 : 1 0	着替え 帰りの会

土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日 (作業) の場合は 1 0 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 まで。Q L 活動の場合は、活動内容によってその都度設定。

毎週木曜日の午後はカルチャー活動

4 通所状況

通所実態 (通所率)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
74.0%	72.8%	69.4%	73.5%	68.1%	66.9%	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均

75.5%	74.3%	69.5%	67.9%	72.8%	69.5%	67.7%
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

毎週土曜日及び祝日は自由通所日（Q L活動日以外）としているが、通所率は低い。

月2回ほど土曜日に実施しているQ L活動は、定員を設けている。

精神障がいのある数名は通所率が低いが、その他の所員は概ね元気に安定的に通所した。

5 個別支援計画について

所員に対して、日々支援を行うにあたって、最も大切となってくるのが個別支援計画である。計画を立てるにあたり、事前にご本人やご家族、関係機関等とのケア会議を開き、アセスメントを行い、ご本人のこれまでの歩みや、得意なことや苦手に行っていること、日々の行動や日常生活などで配慮することなどを確認し、個別支援計画を立てる。個人個人のニーズは様々であり、出来上がってくる個別支援計画もそれぞれ違う。この個別支援計画が重要な要素、手段となって支援が展開されていく。

6 就労活動について

《 平均工賃 》

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	21,146 円	10月	23,912 円
5月	21,082 円	11月	21,747 円
6月	21,621 円	12月	28,615 円
7月	26,829 円	1月	19,034 円
8月	20,335 円	2月	19,408 円
9月	17,845 円	3月	42,701 円
平均工賃額 25,052 円			

【 クリーニングチーム 】

目標売上額...26,000,000 円 売上げ実績...26,513,583 円(対目標額 109%)

タオルも人も結束力で目標売上金額達成！

< 作業内容 >

【 洗い場 】

洗濯物の洗浄・乾燥

雑巾類のたたみ作業及び出荷準備

機械類のメンテナンス

【 タオル班 】

タオル類を中心に仕上がり状態の確認、タオルたたみ、及び出荷準備

【 私物 】

私物類の仕上がり状態の確認、たたみ作業、及び出荷準備

結束バンド仕分け及び封入作業

【 配送 】

長野リネンサプライ(株)本社工場様、長野リネンサプライ(株)須坂工場様、ホテル国際 21

様、十福の湯様、コトリの湯様、犀北館様及び若穂病院様への納品回収

<実施内容・時期>

- ・ A班は『シミ・汚れを見落とさない、クレームゼロ』、B・C班は『仕事中はおしゃべりをしない!』をチーム目標とし、それに沿って作業を進めていった。
- ・ 作業を効率良く行う為、所員の作業配置、作業場の模様替え等検討を行った。
- ・ 包みのできる所員を増やす為、はじめはぞうきんの包みからやり方の指導を行い、慣れてきたところで製品の包みも一部受け持ってもらった。
- ・ タオルの出荷時間が迫っているものに関しては、その事を全員に伝え、遅れることのないようその都度声を掛けながら進めていった。
- ・ タオルの混ざり防止策として、仕上がったタオルを積んでいる台車の位置を固定したり、台車カバーの色分けを行った。

<運営面において>

- ・ 大きなけがや事故もなく、進めることができた。
- ・ 回収したタオルを全てたたんでも、東横イン、ルートイン中野のタオルがお客様からの発注の枚数に届かないという事があり、NLS 本社や(株)トレスとその都度調整をしながら進めてきた。
- ・ 別のお客様のタオルが混ざっている状態で出荷してしまうという事が何度かあった。特に白タオルについては混ざりやすいので、作業の順番や結束したタオルを置いている台車の位置などに気を付け、他のタオルが混ざらないよう今まで以上に徹底していく。
- ・ 出荷タオルの数え間違いも何度かあり、職員による結束前の数量チェックを徹底した。仕上がったタオルに関しても台車に乗せてから職員がチェックをするなど不備のないよう努めた。

<評価・課題>

- ・ 金曜日の残業については避けられないが、それ以外の日はタオルが大量に残ってしまうということもなく、残業も少なかった。
金曜日の残業も近年に比べると格段に少なくなっている。
- ・ 機械の故障やトラブルも何度かあったが、作業を前倒ししたりと、その都度臨機応変に対応できた。
- ・ 所員の数が多く、作業スペースが十分にとれなかった。作業配置の工夫を検討。
- ・ 相性の良くない所員については、作業場を別にしたり、できるだけバッティングしないよう心がけたが、限られた空間の中なので回避できずトラブルになることが多々あった。
- ・ 所外に出てしまう所員が多く、職員も不足していて仕事が思うように進まない事が多々あった。
- ・ タオルB班の雑巾やサウナマット、色タオル作業に関しては検品が不要となり昨年と比較しても仕上げられる数量は増加し、職員の負担が軽減された。
それによりB班でも白タオルを仕上げる余裕が生まれた。その際、職員による検品を徹底した。
- ・ 昨年まで課題となっていた不良タオルの山は、どのように処理したらよいか関係機関に確認

をし適切に処理することが出来ている。

作業場にため込まないよう、比較的作業量の落ち着いた水曜、木曜、金曜 AM を不良タオルの整理日とし毎週確認を行い作業場を有効に活用した。

- ・機械類の修理及び故障、重油の値上がり重なったが十福の湯、コトリの湯、犀北館様の作業量が増えたことにより売り上げアップにつながった。

【 農作業チーム 】

目標売上額...2,100,000 円 売上げ実績...1,925,167 円(対目標額 92%)

去年の価格高騰からファンが増加、美味しい!安い!新鮮!アトリエ野菜が大人気!!

<作業内容>

受託作業

- ・きのこキャップ洗浄作業((株)泰和より委託)

自主生産

- ・野菜の栽培及び販売
- ・花束の販売(仕入れ)

<評価・課題>

- ・雑草対策として、春の大根や蕪にマルチシートを敷いて対応した事で良い野菜を沢山収穫する事が出来た。
- ・家庭通知で宣伝、営業することで、所員の家庭からも沢山注文をもらえた。
- ・以前からの継続で堆肥を重点的に沢山入れる事で、出来の良い美味しい野菜を作る事が出来た。
- ・値段は高くは無かったが、市場も有効活用し、破棄してしまう野菜はほぼ無く、在庫過多にもならず売り切る事が出来た。
- ・セルプの農福連携プロジェクトで今年は東京月島で販売する事が出来た。持って行った野菜全て完売。
- ・良いにんにくが沢山でき、販売でもとても好評だった為、31 年度分に関しては倍の植え付けを行った。
- ・堆肥取りのチームワークが良くなり、所員それぞれが役割をよく理解し、以前よりも短時間で作業を行うことが出来てきている。
- ・アトリエ横の畑を今年度から新しく借り、荒れ果てた土地だった為、今年度は試しに大豆を撒いてみたところ、とても良い大豆を大量に収穫する事が出来た。
- ・小豆に関して、去年の反省を活かし雑草処理を行ったが、雑草の成長のほうが早く、また収穫量が減ってしまった。夏場の暑い時期にやらなくてはいけない為、熱中症や体力的にも厳しいが、来年度も反省を活かし引き続き気を付けていく。
- ・一部の所員だが、作業の内容をよく理解し、率先して準備等出来るようになってきている。自分から進んで草取りが出来るようになった所員もいる。
- ・今までのきのこキャップの作業を貰っていた企業が H31.3 月に倒産してしまった。雨の日や冬場にやっていた為、今後どうしていくか検討していかなければいけない状況となってしまった。

<今後について>

- ・作業が重なってしまったり、人員不足等で雑草の処理が追い付かず、収穫量が減ってしまう事がある為、対策として、マルチシートを有効活用し、シートを敷ける野菜に関しては敷いて対応を試してみる。
- ・キッチン CoCo、ベーカリーカフェ CoCo との打合せを再度、一から行い、種類や量など、なるべく希望に応じていけるようにしていく。
- ・所員それぞれの特性を活かし、作業がよりバランス良く出来るよう、個々の特化した面を見つけ、更なるスキルアップを目指していく。
- ・雨の日や冬場に出来る作業を模索、検討していく。
- ・熱中症対策として、こまめな水分補給や塩分のある飴の支給等行っていく。
- ・温暖化の影響が、農作物の害虫や病気が多くなってきた為、なるべく農薬等を使わずに出来る対応策を検討していく。
- ・農作業の道具が紛失してしまう事がある為、記名などを行い、道具の管理を徹底していく。

【 移動販売チーム 】

水曜日...市役所・JAVJAV 他

- ・市役所 (H30.4/25 ~ H31.3/27 182,180 円) (前年比 +47,990 円)

今までは野菜が取れる 4 月から 12 月までしか販売をしていなかったが、今年度は豆類が残っていたこともあり、初の試みで 3 月まで販売を実施。結果売り上げ増へと繋げる事が出来た。今後も売る物がある限り続けていく。

- ・JAVJAV

市役所での売れ行き次第でだが、不定期で販売させてもらっている。

金曜日...社会福祉総合センター

- ・社会福祉総合センター (H30.4/27 ~ H31.3/29 155,750 円) (前年比 +10,330 円)

市役所での販売同様に、今回初めて 3 月まで販売を実施。結果売り上げ増へと繋がった。新鮮な野菜を楽しみにしてくれている常連のお客様もいる為、来年度も引き続き継続して販売していく。

キッチン CoCo

- ・売上げ...512,280 円 (前年比 -148,530 円)

今ままでいた職員の退職等が重なり、うまく連携が取れず、売り上げ減となってしまった。来年度は、新しい職員と再度関係を構築し、以前のように安定して大量購入してもらい売り上げアップ出来るよう、関係作りを密にしていく。

ベーカリーカフェ CoCo

- ・売上げ...64,830 円 (前年比 -17,540 円)

職員の異動等があり、キッチン同様に今までのように上手く連携が取れず、売り上げ減となってしまった。

来年度は新しいスタッフと再度関係を立て直し、なるべく多くの野菜を使用してもらえよう、営業していく。

イベント販売 (東京販売・ガス展販売・長養祭・ナイスハート・蟻の市など)

・ イベント販売トータル売上げ...149,494 円

色々なイベント販売に参加し、様々な人達と関わる事で、所員に取って良い社会経験やマナーを学べる場となりつつ、土日の販売は売上げも期待できる。ただし、イベントによって、売上げや売れ行きの差は激しい。

< 所員関係 >

- ・ お客さんとのコミュニケーションを自分から積極的に取ろうとする姿勢が見えてきている。
- ・ 準備や片付けを指示が無くても出来るようになってきた。今後は野菜の陳列なども学んでいけるよう、少しずつ練習していく。
- ・ 販売は皆がとても楽しみにしていて、明るく笑顔で販売する事が出来ている。
- ・ 基本的に一袋 100 円という値段設定にしている為、所員にもお客さんにも分かりやすく、所員によっては多少の会計も出来る。お釣りに関しては支援員でないと厳しい面もある。
- ・ 野菜が売れたり、「美味しかったよ」と声を掛けられたり、常連のお客さんが来たりするとみんな嬉しそうにされ、それがやりがいに繋がり、楽しんで販売する事が出来ている。

【 所外就労チーム 】

売上実績（30年度）...¥4,181,446-

長野リネンサプライ(株)須坂工場

売上実績（30年度）...¥1,590,673-

作業について

実施内容

所員参加人数 < 3月第2週実績 >

月	火	水	木	金
3.5	3	2	3	3

- ・ アトリエ専用の作業場で、ラバーシーツの検品・仕分け・たたみ作業を行なった。
- ・ アトリエ CoCo 職員を常時 1 名配置し、作業に集中し品質の安定を保つこと、スピードアップを指導した。

運営面

- ・ ラバーたたみを終了次第、工場 2 階にてタオルたたみを行った。

評価、課題

- ・ 2 月をもって上田関係のラバーが終了し作業量が減少したのに伴い、午前中に作業を終了させ、午後は 2 階のタオルたたみで売上げを確保していく。
- ・ ラバーシーツのたたみ直しは、相当な時間のロスなので、たたみ直しの少ない方法を繰り返し教えていく。

エア・ウォーター

売上実績（30年度）...¥879,597-

実施内容

所員参加人数 < 3月第2週実績 >（月・水・金のみ実施）

月	火	水	木	金

2		2		2
---	--	---	--	---

- ・10月より、水曜日と金曜日の週2日になった。
 - ・昨年と違い、在庫量の増加で一時作業をストップすることもあった。
- 運営面において
- ・机に向かい個人で作業する作業であり、集団での共同作業の多いクリーニングに馴染めない障がい特性を持った参加者が実力を発揮でき全体の作業量が増えた。
 - ・こちらの都合で10月より週2日（水・金）の実習となったが、仕事量が増えるとのことで急遽人員増で対応した。

評価、課題

- ・従業員さんからの励ましや声掛けにより、一層の作業意欲に繋がりました。
- ・通年通して実習に出向くことができた。要求される作業量もほぼ安定しており、企業様との関係も良好で、これからも関係を継続していきたい。

今後に向けて

- ・予告なく作業量が増える事がある。対応できた分だけ売上アップが見込めるため、すぐに増員が出来る体制を継続する。

ケアプラザ若穂

売上実績（30年度）¥313,020-

所員参加人数 < 3月第2週実績 >（月・火・金のみ実施）

月	火	水	木	金
4	5			4

- ・浴室清掃、シーツ交換作業。限られた時間内に作業が完了できている。

運営面

- ・訪問時に全員で元気な挨拶ができ施設の方に暖かく受け入れていただいている。
- ・シーツ交換が出来る所員が限られており、風邪等で複数名欠席すると施設職員の方にお手伝いいただくことがあった。

評価、課題

- ・分担場所を集中して責任をもって行うことができた。
- ・挨拶を徹底した。事務所だけではなく、職員や利用者さんにも挨拶ができるようになってきた。今後も続けていきたい。
- ・目標時間を決めて、そこに向かってみんなで協力して終わるようにしている。
- ・私語を控え、作業に集中するよう促している。時々私語が増えてしまう人もいたので、今後も集中できるようにしていきたい。
- ・それぞれ作業内容を理解していて、休屋担当作業の変化に対応できている。

公民館清掃

売上実績（30年度）...¥233,280-

実施内容

所員参加人数 < 3月第2週実績 >（月・水・木 実施）

月	火	水	木	金
3	3			3

- ・保科（月曜）、綿内（火曜）、川田（金曜）の各公民館の、広間、料理教室、トイレ、廊下、階段、下駄箱の清掃業務。
 - ・主に、ほうきの後みんなで水モップまたは、ぞうきんに分かれる。
- 運営面において
- ・週三回で午前中だけの作業。
 - ・3名の所員のチームを組み、職員一人が付き添った。
 - ・時間の制約を受けないので休む人が出てもカバーしやすい作業であった。
- 評価、課題
- ・冬は水モップが出来ないので時間が余る。そのため窓拭き等見付け掃除をして夏にできなかったところを隅々まで掃除することが出来た。
 - ・地域の若穂公民館をきれいにしていくと言う気持ちを持ち、チームとして取り組めた。

㈱角藤（本社工場・須坂寮の清掃）

売上実績（30年度）...¥1,049,760-

所員参加人数

角藤本社工場 月曜日～金曜日 3名

須坂寮 月曜日 3名

実施内容

- ・本社工場内の事務所棟の通路及びトイレ等の清掃。
 - ・㈱角藤 須坂寮の個室以外の清掃全般（窓、通路、階段、エントランス、共用トイレなど）。月曜日の午前中に実施。
 - ・所員3名、職員1名体制で行なった。
- 運営面において
- ・事務所棟での作業は多くの社員さんが出入りする環境であり、緊張感のある中での作業体験が出来た。須坂寮では逆に、人の出入りがほぼ無い環境での作業であり、対人関係に不安のある所員には作業に集中できる良い環境であった。

評価、課題

- ・これまでクレーム等は無く、よくやっていると評価をいただいている。

川田駅・綿内駅トイレ清掃

売上実績（30年度）...¥187,920-

実施内容

所員参加人数（火・水・金 実施）

月	火	水	木	金
	3	4		3

- ・川田駅・綿内駅トイレ・・・女子トイレ、身障者用トイレの清掃業務
 - ・ボランティアで、トイレ・駅の周りのゴミ拾いをしています。
- 運営面において

- ・週3回で午前中1時間での作業
- ・3～4名の所員のチームを組み、職員1人が付き添った。
評価、課題
- ・それぞれ分担して、便座のブラシ、トイレ内の掃き掃除、洗面台、ゴミ拾いに分かれて責任を持って行うことができた。
- ・駅を使う方に大きな声で挨拶ができた。今後も続けていきたい。

【封入封緘チーム(佐川急便所外)】

目標売上額...1,600,000 売上実績...1,662,815-

佐川急便(株)様への所外実習を1年間継続して実施も定期的作業量が全体的に減少したということもあり目標売上には届かなかった。

<実施内容>

- ・仕分け...郵便番号別で仕分ける。
- ・封緘作業 シール貼り...ゆうめーる、宛名シールを資材または帯、封筒に貼る。
- ・封緘作業 チラシ・冊子...指定された封筒または帯にチラシまたは冊子を封緘する。
- ・テープ止め...封筒のテープのり、帯巻きの際のテープ止め。
- ・梱包作業...封緘した資材を空箱へ入れる。
- ・配送

<運営面>

- ・H30年4月時点、職員2名、主要所員3名でスタート。
- ・前年度同様、佐川急便様にて作業場を提供していただく。
- ・H30年7月、アビリンピック県大会に参加するも入賞を逃した。
- ・定期作業2件に加え、スポット作業を両立することはできたが新たな作業を獲得することはできず、売り上げアップには繋がらなかった。
- ・(有)アイデア様から定期的にキーホルダー作業を頂く。

<評価・課題>

- ・年度途中に新メンバーを加え、作業場は良い雰囲気である。
- ・納期の意識も皆で共有し、納期遅れ・残業することはなかった。
- ・定期作業2件で昨年度と変わらずのボリュームだったが、個々のスキルアップもありこなせる数量は増えている。

<今後に向けて>

- ・新たにメンバーを加えたことでさらに作業量を増やしていく。その為に企業担当者と協力しながら定期作業・スポット作業を獲得していく。
- ・現在の定期作業も数量を増やし、売り上げアップにつなげていく。
- ・アビリンピックへの取り組みを継続し、入賞を目指す為に日々の作業でもスピードや質の高さを意識して取り組んでいく。
- ・どうすれば効率が上がるか、皆で切磋琢磨しながら作業に向かう姿勢を持つ。

7 イベントについて

別表のとおり、それぞれのイベントを実施。積極的に様々な分野の活動に参加できた。

お花見会、夏祭り、収穫祭はオープンイベントとして実施。地域の皆様に多数ご参加いただいた。それぞれのイベントで企画書を提出しテーマを明確化することができた。

・オープンイベントの課題としては

準備期間が十分取れず、出演者やボランティア確保が難しかった。年度当初には開催日時が決まっているので、各係で早目の調整をしたい。

集客、販売方法の検討が必要。

今年に引き続き、それぞれのイベントのテーマを明確にしていく

広報に力を入れる 保科地区全戸配布も図った（支所に依頼）

雨天時対策

家族旅行は家族会と共催し、キッチン CoCo、CoCoJAVJAV、アートカフェ CoCo の参加も得た。

第1班

日 程：平成 30 年 9 月 6 日（木）から 7 日（金）

行き先：下呂温泉とレゴランドジャパンの旅

宿泊場所：ホテル小川屋

参加者：総勢 73 名

第2班

日 程：平成 30 年 9 月 13 日（木）から 14 日（金）

行き先：三鷹の森ジブリ美術館と鴨川シーワールドの旅

宿泊場所：勝浦ホテル三日月

参加者：総勢 55 名

季節行事としては 12 月クリスマス会、1 月鏡開き、2 月豆まきを行い、季節感をだし、風習や仕来りについても学んだ。

サンアップル風船バレー企画は、競技はもちろんのこと応援にも力を入れ。また、QOL 活動としていくつかの企画にも参加した。

ほくレクについて

今年度についても、3 企画のみの参加となったため、来年度においては多くの企画に参加していきたい。

イベント

企画	実施日	参加	備考
《新年度会・入所式》	4 月 2 日		新入所員 1 名
《春祭り・お花見会》	4 月 22 日	200 名	
《夏祭り・花火大会》	8 月 3 日	100 名	
《一泊二日家族旅行》	9 月 6 日・7 日	73 名	下呂温泉とレゴランドジャパンの旅
	9 月 13 日・14 日	55 名	三鷹の森ジブリ美術館と鴨川シーワールドの旅

《創業祭及び収穫祭》	10月14日	230名	
《クリスマス会》	12月20日		
《鏡開き》	1月10日		
《豆まき》	2月1日		
《ボーリング大会》	3月10日	27名	ほくレク企画

サンアップル企画

企画	実施日	参加	備考
チーム対抗スポーツ大会	6月17日	18名	
アートフェスティバル	7月1日	25名	
サンアップル納涼祭	7月28日	18名	QOL活動で参加
	参加者	61名	

アビリンピック長野県大会 7月21日 松本市 ウィング

部門	参加者	備考
オフィスアシスタント	4名	
フラワーアレンジメント	1名	

ほくレク

企画	実施日	参加者(職員等含む)	備考
ウィンターコンサート	12月2日	16名	すまいる企画
ボーリング大会	3月10日	27名	アトリエ CoCo 企画
	参加者	47名	

ほくレク企画そのものに参加できず、すまいる企画のコンサートだけに終わった。次年度については積極的に参加していきたい

8 QOL活動について

別表のとおり実施。一部を除いてはすべて午前中に調理実習を実施した。

参加者はほぼ毎回参加するの所員が目立ち、冬場以外の企画では定員を上回った。

《 活動日・活動内容・参加者数 》

Q L企画

企画	実施日	参加	備考
動物園企画	5月12日	13名	須坂市動物園
カラオケ企画	5月26日	20名	コートダジュール

ケルト音楽&おやつ会	7月14日	11名	BakeryCafeCoCo
サンアップル納涼祭	7月28日	18名	サンアップル
プール企画	8月25日	16名	サンアップル
若穂福祉まつり	9月2日	14名	若穂支所周辺
フードライブ	9月30日	11名	長野駅周辺
ふくしネットフェスタ	10月27日	15名	トイゴ周辺
若穂文化祭に行こう	11月3日	15名	若穂支所
ながのparasportsフェスタ	11月18日	14名	ホワイトリンク
ウィンターコンサート&星座	12月1日	13名	いつわ苑・長野市博物館
カラオケ企画	1月26日	20名	コートダジュール
そめそめカフェ/プラネタリウム	2月16日	12名	アートカフェ/長野市市立博物館
いちご狩り	3月23日	18名	保科温泉
企画数 14 企画	参加者延人数 210 名		

月2回の開催を目指した。法人内事業所の企画2回、地域企画2回、長野ふくしネット企画2回等単なるレクではなく意識的に企画を提供したが、結果として人気のある温泉企画が出来ずの終わった。

9 カルチャー

毎週木曜日の午後に、スポーツカルチャー、音楽カルチャー、何でもカルチャーに分かれて実施。

カルチャーの時間に年4回大掃除を、年2回防災訓練を行った。

部門	参加者	内容
スポーツカルチャー	20名	<p>体育館（主として南長野運動公園総合体育館）にてバドミントン、バスケット、フットサル、卓球、ソフトバレー、軽運動などを行なった。</p> <p>春・秋には、アスレチックや清水寺などに出かけ屋外での活動も行なった。</p>
<p>【運営面について】(評価・課題など...)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏場の体育館の中が暑くなり過ぎてしまう為、頻繁に声掛け・休憩を取り、熱中症等にならないよう注意をした。 体育館以外での活動として、恐竜公園1回・保科温泉清水寺に行く事が出来た。たまには体育館以外の活動も良い気分転換になると思うので、来年度以降も取り入れていく。 今年度も、一度も大きな事故や怪我が無く、みんなが毎回楽しんで活動に参加出来ていたのが良かった。 <p>【今後に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、春～秋の間で体育館以外の活動も取り入れていく(恐竜公園、菅平公園、市立博物 		

<p>館 etc....)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備から片付けまでを、言われなくても、自ら進んで協力して出来るよう、声掛け・促しをしていく。 ・一年を通して、事故や怪我がないように注意し、みんなが笑顔で活動できるよう努めていく。 ・荷物の管理等それぞれに役割をもって、責任ある行動が出来るよう促していく。 ・カルチャーの時間を上手く利用し、体育館等、公共の場でのルール等も同時に学んでいけるよう声を掛けていく。 		
<p>音楽カルチャー (音楽療法)</p>	<p>29名</p>	<p>歌詞カードをもとにリクエストを出してもらい歌唱活動、手話ソング、ダンスを行う。施設内だけでなく、各イベントで所員の発表の場をつくった。</p>
<p>【運営面について】(評価・課題など...)</p> <p>音楽療法士であるスタッフを中心に専門的な知識を取り込んで行った。</p> <p>○運営面について(評価・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来の音楽カルチャーが実施できた。 <p>○今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆からの意見を取り入れながら、活動の幅を広げていく。(マナー化をなくす) ・人数の関係もあると考えるが、ケアプラザ若穂との交流会は定期的に行なっていきたい。 ・来年度より月一回の外部講師をお願いし、新たな活動を行う予定 		
<p>何でもカルチャー</p>	<p>6名</p>	<p>収穫祭の芸術展に向け、根気よく芸術展までに作品を仕上げることができ、販売も行った。 また、他のカルチャーに馴染めない所員も参加することができ有意義な取り組みであった</p>
<p>施設内実習</p>	<p>4名</p>	<p>○運営面について(評価・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に洗い場で作業と配送の仕事を行った。タオルについては職員の配置が出来ないこともあった。 <p>○今後に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルチャーに参加をしたくないので仕事をしたいという訴えをする所員もいた。また、繁忙期には作業を止めてしまうと、カルチャー後の作業では間に合わずに、残業になってしまう。その都度、職員配置を検討して、作業に職員が入れる体制も確保しておきたい。
<p>墨遊び (9/21)</p>	<p>20名程度</p>	<p>外部講師を招き、墨遊びとアートフラッグ作りを行った。普段文字を書かない所員も大きな紙に好きな言葉を書いた。芸術展にも展示をして好評を博す。また、アートフラッグは芸術展後に玄関に掲げている</p>

10 保健衛生について

立岩嘱託医の指導の下に、年間計画に沿って実施した。

健康相談について

- 日時 : 毎週(火) 13:00 ~ 16:30 に一人10分程
実施者 : 嘱託看護師 米沢あつ子先生
実施内容 : 体重測定、血圧測定、健康相談
相談者数 : 毎回 24 ~ 27 名程受診。
生活介護の方...毎回
就 B+ 移行支援の方 月1回の方.....約 10 名
3 ~ 6 ヶ月に 1 回.....約 30 名

まとめ

- ・職員に話している事とは別に自分の思いや出来ごとを、健康相談の時間に米沢看護師に相談をするという方が多い。家庭や仕事や趣味や休日の出来ごと等。健康相談で、先生と関わる事を楽しみにしている所員さんも多い。
- ・時間が掛かったり、米沢先生に八つ当たりしてしまう方もいるので、そのような時は、担当職員と一緒に入室して対応した。
- ・健康相談の結果は、職員の朝会で周知し、緊急の場合は、担当職員と個別に話をしたり、地域生活支援センターや給食係にも相談し、全員で共有した。
- ・健康状態が思わしくない場合は、担当職員から結果を家庭へ報告してもらった。主に通院依頼や血圧や体重が基準値を大幅に上回っている方へ連絡した。肥満については、アトリエだけでなく家庭でも気を配っていただく必要があるが、間食や食事の量は、なかなか変わらない。
- ・体重が増え続けている方が、何名かいらっしまった。

<米沢看護師より>

- ・体重の多い方については、生活習慣の話を聞くようにしている。家族面談時に同席させて頂き、状況を確認させて頂きました。今後も続けていきたい。計測後メモ用紙に記入、励ましのコメントを付けて渡しています。
- ・面談中、爪の伸びている人は、切ってあげるようにした。
- ・整髪の乱れている人については、いっしょに整えて指導。
- ・面談時間が長くなってしまおう方については、対応に注意しながら、20分以内で済むようにした。

健康診断について

<1回目>

- 日時 : 6月 28日(木) 13:30 ~ 17:00
7月 5日(木) 13:30 ~ 17:00
実施機関 : (財)全日本労働福祉協会
実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、聴力検査、
(血液検査、胸部レントゲン、心電図) 医師による問診

<2回目>

- 日時 : 8月 21日(火) 13:30 ~ 16:00

8月 27日(月) 13:30~16:00

実施者 : 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師

実施内容 : 問診及び聴診

まとめ...全員受診

・健康診断の後に、再診になる方の多くは、目と耳の検査が多い。目が良かったり、耳が良かったりしても、上手く検査できないため、多くの所員さんが引っかかる。特に日常生活で支障があったり、高齢でなければ必ず再診する必要はないとのこと。体重増加や血圧に問題のある方は、今後も注意してみていく必要。

健康講話について

<一回目>

日時 : 6月19日(火) 15:40から16:00

実施機関 : 嘱託看護師 米沢あつ子先生

実施内容 : 夏場に向けて(水分補給のしかた、歯磨き・清潔について)

まとめ

・1日当たりの糖分摂取量が約25g(スティックシュガー5本分)に対し、500mlの清涼飲料水を飲むとスポーツドリンクでは8本、炭酸のジュースでは14本の糖分が摂れてしまう。夏場は水分を多く摂る必要があるが、スポーツドリンクは2ℓで1袋溶かす等、薄めて飲むようにと実際に作りながらお話を頂いた。また肥満や高血糖・動脈硬化等の病気を招く歯周病を防ぐための歯磨きの大切さ、汗をかくので毎日の入浴・着替えで身体を清潔に保つ大切さのお話もして頂き、夏場の健康に向けての意識を高める良い機会となった。

<2回目>

日時 : 11月20日(火) 15:40~16:00

実施機関 : 嘱託看護師 米沢あつ子先生

実施内容 : インフルエンザ及びノロウイルス対策として、手洗いの指導(感染症予防)

まとめ

・感染症について、インフルエンザやノロウイルスの説明、感染症予防を中心にお話いただいた。予防法についてマスクの着用や人混みを避けること、特に手洗いは洗い残しの多い箇所を資料の図で示しつつ、所員にせっけんに見立てたハンドジェルを配り、実際に手を動かしながら丁寧に洗うことを指導していただいた。

AED 講習会

日時 : 5月24日(木) 16:30~17:30

実施機関 : セコム上信越(株)長野統轄支社 (山岸さん、米倉さん)

実施内容 : AED機器の使い方、救急車到着までの応急処置法

まとめ

・新任職員を中心に実践、体験して頂いた。AEDの扱い方に加え、人体模型を使って心肺蘇生法や、救急車到着までの適切な処置の仕方を教えて頂き、大変参考になった。

インフルエンザ予防接種

<一回目>

日時 : 11月7日(水) 12:45 ~ 14:00
実施機関 : 立岩内科小児科医院(立岩先生 + 看護師さんの2名)
実施内容 : 予防接種
実施人数 : 44名(所員 + 職員 + 他事業所)

まとめ

- ・意外にもスムーズに接種ができ、時間も13:35には終了。
- ・陽気も暖かかったので、廊下を待合 & 検温スペースにし、静養室で接種。体温計10本、ボールペンも多数持参して頂き、有り難かった。
- ・10数年ぶりに接種できた所員がいた。
- ・急な変更があった。係にまず一報入れるよう、来年度申し送りたい。

<二回目>

日時 : 11月13日(火) 12:45 ~ 14:00
(実施機関・内容については同上)
実施人数 : 27名(所員 + 職員 + 他事業所)

まとめ

- ・今回もスムーズに順番が進み、13:25には終了。
- ・前回と違って気温低めだったので、食堂を待合 & 検温 & 接種スペースにした。
- ・今回も急な変更あったので、連絡内容を周知徹底し、行き渡るよう考えたい。
- ・当日朝10時までに立岩医院に接種人数を確定し連絡を入れる旨、他事業所にも伝達する必要があった。誰が接種したか等請求数の関係もあるので、来年度きちんと申し送りたい。

その他の活動について

- ・毎日特に給食前の手洗い・うがい・消毒の実施。マスク着用の励行。
- ・医薬品の管理・補充・整理整頓。ノ口処理セットの用意と管理。
- ・月末の金曜日に歯ブラシ・コップ・上履きを持ち帰るよう呼びかけ。
- ・給食係・清掃係との連携。
- ・AEDの管理。

まとめ

- ・手洗い、うがい、消毒は、給食前に毎日実施できた。
- ・夏場や冬場の着替えや入浴について、定期的に声がけをし、清潔を保つことができた。
- ・コップ・歯ブラシ、上履きを月末の金曜日に持ち帰るようにした。お家の方にとっては、交換時期や臭いの確認等、使い方を把握できたのではないかと思う。

11 給食について

給食アンケートを実施した。好き嫌いな物・アレルギーなどを調査した。

給食検討会を3回実施した。

所員さん

- ・4月より、新入所員さんを1名迎える。平均食数は70食の見通し。食堂の見守りを通しての気づきについて、全体で情報共有を図って行きたい。

保健衛生に関することについて

・熱中症・インフルエンザ・ノロウイルス、食中毒等について、保健衛生係と連携して注意・予防を呼びかける。

・健康診断での結果の振り返りをして、アトリエでの食事量の見直し・調整を行う。

係の活動について

・喫食記録については、ミスがないように二重チェックし厨房に伝える。

・給食検討会は年3回、(春・秋・3月)に計画していく。

アレルギー対策について

・食品アレルギーによる事故を防ぐために、給食アンケートにて「食物アレルギー」の項目を作り、身体に影響が出る食材や、その症状、度合い、医師からの指示等の確認項目を入れ込む。必ず親御さんに確認してもらい、皆で情報共有を図る。(好き嫌いアレルギーを混同している所員さんも多い。アレルギーとはしっかり区別を付けて行きたい)

・実習生の受け入れの際にも、必ず先生に「食物アレルギー」の有無や症状、程度について確認をとり、情報共有を図っていく。

今年度改善した点について

・みそ汁の濃度について...塩分計を使用して濃度を確認して濃くならないようにしている。

・ご飯の固さについて...ご飯が固いことがあったので、ご飯が炊けたらスイッチを切って15分くらい蒸らしてから、保温釜に入れて保温し固くならないように気をつける。

来年度からの誕生日メニューについて...毎月第一木曜日に提供する。

平成31年4月から、ひとりひとりの誕生日メニューの提供をやめて、ひと月に一度、月の初めに、その月の誕生日の所員さん達をまとめて「誕生日おめでとうメニュー」として提供する。

来年度からの課題等

・付け合せの野菜の量を増やす。

その他

・残飯を入れるざるを置くのをやめて、残飯はお皿に残したまま下膳をする。

・検食日誌を毎週金曜日に厨房の職員にみてもらい、実際に食べた人の意見等をキッチンに伝えてもらうようにする。

12 防災安全について

実施内容・時期

・自衛消防団の編成及び調整(4月に見直し及び変更)

・職員緊急連絡網の作成(4月に見直し及び変更)

・避難訓練の実施(第1回:5月24日、第2回:8月9日)

・若穂消防署の方と打ち合わせ。消防計画作成(変更)届出書の提出。(5月)

・消防立ち入り検査の対応

・消防点検の実施:(毎月実施)

・総合点検:(年2回実施)6月4日、11月20日 丸登電業に依頼。

評価・課題

< 避難訓練 >

・第1回には消防職員さんから、火災時の対応について、消火器の指導をいただいた。

- ・第2回には地震体験車を依頼して地震体験を行った。沢山の方に参加をしていただき、防災に対する意識を高める事ができた。
- ・訓練前に各作業班にて地震発生時の身の守り方指導を行なった。所員全員が机の下に入る、座布団で頭部を守る等の行動ができた。
- ・緊張感のある避難誘導ができた。職員による大きな声での呼びかけもできていた。ほとんどの所員がスムーズに行動できた。
- ・第1回、第2回ともに避難時間が3分代で速やかに避難が行なえた。多くの所員が予定どおりの行動が出来ている。

< 消防点検 >

- ・第1回避難訓練時に消防立ち入り検査を行ない改善点等の指導をしていただいた。意識する点等のアドバイスを活かして、引き続き定期点検を継続していく。
- ・避難口、避難経路、消火設備（消火器含む）の場所は、その都度確認して安全を確認していけるようにしたい。今後も継続していく。また、係だけでなく、各作業担当場所で気付いたことがあれば、対応していただけるように確認等行っていきたい。

13 地域との協働について

今年度も、お花見会(4月)、夏祭り(8月)、創業祭及び収穫祭(10月)の3回のオープンイベントを実施し、地域や家族など多くのボランティアの方々にお手伝いをいただき、ステージ発表も担っていただき、盛大に開催することができた。

イベント	家族ボランティア	地域ボランティア
お花見会	12名	60名
夏祭り	10名	48名
収穫祭	14名	80名
延人数	35名	188名

体験実習等を積極的に受け入れ、多くの見学・研修を受け入れた

長野養護学校...4名 稲荷山養護学校...1名 信大附属特別支援学校...1名

若穂中学校...2名 信大附属長野中学校...2名

地域諸団体と連携し、様々な地域ネットワークなどに積極的に参加した。(若穂住民自治協議会・長野市障がいふくしネット等)

特に若穂地区においては、地域貢献事業として、若穂文化祭・若穂福祉まつりに実行委員も務め、利用者と共に参加し、作品展示やステージ発表を行った(50名程度参加)

保科小学校との交流会について(福祉共育の実践)

- ・平成22年度より始まった保科小学校との交流会については、担当教諭の異動があったが、引き続き交流会を行った。今年度も全学年との交流がみのり、交流の輪が広がった。ケアプラザわかほとの交流会について...来年度より定期的交流会をしたい申し出があり、具体的な検討をしていきたい

14 職員研修について

毎朝の打ち合わせ会、職員会議・ケア会議(週1回)を行い、日常の気づきを共有し、自己の支援の振り返りにつとめた。昨年に引き続き、ワークを多く取り入れ、参加者の声を多く拾

えた。作業チームのストレングスや5ピクチャーズを行い、売上目標や振り返りができた。また、日常業務の知識及び技術の研鑽につとめた。

相談支援従事者研修、新人研修、工賃アップセミナー、自閉症セミナー、就労支援セミナー等外部の機関が行う研修に積極的に参加し、スキルアップを図った。

虐待権利擁護研修については、5回の研修に参加し、それぞれ伝達研修を行った。また日々の打ち合わせや職員会議で繰り返し意識の向上を図った。

主催・実施主体	研修名	出席者
社会就労センター関係	関東セルフ協議員会	1名
	関東セルフ研修会	2名
	全国社会就労センター長会	1名
	長野県セルフブロック会議	1名
	平成30年度関東社会就労センター協議会研究大会	2名
	福祉就労強化事業「工賃アップ基礎セミナー」	1名
	福祉就労強化事業工賃ステップアップセミナー ・ ・	各1名
長野県知的障がい者福祉協会関係	知障協代表者会	1名
	会計研修	2名
	県知障協支援スタッフ部会	1名
	県知障協総会	1名
	県知障協日中活動支援部会	参加なし
	平成30年度自閉症支援セミナー	1名
	県知障協平成30年度新任職員研修	1名
	知障協施設長会研修	1名
	知障協事務部会	1名
	強度行動障がい支援者養成研修基礎研修	2名
	強度行動障がい支援者養成研修実践研修	1名
知障協北信支部代表者会県外研修	1名	
長野市自立支援協議会関係	長野市障害ふくしネット しごと部会（毎月）	1名
	長野市ふくしネット運営部会（毎月）	1名
	企業懇談会	3名
長野県・県社協関係	苦情対応システム研修会	3名
	就業支援基礎研修会	1名
	全重協長野県支部総会	1名

	虐待権利擁護研修会	2名
その他	中小企業家同友会	1名
	食品衛生講習	1名
	感染症予防講習会	1名
	職業生活相談員講習	1名
法人関係	法人職員研修会・総会	25名
	A E D講習会	15名

15 家族会ながのについて

事務局をアトリエ CoCo 内におき、運営を補佐した。

総会 平成 30 年 6 月 9 日(土) アトリエ CoCo 食堂

総会出席者 55 名

学習会「こころが晴れて 元気になるメゾット」 参加者：55 名

講師...メンタルトレーナー 加藤史子さん

家族のつどい 平成 31 年 2 月 24 日(日) ホテル犀北館 参加者：116 名

・各事業所紹介 (DVD による)

・学習会 「モチベーションを上げる いや、下げるかもしれない

わが子との付き合い方」についてのおしゃべり

講師：ながのアートミーティング代表 関 孝之 氏

CoCo家族会ちくまと共催

役員会 年 2 回実施した

16 職員体制について

所長 1名 サービス管理責任者 1名 目標工賃達成支援員 1名

生活支援・職業指導員 6名 事務員 1名

看護師(嘱託) 1名 医師(嘱託) 1名 運転手(嘱託) 1名

就労移行支援事業

1 所員の内訳

出身市町村別 千曲市 1名

性別 女 1名

平均年齢 38 歳 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

障がい種別 知的障がい 1名

2 通所方法

自力通所 1名 (CoCo ホームぼたんの里)

3 日課について

8 : 5 0

通所 着替え

8 : 5 0 ~ 9 : 0 0	朝会 ラジオ体操
9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	作業
1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0	作業
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食 休憩
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	作業
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 5 0	休憩
1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 5 0	作業
1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 0 5	掃除
1 6 : 0 5 ~ 1 6 : 1 0	着替え 帰りの会

土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日（作業）の場合は10：00～16：00まで。Q L活動の場合は、活動内容を企画した。

毎週木曜日の午後はカルチャー活動

4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
100%	100%	100%	100%	100%	100%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
100%	100%	100%	100%			100%

毎週土曜日及び祝日は自由通所日（Q L活動日以外）としているが、毎週通所した。

月2回ほど土曜日に実施しているQ L活動は、定員を設けている。

所員は概ね元気に安定的に通所した。

5 個別支援計画について

就労継続支援B型事業と同様

6 就労活動について

《 平均工賃 》

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	19,600 円	10月	18,400 円
5月	20,000 円	11月	20,000 円
6月	19,800 円	12月	23,800 円
7月	24,200 円	1月	19,800 円
8月	20,000 円	2月	
9月	17,800 円	3月	
平均工賃額 20,340 円			

7 イベントについて

就労継続支援B型事業と同様

8 Q L活動

就労継続支援B型事業と同様

9 カルチャー

就労継続支援 B 型事業と同様

10 保健衛生について

就労継続支援 B 型事業と同様

11 給食について

就労継続支援 B 型事業と同様

12 防災訓練・安全について

就労継続支援 B 型事業と同様

13 地域との協働について

就労継続支援 B 型事業と同様

14 職員研修について

就労継続支援 B 型事業と同様

15 家族会ながのについて

就労継続支援 B 型事業と同様

16 職員体制について

所長 1名 サービス管理責任者 1名 就労支援員 1名
生活支援・職業指導員 2名 事務員 1名
看護師(嘱託) 1名 医師(嘱託) 1名 運転手(嘱託) 1名

生活介護事業

1 所員の内訳

出身市町村別

長野市 17名 千曲市 1名

性別 男 8名 女 10名

平均年齢 29.3歳(平成30年10月1日現在)

障がい種別 知的障がい 17名 身体障がい 1名(重複記載)

2 通所方法

送迎バス利用 長野駅より 5名 信濃川田駅より 1名

家族の送迎 10名

バイクまたは車(本人運転による) 0名

徒歩 0名

路線バス 2名

3 日課について

8:50	通所	着替え
8:50 ~ 9:00	朝会	ラジオ体操
9:00 ~ 10:30	作業	
10:40 ~ 12:00	作業	
12:00 ~ 13:00	昼食	休憩

13:00 ~ 14:30 作業
 14:30 ~ 14:50 休憩
 14:50 ~ 15:50 作業
 15:50 ~ 16:05 掃除
 16:05 ~ 16:10 着替え・帰りの会

着替え 帰りの会

土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日（作業）の場合は10:00～16:00まで。Q L活動の場合は、活動内容によってその都度設定。

毎週木曜日の午後はカルチャー活動

4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
74.2%	72.8%	68.8%	73.9%	67.1%	64.6%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
73.2%	70.6%	63.0%	67.5%	69.6%	68.8%	70.3%

毎週土曜日及び祝日は自由通所日（Q L活動日以外）としているが、通所率は低い。

月2回ほど土曜日に実施しているQ L活動は、定員を設けている。

利用量が少ない所員数名は通所率が低いが、その他の所員は概ね元気に安定的に通所しており、通所率は上記数字より高い。

5 生活介護について

生産活動の他に、利用者の重度化に伴い、マンツーマン支援・食事介助、トイレ介助・外出支援など、個人個人のニーズに合わせた支援を提供している。今後についても、利用者の変化に柔軟に対応できる支援体制を整えていきたい。

6 個別支援計画について

就労継続支援B型事業と同様

7 就労活動について

《 平均工賃 》

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	14,128 円	10月	15,419 円
5月	14,886 円	11月	14,222 円
6月	14,603 円	12月	17,447 円
7月	19,258 円	1月	13,239 円
8月	13,706 円	2月	12,817 円
9月	11,797 円	3月	18,882 円
平均工賃額 15,033 円			

【軽作業チーム】

目標売上額... ¥1,700,000 売り上げ実績... ¥1,908,076

仲間と力を合わせて仕事に集中 ~余暇の時間も生み出そう~

<作業内容>

主生産 ウエス加工・販売 ロンドロール販売
受託作業 ベーク板のテープはがし（カイシンエレクトロニクス様より）
ソクセンバンド数量セット作り（長野ジェコー様より）
きのこキャップ（有ヤナギハラ産業様より）

<評価及び課題>

自主生産

ウエス加工

- ・ウエス地に切り込みを入れる 割く 糸を取る ウエスを積み重ねるといった行程をそれぞれ所員の得意なところで分業し、効率よく作業を進めることができた。
- ・新規取引先をなかなか開拓出来なかったが、以前注文いただいた所へ電話営業して再度ご注文いただくことが出来た。今後も継続して注文いただけるよう営業していきたい。

ロンドロールながの販売

- ・リピーターから定期的に注文を頂いて安定した売り上げが得られた。
- ・家族面談に合わせ2月に各家庭へもチラシを配り、注文をたくさんいただく事ができた。

受託作業

カイシン（ベーク板のテープ剥がし）

- ・入出荷の管理を徹底して計画的に進めることができた。
- ・テープ剥がしの作業性が早まったことで、スクレーパー係を新たにもう1名増やした。
- ・全体的にスマートフォンの普及が頭打ちになり販売が伸び悩んだ為か、今年度も枚数は少なめ。今後も爆発的なヒットがない限りは、少な目で推移か。
- ・次年度は作業班の編成が変わるため、スクレーパー係がまた1名になってしまう。新たにメンバーを選定したい。

長野ジェコー（ソクセンバンド）

- ・細かいものを数えるのが得意な所員中心に作業を進めて頂き、仕事として定着した。
- ・昨年度に引き続き、本数の間違いがなくクレームも無かった。

きのこキャップ

- ・キャップの蓋外し機械も、1人だけでなく、複数人で交替しながらできるようになった。
- ・昨年度から実施していく中で、キャップ掃除が得意な所員、機械を使った作業が好きな所員などそれぞれに合った作業内容が行えている。売り上げも伸びた。
- ・キャップ掃除のクオリティが向上。検品もほぼ必要ない所員が増えている。

その他

- ・他の作業班と連携して仕事が少ない時は忙しい部署の手伝いをする事ができた。
- ・次年度は軽作業班改革の年として、2班に分かれて活動することとなる。所員、職員の体制や仕事内容を割り振ってそれぞれが活躍出来るようにしていく。

・板の売り上げが減少傾向だが、ウエスは常連のお客様に加え数年ぶりにご注文いただくお客様もいた。新規開拓が引き続きの課題。

ウエス注文先別売上

種類	注文先	数量	金額(円)
シート	長野ジェコー	390 kg	136,500
	(株)鈴木	421 kg	147,350
	(株)シンセイ商会	179 kg	53,700
	オート信州(株)	8 kg	2,800
	若穂農業機械センター	20 kg	7,000
	カイシンエレクトロニクス(株)	62 kg	18,600
	エア・ウォーター(株)	30 kg	10,500
	小林サイクルモーター商会	15 kg	5,250
	(株)アルカディア	30 kg	10,500
	タイガー情報機械(株)	60 kg	21,000
	テクノエクセル(株)	20 kg	7,000
	ワールド開発工業	20 kg	7,000
	オリオン機械(株)	30 kg	10,500
	(有)小林車両	10 kg	3,500
	長野市衛生センター	20 kg	7,000
	南信発電管理事務所	18 kg	6,300
	佐藤製作所	7 kg	2,450
	S & S コンポーネンツ	90 kg	31,500
	その他	4 kg	1,400
B T (カット)	須坂工場	10,750 枚	11,825
	アクアテック	200 枚	1,400
B T	その他	50 枚	1,750
F T	(有)アリスエック	100 枚	1,750
	三浦工業株式会社	1,200 枚	21,000
	その他	200 枚	3,500
合計金額			531,075

1kg300 円にて販売(基本 kg/350 円)

ウエス月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額	34,870	57,750	37,950	55,250	39,200	67,750
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30,300	53,285	49,550	42,750	32,970	29,450	531,075

ペーク板売

月	枚数	金額
4月	5,690	56,900
5月	3,900	39,000
6月	5,140	51,400
7月	5,790	57,900
8月	4,210	42,100
9月	3,780	37,800
10月	2,140	21,400
11月	3,750	37,500
12月	5,230	52,300
1月	3,190	31,900
2月	4,580	45,800
3月	2,770	27,700
合計	50,170	501,700

きのこキャップ売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額	0	6,900	3,450	5,750	3,450	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5,750	6,900	3,450	4,600	11,600	3,450	55,300

その他売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額	4,250	0	0	0	8,500	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	78,540	91,290

ロンドロール、ファイル売上

月	ロンドロール	ティッシュペーパー	合計
4	70,560	3,600	74,160
5	27,360	1,600	28,960
6	29,760	6,000	35,760

7	20,160	800	20,960
8	67,200	1,200	68,400
9	21,120	5,600	26,720
10	50,880	5,200	56,080
11	32,640	800	33,440
12	23,040	2,000	25,040
1	37,440	0	37,440
2	51,360	72,00	58,560
3	44,160	800	44,960
合計	475,680	34,800	510,480

8 イベント活動

就労継続支援 B 型事業と同様

9 QOL 活動について

就労継続支援 B 型事業と同様

他に軽作業チームの独自のレクリエーションを実施

10 カルチャー

就労継続支援 B 型事業と同様

11 保健衛生について

就労継続支援 B 型事業と同様

12 給食について

就労継続支援 B 型事業と同様

13 防災安全について

就労継続支援 B 型事業と同様

14 地域との協働について

就労継続支援 B 型事業と同様

15 職員研修について

就労継続支援 B 型事業と同様

16 家族会ながのについて

就労継続支援 B 型事業と同様

17 職員体制について

所長 1名 サービス管理責任者 1名 就労支援員 1名

生活支援・職業指導員 2名 事務員 1名

看護師(嘱託) 1名 医師(嘱託) 1名 運転手(嘱託) 1名

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業

多機能型事業所(就労継続支援A型事業及び就労継続支援B型事業)

キッチン CoCo

キッチン CoCo は開所して9年が経ちました。障害のある人の働く場を提供し、支えていくという就労系の事業所としての役割は担えていると思います。就労継続支援A型事業を実施していることにより、ハローワーク(公共職業安定所)を主にして利用等の問い合わせが継続的にあります。平成30年度は、10月に開催されたハローワーク主催の障害者雇用面接会にて3名の希望者とマッチングし、実習を体験していただいた後A型利用者として雇用いたしました。また、今年度は2名の方が退所されました。1名は一般企業、もう1名は他福祉事業所へ障害者雇用という形で就職し、総人数9名となりました。

就労継続支援A型を利用しながら一般企業への就職を志している方、また就労継続支援B型を利用しながら就労継続支援A型を目指している方、一方で就労継続支援A型の継続的の利用を望んでいる方等、多様なニーズのもとでの利用実態があり、就労継続支援A型という事業を障害のある人が各々において自分らしく働くための手掛かりとして頼りにされていることと思います。今後の利用者の更なる増加の見込みも感じております。就労継続支援A型及びB型の多機能型事業所としての運営体系の下で、障害のある人の個人個人の就労面でのニーズに丁寧に確実に応えることで、個人個人の生活が実り豊かなものとしておられるように今後も貢献してまいりたいと思います。

当事業所の利用者たちは、お弁当の製造及び販売業務、配達及び回収業務、法人内の昼食提供業務、そして所外実習等においてそれぞれ個人個人が自らの就労や作業面等での課題に挑み、各々の目的や目標に向かって歩んでいます。他法人が運営する子どもたちが利用する事業所の昼食提供業務を受託して業務を行っており、障害のある人の就労の場として価値ある場を作ることができており、そして法人側からの業務の遂行状況等に関する評価も高くあります。そこで働く人たちにとっても嬉しく感じ自信を持って働くことができております。

2019年度もこれまでと同様に事業所全員が協力し合い、個々が持てる力を存分に発揮して事業所運営にあたっていきたいと思います。

(利用者の推移)

・就労継続A型事業(定員10名)		総在籍者数	9名
平成30年4月	1名利用開始(養護学校卒業)	・・・	在籍者数 9名
平成30年9月	1名退所(就労移行事業利用)	・・・	在籍者数 8名
平成30年10月	1名退所(一般企業へ就職)	・・・	在籍者数 7名
平成31年1月	1名退所(福祉事業所へ就職)	・・・	在籍者数 6名
平成31年2月	2名利用開始(1年在宅・半年在宅)	・・・	在籍者数 8名

平成 31 年 3 月 1 名利用開始（1 年半在宅）・・・ 在籍者数 9 名

・就労継続支援 B 型事業(定員 10 名) 総在籍者数 7 名

平成 30 年 5 月 1 名利用開始・・・ 在籍者 9 名
平成 30 年 6 月 1 名退所（実家に戻る）・・・ 在籍者 8 名
平成 30 年 8 月 1 名利用開始・・・ 在籍者 9 名
平成 30 年 10 月 1 名退所（他事業所を利用）・・・ 在籍者 8 名
平成 30 年 11 月 1 名利用開始・・・ 在籍者 9 名
平成 30 年 12 月 1 名退所（専門学校へ入学）・・・ 在籍者 8 名
平成 30 年 2 月 1 名退所（他事業所利用）・・・ 在籍者 7 名

平成 31 年 3 月 31 日現在

登録者数 16 名(就労継続支援 A 型 9 名・就労継続支援 B 型 7 名)

就労継続支援 A 型事業

1 所員の内訳

- (1) 利用者総数 9 名（平成 31 年 3 月 31 日時点 利用者数 9 名）
(2) 出身市町村別 長野市 9 名
(3) 性別 男性 2 名 ・ 女性 7 名
(4) 年齢 44.0 歳（平成 30 年度末）
(5) 障がい種別 知的障がい者 2 名
精神障がい者 7 名

2 通所方法

- (1) 徒歩または自転車 1 名
(2) バイクまたは車（本人運転による） 6 名
(3) 公共交通機関利用 2 名
(4) 送迎（長野電鉄村山駅発着） 1 名
(5) 家族による送迎 0 名

3 日課について

(基本)

7：00 ～ 12：15 まで	着替え 作業 *途中に朝会・休憩あり
12：15 ～ 13：15 まで	お昼 休憩
13：15 ～ 15：30 まで	作業
15：30 ～ 15：45 まで	掃除
15：45 ～	帰りの会等
16：00	帰宅

利用者の体調や事情等によっては、個別に時間の調整をしています。

土または日曜日は、作業状況や活動内容によって様々に設定しました。

4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
88.0%	86.9%	95.7%	81.8%	78.2%	85.5%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
80.4%	92.2%	90.0%	71.3%	82.0%	83.8%	84.7%

5 個別支援計画 就労継続支援B型事業と同様

個別支援計画では、本人や家族との面談や、関わってきた関係者等を含めた会議を開くなどして、アセスメントを行い、本人のそれまでの歩みや、得意なことや苦手なこと、行動や日常生活上等で配慮すること等々を確認し、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成しました。特に本人の願いを重視して、面談をする中で願いやニーズ把握するように努めました。さらには、面談日以外にも、適時に相談を受け、困っていることや頑張りたいことを聞き、そこからもニーズを拾って作成をするようにしました。もし、生活の面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとり繋げるようにし、個別支援計画の目標として取り組めるものは入れるようにしました。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行いました。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、定期的に支援計画を作成していきたいと思えます。

6 就労活動について 就労継続支援B型事業と同様

【 お弁当製造、販売、配達作業 】

(1) 作業実績及び作業風景等

各所員が意欲的に作業に就いていました。目標を持って作業に取り組み、任されたことは責任を持って行き、分からないことは職員に聞きながら、働くことの楽しさや厳しさ、やり終えた達成感や喜びを感じられていると思います。また、身支度や食品に携わる際の衛生管理や、盛り付けのときの技術や目配り（おかずが決められた所に確実に適量入れられたなど）確認を取りながら進めています。配達るときは、身支度に気をつけ、お客様に挨拶をすることや走らず慌てないように落ち着いて作業できるように声掛けしています。

平日の昼食を主に、平均230食のお弁当を作り配達しております。土日祝日も、ご予約頂いたお客様の会議やイベントの特注弁当や、オードブルも作りました。

そして、法人内の6箇所の事業所の昼食の提供も行っており、食数は180食位です。

児童発達支援センター「にじいろキッズらいふ」より受けている業務委託は継続して運営しており、A型利用者1名及び職員2名で対応しています。平均55食程度及びおやつ35食程度の数を提供し、稼働日数は年間でにじいろキッズらいふが開所する約220日でした。前日に食材を納品して、当日現場にて調理、配膳、食器の洗浄、おやつ提供、翌日の食器の準備などの作業をしています。

安心・安全な食材を吟味し、野菜が豊富で手作り感のあるおいしい弁当をお届けできるよう日々努めています。

(2) 評価及び課題等

法人内は定着してきており大きな変動はあまり見られませんが、一般の顧客からの受注量が増えてきており製造量は増加傾向でした。今後のところでも、新規受注の増加やリピーター増加につながるようなメニュー構成や、味付け、盛り付けの工夫、価格設定など課題はまだありますが、食中毒などの事故が無いよう細心の注意と心構えで毎日の作業に取り組んでいきたいと思えます。注文量や業務量の増加により建物内の作業スペースや厨房器具のキャパが限界に近付いてきており、作業のしづらさを感じることも多くなってきており、課題として表れ始めております。

また、食材の価格の変動や天候に左右されやすい野菜など、取引業者と連絡を取り合い、原価をなるべく抑えるように複数の業者から見積もりを取り、最安の食材を仕入れるようにしています。アトリエ CoCo の農作業班の作る野菜を多めに取り入れ、支援協力しています。

今後も、安心・安全・美味しいを追求し、所員にとってもおいしい作業所であるべく、職員一丸となって着実に成果を上げられるようにひとつずつ丁寧に対応していきたいと思えます。

【 所外就労 】

平成 30 年度は、事業所の外での作業を、2 か所において委託を受けて行いました。

㈱角藤 ワインボトルのラベル貼り

ワインボトルのラベル貼りの作業を委託され、週 1 回程度で半日程度行いました。所員 1~2 名で、職員 1 名が付き添い作業にあたりました。作業内容はワインラベルのカットやワインボトルにそれぞれのラベルを貼るものであり、ミリ単位での精密さを求められるものであり、失敗するとやり直しが難しい作業です。集中力を求められ、かなり緊張するものでしたが、責任感を持って取り組むことができました。また、責任ある作業を任せられ、自身にも繋がっています。

にじいろキッズらいふ昼食等提供業務

他法人が運営する児童発達支援センターにじいろキッズらいふにて、厨房での業務を委託され、祝日を除く月曜日から金曜日まで、職員 2 名と所員 1 名で作業にあたりました。同事業所を利用される方の昼食やおやつの提供業務です。作業内容は、キッチン CoCo でカットや下処理をした食材を、にじいろキッズらいふ所属の管理栄養士の指導のもとで調理や盛り付けを行ったり、食器の洗浄等を行いました。食事の提供時間に間に合わせるという緊張感のある作業ですが、職員及び所員ともに連携して作業に取り組むことができました。また、所員は所内よりいっそうの集中力を求められ、緊張感や責任感を持って取り組むことができました。所内で行う作業とは違った空気の中で行うことで、所内での作業に対しても良いモチベーションになるようです。

【一般就労について】

平成 30 年度においては一般企業 1 名・他福祉事業所に障害者雇用として 1 名が就職しました。キッチン CoCo に通所しながら、ハローワークや企業の求人募集に応募しての採用となりました。働き方や仕事に対する姿勢などを話し合い、納得したところでの就職となりました。また、就職後も電話で状況報告を受けたり、アドバイスをするなど支援をしてきました。

【給与額について】

月	平均給与額	月	平均給与額
4月	90,452円	10月	94,079円
5月	95,676円	11月	96,013円
6月	90,349円	12月	88,048円
7月	84,931円	1月	80,097円
8月	82,746円	2月	72,900円
9月	78,108円	3月	79,889円
平均給与額 86,107円 支払い総額 8,510,579円			

7 カルチャー・衛生講習 就労継続支援B型事業と同様

(1) 実施日、実施内容、参加者数等

日付	実施タイトル	参加者数
実施した内容		
5/18(金)	熱中症予防・対策について	12名
厚生労働省より熱中症予防についてのお知らせがあり、熱中症にならないために予防策の周知を図る。		
6/15(金)	言葉遣いに気をつける	13名
声をかけられたら、きちんと「はい」と返事をしよう。仕事の時の言葉遣いは「～です」「～ます」が基本。報告の際には「～できました」「終わりました」と伝える。		
7/20(金)	熱中症予防・対策について	12名
配達担当・厨房担当、それぞれの業務中に気をつけることについて話し合う。暑さで体力・気力とも消耗しているので、仕事に支障が出ないように体調管理に気をつける。		
8/10(金)	休暇の取り方	10名
有給休暇の取り方、申請の仕方を説明。もし風邪や熱で出勤が難しいときには仕事が始まる前に連絡をしよう。		
9/5(水)	集団行動について	11名
家族旅行が近日行われるため、旅行参加者には特に、集団で行動する時のマナーや約束事などを伝える。「他者に迷惑をかけない行動とは？」を考えていただいた。		
10/19(金)	人と話しをするときの態度	11名
自分から話しを聞きに行き、相手のほうをむいて話しをしよう。仕事を教えてもらったなら、「ありがとうございました」としっかりお礼をしよう。		
11/16(金)	人から指示を受ける	9名
指示を受ける時には、相手の顔を見る。説明は最後まで聞いてから、質問などをしよう。わからない時にはその場で聞こう。終わった後はお礼の言葉を忘れずに。		
11/30(金)	感謝の気持ちを伝える	12名
正しいお礼の伝え方や、相手の目や口元をみてお礼の言葉を伝える事の大切さを話し		

合う。「ありがとうございました」だけでなく、「うれしいです」「助かりました」などその時に感じた素直な気持ちを言葉に表すのも大切。		
12/14(金)	インフルエンザ予防・対策について	12名
インフルエンザの予防接種のよびかけ。また、もしかかったら1週間の休み、等。外出する時にはマスクの着用。年末年始などでかけることも増えてくるので、人混みに行くときには特に注意をする。		
1/25(金)	労働福祉について	10名
長野県の最低賃金について・規程の休日の日数・有休のとり方等について説明。A型所員向けに「就業規則」の読み合わせを行い説明。		
2/22(金)	労働福祉について	10名
保険の種類・年金について等について説明。		
3/15(金)	検便について	11名
キッチン CoCo は食品を扱うため、衛生面について栄養士より説明。その際、検便のとり方について不安な方もいるため、あらためて容器の使い方を説明する。		

(2) カルチャーのねらいについて

順調に働き続けていくために、また日常生活を安心して送っていくために、知っておくべき知識や取り組むべき行動等についての学びの時間として行いました。職員が所員から受ける相談ごとや仕事への取り組み方等から課題を拾い上げ、資料を参考にして伝えるようにしました。

また、今年は栄養士からの衛生指導も含め行いました。食品を扱う仕事に携わっているため、気をつけなければならない事柄等を所員全員に向け、きちんと説明をするようにしました。来年度も所員の日頃の様子から、大事だと思われるものを学びとして取り上げながら行っていきたいと思います。

(3) 評価及び課題等について

実施頻度について

月に1回、金曜日に行いました。所外実習や衛生講習・健康相談といった他の活動もあり、月1回程度が妥当だと思われます。カルチャーの予定日に作業が忙しいことや、職員の配置がうまくできなかったことで実施できない時もありましたが、その場合には翌週に行うようにしました。

8 QOL 活動 就労継続支援 B 型事業と同様

(1) QOL 実施内容

日付	企画名	参加者数
4/22(日)	アトリエ CoCo お花見会へ参加	6名
5/26(土)	カラオケ	4名
6/17(日)	サンアップル主催障がい者施設対抗スポーツ大会へ参加	3名
7/1(日)	アートフェスティバル 2018 へ参加	3名
7/21(土)	映画&食事『万引き家族』	4名

8/3 (金)	アトリエ CoCo 夏祭りへ参加	4名
9/30 (日)	フードドライブ&食事&映画『コーヒーが冷めないうちに』	4名
10/19(土)	アトリエ CoCo 収穫祭へ参加	6名
12/1 (日)	キッチン CoCo 忘年会 カラオケ大会	8名
2/16 (土)	映画&ランチ『トラさん～僕が猫になったわけ～』	2名
3/10 (日)	アトリエ CoCo 主催ポーリング大会へ参加	1名

(2) QOL 活動のねらいについて

所員の休日のリフレッシュと、また様々な社会経験の場として月に1度ほどを目途に行いました。活動後は楽しかったという声が多く聞かれ、また、今月は何をやるの?等と楽しみにしている所員もいます。リフレッシュの場になっているようです。

また自ら昼食を選び購入することもあり、よい経験の場になったと思われます。

(3) 評価及び課題等

実施内容について

今年度は、アトリエ CoCo 主催の企画に参加するということが多かったです。他事業所の人たちとの交流を楽しむことができました。また、今年度はカラオケや映画館に行くなど、所員の希望に沿うような企画を考えました。いろいろな情報を集め、1つの企画に偏らずに多岐にわたって実施するのが望ましいと思われます。

実施頻度について

土曜日または日曜日を使い、1か月に1回程度行った。金銭がかかる面や、疲れを残さないことを考えると今の1か月に1回のペースがよいと思われます。

参加者数について

今年度、参加者数は少なめ傾向でしたが、忘年会を兼ねて行ったカラオケ企画は、普段参加されない方も多数参加され楽しむことができました。金銭的に厳しいという理由により参加しない所員もあり、できるだけお金がかからない企画も考えていきたいと思ひます。

来年度について

QOL 活動を毎月楽しみにしている所員がいます。来年度も月1回程度のペースで様々な企画をしていきたいと思ひます。事業所間の交流を目的として、今年度はアトリエ CoCo 主催のものに参加しましたが、BakeryCafeCoCo で行っている企画行事にも参加するなど、今年度とは違った企画も考えていきたいと思ひます。また、スポーツやカラオケ等でリフレッシュできるものや教養を深めるもの、所員同士の親睦を深めるための親睦会等、できるだけ多岐にわたって実施していきたいと思ひます。

9 保健衛生について 就労継続支援 B 型事業と同様

(1) 健康診断について

- 2回実施 -

第1回目

- ・日時 : 平成30年6月28日(木)午後1:30~3:30
平成30年7月5日(木)午後1:30~3:30
- ・実施(依頼)機関 : (財)全日本労働福祉協会

・実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、胸部レントゲン、聴力検査（対象者のみ）、血液検査（対象者のみ）、心電図（対象者のみ）、医師による触診及び問診

・受信者数 : 16名受診（うち4名退所）

第2回目

・日時 : 平成30年8月21日（火）及び8月27日（月）

・実施（依頼）機関 : 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師

・実施内容 : 触診及び問診

・受診者数 : 13名受診

その他

第1回目の診断結果が出来次第、データを立岩Dr.と看護師にお渡し、ご意見・ご指導を頂きました。頂いたご意見・ご指導は面談や健康相談を通じてご本人達に伝えました。

(2) 健康相談について

三木看護師（嘱託）により、月に2回程度（金曜日）1人20分程度かけて行いました。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4月	2回	14名	10月	1回	6名
5月	2回	15名	11月	1回	6名
6月	2回	14名	12月	2回	13名
7月	1回	7名	1月	2回	13名
8月	2回	13名	2月	1回	7名
9月	1回	6名	3月	1回	8名
実施回数		18回	延相談者数		122名

(3) 肥満対策について

6月の健康診断において肥満状態にある所員が2名。肥満に関しては自覚をしているようですが、自宅での食事量や間食の自己管理が難しいと思われます。キッチン CoCo にて提供している昼食はおかずやごはんの量が決まっているので食べ過ぎると言うことは無いのですが、家庭等での食事量が多かったり、間食もとったりするため生活全般的に多めの様です。日常的に適切な量と内容の食事をするように意識を持っていただきたいと思います。職員側からの意識付け等の働きかけはこれからも必要であり、面談や健康相談等を通してこれからも働きかけをしていきたいと思ひます。

(4) 血圧について

- ・毎月の健康相談にて、血圧測定を実施しました。数名の所員は測定日によっては血圧が高い時もありますが、常時ではないので様子を見ています。
- ・年間を通して低血圧傾向にある所員が1名いますが、三木看護師からは、日常生活に支障

はないとの話があり様子を見ています。

(5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、鼻炎、痛み止め等の経口薬、及び消毒液、絆創膏、湿布、目薬等、かゆみ止め並びに体温計を整えています。施設の衛生管理上、手の傷を露出しないよう絆創膏が使われることが多かったです。一部の風邪薬や目薬・湿布薬などのように全く使用しない薬もありました。

(6) 服薬支援について

個別に服薬支援を行っている所員が1名います。頭痛によるかかりつけ医より痛み止め、精神安定剤等の頓服薬を処方されています。頭痛のとんぷく薬の保管は職員が行い、症状や服薬希望の訴えがあったときには様子を見て渡す等の服薬支援を行いました。

(7) 「傷病記録」について

服薬、静養等の場合に必要な情報の記録し支援を行いました。

(8) 嘱託の医師と看護師との連携について

今年度も2回、立岩医師による健康診断を、そして、三木看護師による健康相談を基本的に月2回実施しました。

健康診断については第1回目の健康診断の結果のデータを立岩医師と三木看護師にお渡し、診断結果に応じて、必要な場合には各所員個別に指導及び助言等をいただきました。また日常の情報交換や共有を通して、所員個別の健康状態や対応等について指導や助言をいただき、所員の健康管理支援や日常や年度等の健康衛生活動の取り組みにつなげています。

(9) 個別の健康情報について

精神的な疾患を持ち、メンタル面での配慮や支援を必要とする所員が増えてきています。基本的には年間を通して継続して安定している所員が多い中、時期や状況によって、感情的に不安定な状態になり、躁鬱等のそれぞれが抱えている症状が出てきて、困ったり苦しんだりする様子も伺えます。所員の状態を日常的にしっかりと把握をし、また休んでいるときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認と把握を行っています。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも所員個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっています。

(10) 衛生講習について

作業面及び日常生活面での衛生管理に対する意識の向上及び実績を目的として、栄養士による衛生講習を月1回行いました。カルチャーと目的が重なる面もあり、カルチャーの時間の中で、衛生講習として実施したときもありました。

(11) 清掃について

清掃については、所員によってそれぞれに応じた支援を受けながら、作業室や生活区域のスペースを担当場所ごとに行いました。特に作業室は、お弁当を作っている箇所であり、常に衛生面を意識して丁寧にしっかりと行いました。

(12) その他

毎日の朝会において、爪・手指の傷・身だしなみとともに健康状態の確認を行いました。毎日、通所して来た際も含めて外から帰ってきた時には、インフルエンザ・風邪の予防も

含めて、日常的に手洗い及びうがい液でのうがいを行いました。今年度インフルエンザに罹った方はいませんでした。

ノロウイルスやインフルエンザが流行る時期には、朝会や衛生講習等で予防及び対処法について触れ、また予防及び対処マニュアルを配布して衛生の徹底に努めました。特に11月にはインフルエンザの予防接種の呼びかけをし、アトリエ CoCoにて嘱託医である立岩先生に、インフルエンザの予防接種を実施していただきました。多くが予防接種を受けましたが、経済的に余裕がなかったり、以前に予防接種を受けた際体調を壊した等、個人個人の事情により接種されない方もいましたが、来年度も呼びかけはしていきたいと思えます。

10 給食について 就労継続支援 B 型事業と同様

- ・給食を楽しみに通所する所員が多いです。内容は、日替わり弁当とほぼ同じメニューで提供をしています。自分たちが、仕込み・盛り付けをした弁当が商品としてお客様に届くというのは、所員たちのやりがいやモチベーションのアップにつながっているように感じます。
- ・給食検討会にて、給食に関する情報交換及び共有を行い課題検討を行いました。嗜好調査やアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をしてきました。嗜好による配慮は行いましたが、アレルギー対応の所員はいませんでした。1名、生卵のアレルギーの方がいますが、生玉子を提供することはありません。
- ・体重や血圧など考慮して、職員が調節してごはんを盛ったり、調味料もかけすぎないように職員が行うなど、健康への配慮を行いました。

11 旅行について 就労継続支援 B 型事業と同様

(1)実施内容等

第1回目

《実施年月日》

平成30年9月6日(木)～9月7日(金)

《参加人数》

計5名(所員3名、家族1名、職員1名)

《旅行会社》

日本旅行長野支店

《場所》

『レゴランドジャパンと下呂温泉の旅』

・見学場所

1日目：まつりの森

2日目：レゴランドジャパン

・宿泊場所

飛騨路下呂温泉 小川屋

《その他》

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。

第2回目

《実施年月日》

平成 30 年 9 月 13 日(木)～9 月 14 日(金)

《参加人数》

計 6 名(所員 4 名、家族 1 名、職員 1 名)

《旅行会社》

日本旅行長野支店

《場所》

『三鷹の森ジブリ美術館と鴨川シーワールドの旅』

・見学場所

1 日目：ジブリ美術館

2 日目：鴨川シーワールド

・宿泊場所

勝浦ホテル三日月

《その他》

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。

《評価及び課題》

9 月の上旬の 2 週にわたって 2 グループに分けてアトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催して実施しました。7 名の所員とその家族が参加されました。参加された方はのんびりとゆっくりとできて存分に満喫できたようで、事業所内外の人たちの交流も楽しめたようでした。

旅行の実施日は、キッチン CoCo では通常通り弁当製造配達業務を行いましたが、木・金曜日の平日であったため、事業所内は少ない人数で業務運営を行わなくてはならず、かなりの負担を強いられるため、旅行の日程及び方法等については今後検討していきたいと思います。

12 防災訓練について 就労継続支援 B 型事業と同様

(1) 防災訓練

第 1 回目

- ・実施日：平成 30 年 4 月 30 日(月)
- ・参加者：所員 10 名 職員 6 名 計 16 名
- ・内容：避難訓練。事業所内で火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：実際に火災が起きたときには、発生時点で誘導することとなります。次回の訓練では、火災が起きた時点で避難を誘導する、というやり方で行うようにしたいと思います。腰を低くし、ハンカチや裾などを口元にあてるということができていない所員もいたため、次回は事前にその大切さ等もレクチャーもしてから行うようにします。

第 2 回目

- ・実施日：平成 30 年 10 月 8 日(月)
- ・参加者：所員 7 名 職員 4 名 計 11 名

- ・内容：避難訓練。事業所内で火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：今回は前回の変更点として、「初期消火の段階で、119番通報と避難誘導」を行いました。また、前回の火災発生元は洗浄機だったが、今回はガスコンロとしました。事前に避難のレクチャーもしたため避難も順調でした。

(2) 消防設備点検

毎月実施しました。業者による総合点検として年に2回(平成30年4月及び10月)実施しました。

(3) その他

- ・自衛消防団の編成及び調整。職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置。

13 地域との協働について 就労継続支援B型事業と同様

- ・見学や研修を受け入れました。
(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、民生委員、社協関係者、他事業所等)
- ・地域の諸団体等との連携を行い、様々な地域ネットワークに積極的に参加しました。
(長野市障害ふくしねっと、長野県セルフセンター協議会、若穂住民自治協議会、長野市商工会若穂支部等)

14 職員研修について 就労継続支援B型事業と同様

- ・ケア会議や職員会議を定期的実施し、日常業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めました。
- ・相談支援従事者初任者研修、サービス管理責任者研修、虐待防止研修等の外部の機関が行う研修に積極的に参加し、知識や技術の向上に努めました。

15 職員体制について

所長	1名
サービス管理責任者	1名
職業指導員	2名
生活支援員	1名
賃金向上達成指導員	2名
看護師(嘱託)	1名
医師(嘱託)	1名

就労継続支援B型事業

1 所員の内訳

- (1) 登録者数 7名 (平成31年3月31日時点)
- (2) 市町村別 長野市 7名
- (3) 男女別 男性3名・女性4名
- (4) 年齢 平均44.1歳(平成30年度末)
- (5) 障がい種別 知的障がい者 5名
精神障がい者 2名

2 通所方法

- (1) 徒歩または自転車 3名
- (2) バイクまたは車(本人運転による) 2名
- (3) 公共交通機関利用 2名
- (4) 送迎(長野電鉄村山駅発着) 2名
- (5) 家族による送迎 0名

3 日課について 就労継続支援A型事業と同様

7:00 ~ 12:15まで	朝会 着替え 作業
12:15 ~ 13:15まで	お昼 休憩
13:15 ~ 15:30まで	作業
15:30 ~ 15:45まで	掃除
15:45 ~	帰りの会等
16:00	帰宅

利用者の体調や事情等によっては、個別に時間の調整をしています。

土または日曜日は、作業状況や活動内容によって様々に設定しました。

4 通所状況

通所実態(通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
93.8%	77.8%	77.6%	82.2%	78.7%	80.5%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
77.4%	79.0%	74.8%	75.5%	86.5%	95.2%	81.6%

5 個別支援計画 就労継続支援A型事業と同様

個別支援計画では、本人や家族との面談や、関わってきた関係者等を含めた会議を開くなどして、アセスメントを行い、本人のそれまでの歩みや、得意なことや苦手なこと、行動や日常生活上で配慮すること等々を確認し、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成しました。特に本人の願いを重視して、面談をする中で願いやニーズ把握するように努めました。

さらには、面談日以外にも、適時に相談を受け、困っていることや頑張りたいことを聞き、そこからニーズを拾って作成をするようにしました。もし、生活の面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとり繋げるようにし、個別支援計画の目標として取り組めるものは入れるようにしました。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行いました。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、定期的に支援計画を作成していきたいと思えます。

6 就労活動について 就労継続支援A型事業と同様

【 お弁当製造、販売、配達作業 】

(1) 作業実績及び作業風景等

各所員が意欲的に作業に就いていました。目標を持って作業に取り組み、任されたことは責

任を持って行い、分からないことは職員に聞きながら、働くことの楽しさや厳しさ、やり終えた達成感や喜びを感じられていると思います。また、身支度や食品に携わる際の衛生管理や、盛り付けのときの技術や目配り（おかずが決められた所に確実に適量入れられたなど）確認を取りながら進めています。配達の際は、身支度に気をつけ、お客様に挨拶をすることや走らず慌てないよう落ち着いて作業できるように声掛けしています。

平日の昼食を主に、平均 230 食のお弁当を作り配達しております。土日祝日も、ご予約頂いたお客様の会議やイベントの特注弁当や、オードブルも作りました。

そして、法人内の 6 箇所の事業所の昼食の提供も行っており、食数は 180 食位です。

児童発達支援センター「にじいろキッズらいふ」より受けている業務委託は継続して運営しており、A 型利用者 1 名及び職員 2 名で対応しています。平均 55 食程度及びおやつ 35 食程度の数を提供し、稼働日数は年間でにじいろキッズらいふが開所する約 220 日でした。前日に食材を納品して、当日現場にて調理、配膳、食器の洗浄、おやつ提供、翌日の食器の準備などの作業をしています。

安心・安全な食材を吟味し、野菜が豊富で手作り感のあるおいしい弁当をお届けできるよう日々努めています。

(2) 評価及び課題等

法人内は定着してきており大きな変動はあまり見られませんが、一般の顧客からの受注量が増えてきており製造量は増加傾向でした。今後のところでも、新規受注の増加やリピーター増加につながるようなメニュー構成や、味付け、盛り付けの工夫、価格設定など課題はまだありますが、食中毒などの事故が無いよう細心の注意と心構えで毎日の作業に取り組んでいきたいと思っています。注文量や業務量の増加により建物内の作業スペースや厨房器具のキャパが限界に近付いてきており、作業のしづらさを感じることも多くなってきており、課題として表れ始めております。

また、食材の価格の変動や天候に左右されやすい野菜など、取引業者と連絡を取り合い原価をなるべく抑えるように複数の業者から見積もりを取り、最安の食材を仕入れるようにしています。アトリエ CoCo の農作業班の作る野菜を多めに取り入れ、支援協力しています。

今後も、安心・安全・美味しいを追求し、所員にとってもおいしい作業所であるべく、職員一丸となって着実に成果を上げられるようにひとつずつ丁寧に対応していきたいと思っています。

【 工賃額について 】

月	平均月額工賃額	月	平均月額工賃額
4月	27,718 円	10月	26,669 円
5月	25,727 円	11月	24,358 円
6月	23,754 円	12月	27,769 円
7月	35,491 円	1月	22,625 円
8月	25,359 円	2月	24,032 円
9月	22,062 円	3月	37,144 円
平均月額工賃額 26,892 円 (時給換算 265 円)		支払い総額 2,720,219 円	

7 カルチャー・衛生講習 就労継続支援 A 型事業と同様

(1) 実施日、実施内容、参加者数等

日付	実施タイトル	参加者数
実施した内容		
5/18(金)	熱中症予防・対策について	12名
厚生労働省より熱中症予防についてのお知らせがあり、熱中症にならないために予防策の周知を図る。		
6/15(金)	言葉遣いに気をつける	13名
声をかけられたら、きちんと「はい」と返事をしよう。仕事の時の言葉遣いは「～です」「～ます」が基本。報告の際には「～できました」「終わりました」と伝える。		
7/20(金)	熱中症予防・対策について	12名
配達担当・厨房担当、それぞれの業務中に気をつけることについて話し合う。暑さで体力・気力とも消耗しているので、仕事に支障が出ないように体調管理に気をつける。		
8/10(金)	休暇の取り方	10名
有給休暇の取り方、申請の仕方を説明。もし風邪や熱で出勤が難しいときには仕事が始まる前に連絡をしよう。		
9/5(水)	集団行動について	11名
家族旅行が近日行われるため、旅行参加者には特に、集団で行動する時のマナーや約束事などを伝える。「他者に迷惑をかけない行動とは？」を考えていただいた。		
10/19(金)	人と話しをするときの態度	11名
自分から話しを聞きに行き、相手のほうをむいて話しをしよう。仕事を教えてもらったら、「ありがとうございました」としっかりお礼をしよう。		
11/16(金)	人から指示を受ける	9名
指示を受ける時には、相手の顔をみる。説明は最後まで聞いてから、質問などをしよう。わからない時にはその場で聞こう。終わった後はお礼の言葉を忘れずに。		
11/30(金)	感謝の気持ちを伝える	12名
正しいお礼の伝え方や、相手の目や口元をみてお礼の言葉を伝える事の大切さを話し合う。「ありがとうございました」だけでなく、「うれしいです」「助かりました」などその時に感じた素直な気持ちを言葉に表すのも大切。		
12/14(金)	インフルエンザ予防・対策について	12名
インフルエンザの予防接種のよびかけ。また、もしかかったら1週間の休み、等。外出する時にはマスクの着用。年末年始などでかけることも増えてくるので、人混みに行くときには特に注意をする。		
1/25(金)	労働福祉について	10名
長野県の最低賃金について・規程の休日の日数・有休のとり方等について説明。A型所員向けに「就業規則」の読み合わせを行い説明。		
2/22(金)	労働福祉について	10名

保険の種類・年金について等について説明。		
3/15(金)	検便について	11名
キッチン CoCo は食品を扱うため、衛生面について栄養士より説明。その際、検便のとり方について不安な方もいるため、あらためて容器の使い方を説明する。		

(3) 評価及び課題等について

実施頻度について

月に1回、金曜日に行いました。所外実習や衛生講習・健康相談といった他の活動もあり、月1回程度が妥当だと思われます。カルチャーの予定日に作業が忙しいことや、職員の配置がうまくできなかったことで実施できない時もありましたが、その場合には翌週に行うようにしました。

実施内容について

実施した内容が多かったのが、みだしなみ・あいさつ・言葉遣いでした。仕事上でのマナーやルールに対しての内容が多かったと感じます。挨拶や言葉遣い、服装等の内容は実施後意識的に気をつけて行動する様子も見られました。また、今年は労働福祉についても行いました。特にA型利用者のみなさんには就業規則についても説明し、仕事に対する心構え等あらためて考えていただく良い機会にもなった様です。更には熱中症予防・対策、インフルエンザやノロウイルスに対する予防・対策、検便についてなど栄養士からも説明してもらい、体調管理や衛生面に対する注意も促すことができました。

参加者について

所員全員参加をめざして行ったが、当日休みの所員や、洗浄の作業などをしていて、参加できない所員がいらっしゃいます。皆がそろうのは難しいですが、そのような場合には必ず後で個別で行うようにしました。

来年度について

来年度も同様の目的で実施していきたいと思います。内容については、所員の希望を聞いたり、職員側で適切だと思われるものを考えながら行っていきたいと思っています。

8 QOL 活動 就労継続支援B型事業と同様

(1) QOL 実施内容

日付	企画名	参加者数
4/22(日)	アトリエ CoCo お花見会へ参加	6名
5/26(土)	カラオケ	4名
6/17(日)	サンアップル主催障がい者施設対抗スポーツ大会へ参加	3名
7/1(日)	アートフェスティバル2018へ参加	3名
7/21(土)	映画&食事『万引き家族』	4名
8/3(金)	アトリエ CoCo 夏祭りへ参加	4名
9/30(日)	フードライブ&食事&映画『コーヒーが冷めないうちに』	4名
10/19(土)	アトリエ CoCo 収穫祭へ参加	6名
12/1(日)	キッチン CoCo 忘年会 カラオケ大会	8名

2/16 (土)	映画&ランチ『トラさん～僕が猫になったわけ～』	2名
3/10 (日)	アトリエ CoCo 主催ボーリング大会へ参加	1名

(2) QOL 活動のねらいについて

所員の休日のリフレッシュと、また様々な社会経験の場として月に1度ほどを目途に行いました。活動後は楽しかったという声が多く聞かれ、また、今月は何をやるの?等と楽しみにしている所員もいます。リフレッシュの場になっているようです。

また自ら昼食を選び購入することもあり、よい経験の場になったと思われます。

(3) 評価及び課題等

実施内容について

今年度は、アトリエ CoCo 主催の企画に参加するということが多かったです。他事業所の人たちとの交流を楽しむことができました。また、今年度はカラオケや映画館に行くなど、所員の希望に沿うような企画を考えました。いろいろな情報を集め、1つの企画に偏らずに多岐にわたって実施するのが望ましいと思われます。

実施頻度について

土曜日または日曜日を使い、1か月に1回程度行った。金銭がかかる面や、疲れを残さないことを考えると今の1か月に1回のペースがよいと思われます。

参加者数について

今年度、参加者数は少なめ傾向でしたが、忘年会を兼ねて行ったカラオケ企画は、普段参加されない方も多数参加され楽しむことができました。金銭的に厳しいという理由により参加しない所員もあり、できるだけお金がかからない企画も考えていきたいと思います。

来年度について

QOL 活動を毎月楽しみにしている所員がいます。来年度も月1回程度のペースで様々な企画をしていきたいと思います。事業所間の交流を目的として、今年度はアトリエ CoCo 主催のものに参加しましたが、BakeryCafeCoCo で行っている企画行事にも参加するなど、今年度とは違った企画も考えていきたいと思います。また、スポーツやカラオケ等でリフレッシュできるものや教養を深めるもの、所員同士の親睦を深めるための親睦会等、できるだけ多岐にわたって実施していきたいと思います。

9 保健衛生について 就労継続支援 A 型事業と同様

(1) 健康診断について

- 2 回実施 -

第 1 回目

- ・日時 : 平成 30 年 6 月 28 日 (木) 午後 1 : 30 ~ 3 : 30
平成 30 年 7 月 5 日 (木) 午後 1 : 30 ~ 3 : 30
- ・実施 (依頼) 機関 : (財) 全日本労働福祉協会
- ・実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、胸部レントゲン、聴力検査 (対象者のみ)、血液検査 (対象者のみ)、心電図 (対象者のみ)、医師による触診及び問診

・受信者数 : 16名受診(うち4名退所)

第2回目

・日時 : 平成30年8月21日(火)及び8月27日(月)

・実施(依頼)機関 : 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師

・実施内容 : 触診及び問診

・受診者数 : 13名受診

その他

第1回目の診断結果が出来次第、データを立岩Dr.と看護師にお渡し、ご意見・ご指導を頂きました。頂いたご意見・ご指導は面談や健康相談を通じてご本人達に伝えました。

(2) 健康相談について

三木看護師(嘱託)により、月に2回程度(金曜日) 1人20分程度かけて行いました。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4月	2回	14名	10月	1回	6名
5月	2回	15名	11月	1回	6名
6月	2回	14名	12月	2回	13名
7月	1回	7名	1月	2回	13名
8月	2回	13名	2月	1回	7名
9月	1回	6名	3月	1回	8名
実施回数 18回			延相談者数 122名		

(3) 肥満対策について

6月の健康診断において肥満状態にある所員が2名。肥満に関しては自覚をしているようですが、自宅での食事量や間食の自己管理が難しいと思われます。キッチン CoCo にて提供している昼食はおかずやごはんの量が決まっているので食べ過ぎると言うことは無いのですが、家庭等での食事量が多かったり、間食もとったりするため生活全般的に多めの様です。日常的に適切な量と内容の食事をとるように意識を持っていただきたいと思います。職員側からの意識付け等の働きかけはこれからも必要であり、面談や健康相談等を通してこれからも働きかけをしていきたいと思ひます。

(4) 血圧について

- ・毎月の健康相談にて、血圧測定を実施しました。数名の所員は測定日によっては血圧が高い時もありますが、常時ではないので様子を見ています。
- ・年間を通して低血圧傾向にある所員が1名いますが、三木看護師からは、日常生活に支障はないとの話があり様子を見ています。

(5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、鼻炎、痛み止め等の経口薬、及び消毒液、絆創膏、湿布、目薬等、かゆみ止め並びに体温計を整えています。施設の衛生管理上、手の傷を露出しないよう絆創膏が使

われることが多かったです。一部の風邪薬や目薬・湿布薬などのように全く使用しない薬もありました。

(6) 服薬支援について

個別に服薬支援を行っている所員が1名います。頭痛によるかかりつけ医より痛み止め、精神安定剤等の頓服薬を処方されています。頭痛のとんぷく薬の保管は職員が行い、症状や服薬希望の訴えがあったときには様子をみて渡す等の服薬支援を行いました。

(7) 「傷病記録」について

服薬、静養等の場合に必要な情報の記録し支援を行いました。

(8) 嘱託の医師と看護師との連携について

今年度も2回、立岩医師による健康診断を、そして、三木看護師による健康相談を基本的に月2回実施しました。

健康診断については第1回目の健康診断の結果のデータを立岩医師と三木看護師にお渡し、診断結果に応じて、必要な場合には各所員個別に指導及び助言等をいただきました。また日常の情報交換や共有を通して、所員個別の健康状態や対応等について指導や助言をいただき、所員の健康管理支援や日常や年度等の健康衛生活動の取り組みにつなげています。

(9) 個別の健康情報について

精神的な疾患を持ち、メンタル面での配慮や支援を必要とする所員が増えてきています。基本的には年間を通して継続して安定している所員が多い中、時期や状況によって、感情的に不安定な状態になり、躁鬱等のそれぞれが抱えている症状が出てきて、困ったり苦しんだりする様子も伺えます。所員の状態を日常的にしっかりと把握をし、また休んでいるときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認と把握を行っています。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも所員個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっています。

(10) 衛生講習について

作業面及び日常生活面での衛生管理に対する意識の向上及び実績を目的として、栄養士による衛生講習を月1回行いました。カルチャーと目的が重なる面もあり、カルチャーの時間の中で、衛生講習として実施したときもありました。

(11) 清掃について

清掃については、所員によってそれぞれに応じた支援を受けながら、作業室や生活区域のスペースを担当場所ごとに行いました。特に作業室は、お弁当を作っている箇所であり、常に衛生面を意識して丁寧にしっかりと行いました。

(12) その他

毎日の朝会において、爪・手指の傷・身だしなみとともに健康状態の確認を行いました。毎日、通所して来た際も含めて外から帰ってきた時には、インフルエンザ・風邪の予防も含めて、日常的に手洗い及びうがい液でのうがいを行いました。今年度インフルエンザに罹った方はいませんでした。

ノロウイルスやインフルエンザが流行る時期には、朝会や衛生講習等で予防及び対処法について触れ、また予防及び対処マニュアルを配布して衛生の徹底に努め

ました。特に11月にはインフルエンザの予防接種の呼びかけをし、アトリエ CoCoにて嘱託医である立岩先生に、インフルエンザの予防接種を実施していただきました。多くが予防接種を受けましたが、経済的に余裕がなかったり、以前に予防接種を受けた際体調を壊した等、個人個人の事情により接種されない方もいました。来年度も呼びかけはしていきたいと思います。

10 給食について 就労継続支援 A 型事業と同様

- ・給食を楽しみに通所する所員が多いです。内容は、日替わり弁当とほぼ同じメニューで提供をしています。自分たちが、仕込み・盛り付けをした弁当が商品としてお客様に届くというのは、所員たちのやりがいやモチベーションのアップにつながっている様に感じます。
- ・給食検討会にて、給食に関する情報交換及び共有を行い課題検討を行いました。嗜好調査やアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をしてきました。嗜好による配慮は行いましたが、アレルギー対応の所員はいませんでした。1名、生卵のアレルギーがある方がいますが、生玉子を提供することはありません。
- ・体重や血圧など考慮して、職員が調節してごはんを盛ったり、調味料もかけすぎないように職員が行うなど、健康への配慮を行いました。

11 旅行について 就労継続支援 A 型事業と同様

(1)実施内容等

第1回目

《実施年月日》

平成30年9月6日(木)~9月7日(金)

《参加人数》

計5名(所員3名、家族1名、職員1名)

《旅行会社》

日本旅行長野支店

《場所》

『レゴランドジャパンと下呂温泉の旅』

・見学場所

1日目：まつりの森

2日目：レゴランドジャパン

・宿泊場所

飛騨路下呂温泉 小川屋

《その他》

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。

第2回目

《実施年月日》

平成30年9月13日(木)~9月14日(金)

《参加人数》

計6名(所員4名、家族1名、職員1名)

《旅行会社》

日本旅行長野支店

《場所》

『三鷹の森ジブリ美術館と鴨川シーワールドの旅』

・見学場所

1日目：ジブリ美術館

2日目：鴨川シーワールド

・宿泊場所

勝浦ホテル三日月

《その他》

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。

《評価及び課題》

9月の上旬の2週にわたって2グループに分けてアトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催して実施しました。7名の所員とその家族が参加されました。参加された方はのんびりとゆっくりとできて存分に満喫できたようで、事業所内外の人たちの交流も楽しめたようでした。

旅行の実施日は、キッチン CoCo では通常通り弁当製造配達業務を行いましたが、木・金曜日の平日であったため、事業所内は少ない人数で業務運営を行わなくてはならず、かなりの負担を強いられるため、旅行の日程及び方法等については今後検討していきたいと思えます。

12 防災訓練について 就労継続支援 A 型事業と同様

(1) 防災訓練

第1回目

- ・実施日：平成30年4月30日(月)
- ・参加者：所員10名 職員6名 計16名
- ・内容：避難訓練。事業所内で火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：実際に火災が起きたときには、発生時点で誘導することとなります。次回の訓練では、火災が起きた時点で避難を誘導する、というやり方で行うようにしたいと思えます。腰を低くし、ハンカチや裾などを口元にあてるということができていない所員もいたため、次回は事前にその大切さ等もレクチャーもしてから行うようにします。

第2回目

- ・実施日：平成30年10月8日(月)
- ・参加者：所員7名 職員4名 計11名
- ・内容：避難訓練。事業所内で火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：今回は前回の変更点として、「初期消火の段階で、119番通報と避難誘導」を行いました。また、前回の火災発生元は洗浄機だったが、今回はガスコンロとしました。事前に避難のレクチャーもしたため避難も順調でした。

(3) 消防設備点検

毎月実施しました。業者による総合点検として年に2回(平成30年4月及び10月)実施しました。

(4) その他

- ・自衛消防団の編成及び調整。職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置。

13 地域との協働について 就労継続支援A型事業と同様

- ・見学や研修を受け入れました。
(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、民生委員、社協関係者、他事業所等)
- ・地域の諸団体等との連携を行い、様々な地域ネットワークに積極的に参加しました。
(長野市障害ふくしねっと、長野県セルフセンター協議会、若穂住民自治協議会、長野市商工会若穂支部等)

14 職員研修について 就労継続支援A型事業と同様

- ・ケア会議や職員会議を定期的実施し、日常業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めました。
- ・相談支援従事者初任者研修、サービス管理責任者研修、虐待防止研修等の外部の機関が行う研修に積極的に参加し、知識や技術の向上に努めました。

15 職員体制について

所長	1名
サービス管理責任者	1名
職業指導員	1名
生活支援員	1名
目標工賃達成指導員	1名
看護師(嘱託)	1名
医師(嘱託)	1名

相談支援事業(計画相談)

1 実施内容等について

(1) 実施事業

計画相談

(1) 実績(計画相談作成等)

サービス等利用計画作成数	10件
モニタリング数	20件

(3) 評価及び課題等

平成30年度においては継続的に障害福祉サービスを利用する方の更新及び定期的な面談等の計画相談支援業務でした。

計画相談支援業務を通して、本人と適度な距離をとり、本人のエンパワメントに配慮して、本人の力を引き出して、本人が障害福祉サービスを利用しながら、望むような地域の中での

生活をおくっていくことができるように関わっていくことに改めてですが難しさを感じたりもしました。本人と障害福祉サービス事業所との関係を冷静に客観的に捉え、本人と障害福祉サービス事業所と良好な関係を保ち、望みやニーズに対して本人は意識を持ち、支援等が的確に届いていくように十分に努めてきたとは思いますが、きっとまだまだ不十分なこともあるでしょうし、様々に力を鍛えて向上させていかなくてはならないと思います。

業務量の多さやそれに伴う負担、担い手の量や質、人材育成、報酬単価、制度設計等に不安や課題を感じたりもしますが、目の前の相談支援業務に関わる一つ一つの作業を丁寧にこなしていくことで今後も変わらずに障害のある人の地域生活を支えることに真摯に取り組み、ひいては地域や社会をつくりあげていくことにつなげていきたいと思います。この事業を担っていく中で、現場での動きを通して、障害のある人の利益に直接的に結び付ける行動をとり、そして社会的な課題に対応していくことも臆することなく行っていきたいと思います。全体的に業務量が多く、実動の部分での動きが遅くなるという傾向にありましたが、効率的に動くことに努めました。そのあたりは今後の課題ではあります。

2 職員体制について

管理者及び相談支援専門員 1名

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業
多機能型（ 就労継続B型 就労移行 ）

CoCoJAVJAV（主）・BakeryCoCo（従）

CoCoJAVJAVは、事業所建物の外壁の劣化に伴い塗装とコーキング工を行い、またエアコン3台の入替を行いました。事業所としての運営において、利用者の皆さんが元気に過ごせるようにと形を作ってきたわけではありますが、この建物の工事は、それだけの時間を掛けてきたのだということを感じさせることでもありました。今後もハード面において、丁寧に扱い、綺麗に長く利用していけるように皆で周知していきたいと思えます。

BakeryCafeCoCoは、新しい節目の年として試行錯誤となりましたがなかなか目に見えるような形では成果を出せず、新商品の開発と販売方法の模索を継続しています。関わるすべての方たちがモチベーションをアップし、商品と販売、集客において前進する気持ちで取り組んでいきたいと思えます。

CafeCoCoでは、保健師を中心に相談支援に広がりを持たせ、精神障がいの方や、障がいのあるお子さんの親御さん、就職相談など、これまでよりも幅広い方が来所されています。サンドイッチ教室や外出イベントなども定例になり、楽しみに来所してくださっています。

今後において、各所ともに連携し、利用者さんと職員が協力しあいながら、すべてが一緒に同時に進んでいけるようにと取り組んで参りました。「みんなでひとつ」であることを考えとし、その上で個々が自立した行動をし、また協同のなかで作り上げていきます。

利用者の推移

就労移行支援

平成30年	4月	2名	入所	・・・	在籍者数	3名		
平成30年	5月	1名	就労継続B型事業へ移行	・・・	在籍者数	2名		
						総在籍者数	2名（平成31年3月末）	
別途：就労アセスメントのための就労移行利用者数						平成30年10月	1名	
						平成31年	1月	1名

就労継続B型支援

平成30年	6月	1名	就労移行支援事業より移行入所	・・・	在籍者数	31名		
平成30年	7月	1名	入所	・・・	在籍者数	32名		
平成30年	12月	1名	退所	・・・	在籍者数	31名		
平成31年	3月	1名	入所	・・・	在籍者数	32名		
						・・・	在籍者数	31名
						総在籍者数	32名（平成31年3月末）	

就労移行支援事業

1 所員の内訳（平成31年3月末）

- (1) 出身市町村： 長野市 2名
- (2) 性別： 男性 0名 / 女性 2名
- (3) 年齢： 平均年齢19歳
- (4) 障がい種別： 知的障がい2名

2 通所方法

- (1) 徒歩及び自転車等 2名
- (2) 公共交通機関（バス・電車） 0名
- (3) 家族による送迎 0名

3 日課について

時間	内容
9:00 ~ 9:15	朝礼・ラジオ体操
9:15 ~ 10:30	作業
10:30 ~ 10:40	午前休憩
10:40 ~ 12:00	作業
12:00 ~ 13:00	昼食休憩
13:00 ~ 14:30	作業
14:30 ~ 14:50	午後休憩
14:50 ~ 15:45	作業
15:45 ~ 15:55	掃除
15:55 ~ 16:00	着替え・帰りの会

月曜日から金曜日を開所とし、土・日曜日は休みとする。土・日曜日に行事等がある場合は開所とする。

4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均 89.2%
90.9%	85.5%	95.4%	82.6%	86.9%	92.5%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
95.6%	93.1%	84.0%	84.0%	90.0%	90.9%	

5 個別支援計画について

就労訓練においてはどのような作業をしていきたいか、どのような活動をしたいかなど面談を踏まえ、目標設定をしている。目標についてはまとめをして評価し、その後の方向性を決めていくようにする。利用者、ご家族の意向と希望をお聞きし、また、こちらからも提案をするなかで日々の生活が充実していかれるように支援を行う。

6 就労活動について

平均工賃

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	12,933円	10月	17,600円
5月	13,467円	11月	16,400円
6月	16,800円	12月	22,200円
7月	17,600円	1月	14,800円
8月	15,400円	2月	14,400円
9月	13,200円	3月	18,400円
平均工賃額 16,100円			

【 クリーニング 】

《 作業内容 》

- ・日帰り温泉施設、ホテル、美容室のタオル・スリッパ等の水洗いクリーニングを行う

客先数：14件

タオルの種類：BT・FT・BM・サウナマット

- ・高齢者施設利用者の私物品ネットクリーニング、病院白衣の水洗いクリーニングを行う

客先数：14件

《 全体として 》

- ・品物については大きな変更はなく、前年同様に品物を扱うことができた。
- ・タオル類の仕上げでは、ルート担当者と相談をしながら進め、大きなクレーム等もなく、納品することができた。
- ・高齢者施設私物品について、記名と名簿人数のダブルチェックを行っているが、記名間違いによるミスが数回あり、今後も数人でのダブルチェックを行う。

《 就労訓練 》

- ・ひとり一人に合った作業部署を見直しながら作業していただいている。
- ・利用者間での人間関係もあり、配慮しながら進めている。
- ・できること、苦手なことがあるので、できることをめいっぱいしていただけるように、細かな配慮をさせていただき、就労訓練できるようにしている。
- ・新規利用の方では、白色タオルの汚れを確認することが難しい方も多く、タオルたたみの部署において、白色タオルを仕上げる方に作業量の偏りができてきていることが懸念される。

【 施設外就労 】

『 長野リネンサプライ（株） 』

《 作業内容 》

- ・電車車両の座席カバー一部の仕上げ補助
- ・月～金曜日の午前：所員3名、職員1名

《 全体として 》

- ・単調作業の繰り返しなので、分かりやすい作業内容である。
- ・一般就労を目指す方の第一歩として活動できるようにする。

【 一般ドライクリーニング 】

《 作業内容 》

一般のお客様のドライクリーニングの受付、または配達

《 全体として 》

- ・ドライクリーニングから布団クリーニングまで、いわゆる一般の方のクリーニング店として営業し、受付を行っている。
- ・ご近所の方の利用と法人関係者の方の利用がメインである。
- ・優先調達法の関係で、長野県庁や各市町村、関係機関からの依頼があり、回収配達し納品をさせて頂いている。

7 QOL 活動について

活動日・活動内容・参加者数

月	日	曜日	内容	参加
4	22	日	アトリエ CoCo お花見会	18名
6	17	日	サンアップル・スポーツ大会	7名
7	1	日	サンアップル・アートフェスティバル	5名
	21	土	第44回ながのアピリンピック	2名
8	3	金	アトリエ CoCo 夏祭り	12名
9	6・7	木金	家族旅行（レゴランド）	14名
	13.14	木金	家族旅行（三鷹の森ジブリ）	7名
10	14	日	アトリエ CoCo 創業祭・収穫祭	6名
3	10	日	HocRec ボーリング大会（長野市ラウンドワン）	4名

・上記のとおり、企画・行事等に参加。

8 カルチャー

活動日・活動内容

月	日	曜日	内容
4	11	水	お花見
8	1	水	涼む会（スイカ割り大会）
12	19	水	クリスマス会
12	28	金	仕事納めの会
1	4	金	仕事始めの会
1	11	金	鏡開き
2	18	月	長野県セルフセンター協議会「ナイスハートバザール」見学
	19	火	

・上記のとおり実施。

9 保健衛生について

《 健康相談 》

実施日：毎月第1火曜日、第3水曜日の13時より

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	10	8	12	10	7	11	9	13	11	8	12	12
	25	23	27	25	22	26	24	28	26	23	27	27

看護師：富田看護師

内 容：体重・血圧測定、日頃の健康や生活の相談

- ・体重、血圧測定からの問診、記録し経過観察を行う
- ・富田看護師より聞き取り、記録経過を見ながら健康について相談を行う
- ・全体的に体重増加が目立つ、指導をしているがなかなか変化が見られない。
- ・血圧の高い人が増えている。寒さ等による変化は関係ない。また、比較的年齢の若い利用者さんにおいても血圧が高くなってきている。
- ・缶ジュースを飲む方も多く、ジュースの砂糖の量が心配である。
- ・KRさん、TSさん、KRさんにおいては、特に心配な面がある。体重の変化、生活面や精神面、食事環境等を含めて注意見守りが必要である。

《 健康診断 》

平成30年 6月28日(木)日本労働福祉協会による健康診断

7月 5日(木) "

平成30年 8月21日(火)嘱託医立岩先生による健康診断問診

8月27日(月) "

《 保健総括 》

平成31年 3月12日(火)・アトリエ CoCo 食堂

- ・嘱託医立岩先生、アトリエ CoCo・キッチン CoCo と共同にて行った。

《 感染症対策・インフルエンザ対策 》

・今年度は、利用者の皆さんへ希望を伺い、6名程の利用者さんがアトリエでの予防接種を受けた。職員については、これまで同様に予防接種を受けた。数名の方が、インフルエンザに罹ったが、大きく広がることなく収束することができた。

利用者の方は、これまで個々での予防接種を受けていなかった利用者さんも予防接種の希望をされた様子もあり、今後も予防接種の機会があるとよいかという印象を受けた。

・ノロウイルスや風邪の予防については、流行期での予防啓発については、手洗いうがい、マスク着用の励行、公共機関からのポスターチラシを洗面所や食堂などに貼付し、意識付けできるようにした。

また、日常的に朝礼等では、体調管理や健康管理の声掛け、手洗いうがいの励行、元気に過ごせているかどうかと声を掛けさせてもらいながら、事業所全体で皆が元気に過ごせるように士気を高められるように話しをしている。

《 家庭との連携 》

・健康診断の結果について、各家庭に持参していただき、また、グループホーム利用の方には支援者の方へ報告する旨を伝えるなどして、情報共有を図るようにしている。

・結果を確認し、かかりつけ医のある利用者さんへは、この診断結果を持参して確認してもらうようにとご家族へ連絡をした。

《 熱中症予防について 》

- ・気温や天気を確認しながら熱中症予防飴や塩飴の配布、冷蔵庫で冷やしたタオルを午前、午後と数回ずつ配布、また水分補給はこまめに行うようにした。

《 常備薬について 》

- ・常備薬については、急な体調不良への対応（腹痛、胃腸薬、風邪薬）個人で服薬をしている利用者へは、その薬と常備薬とを確認し、場合によっては常備薬の服薬を避けていただいている。

10 給食の提供

- ・希望者に給食を提供（キッチン CoCo より配達）
- ・各種、季節のカルチャーに合わせたメニューの提供。
- ・家庭での食事において栄養バランスの偏りのある利用者もあり、様々な食材を使用している給食を食べることで3食のうち1食でも栄養管理のされた食事を摂ることができるよう配慮している。

11 防災訓練・安全について

- ・消防計画、自衛消防団の編成、職員緊急連絡網の作成（変更作成）
- ・JAV & Bakery 緊急避難場所：信州大学工学部グラウンド
- ・地震や災害について朝礼で話をするときには、通所時に緊急避難する場所についての確認を行い「家に帰ったら、家族へも緊急避難先がどこなのか話をするように」と、その都度、話をしている。

防災訓練

第1回：実施日：平成29年11月 8日

内 容：長野市消防局来所し、避難訓練、通報訓練、消火器訓練を行う

第2回：実施日：平成30年 3月 1日

内 容：防災について、避難経路の確認

- ・防災グッズ、救急セット、防災ヘルメットを用意し、訓練の際に使用した。

消防設備点検

- ・毎月実施
- ・総合点検：年2回、平成29年4月18日・平成30年2月21日実施、三益消防機材(株)へ依頼

AEDの設置

- ・緊急時の対応として設置をしている。
- ・AED取扱いを玄関へも表示し、近隣地域への協力体制も取れるようにしている。（犀川河川敷でのスポーツ活動もあり、緊急時の利用も考えられる）

防犯カメラの設置

- ・危機管理の面から、防犯カメラの設置を行い、駐車場入り口やその周辺から建物裏側までを覆う形で設置とした。
- ・利用者さんや職員の安心安全を守ることはもちろんのこと、ご近所の方にとっての安心へもつながっている。

12 地域との協働について

- ・長野市障害ふくしネット（かつどう部会執行部・ふくしネットフェスタ執行部）
- ・見学、実習について：JAV、Bakery ともに見学・体験実習の希望をいただき、受入れを行っている。
- ・養護学校実習：実習生の受け入れでは、複数名の実習生がいるときには一定期間に集中しないよう各学校へ依頼しており配慮を頂いている。
- ・若里日赤通り商工会：参加できる範囲において手伝わせていただいている。
- ・地域の諸団体等と連携を行い、様々な地域ネットワーク等に積極的に参加。
- ・BakeryCoCo のパンの販売をお祭りやイベントにて行った。

13 職員研修について

- ・朝の職員ミーティング時において職員間の情報の周知、職員会議による学び
- ・職員会議での資料として、福祉情報や実践報告などの資料の読み合わせをした。

月	日	曜日	内容	氏名
6	17	土	長野県セルフ福祉就労強化事業「工賃向上計画セミナー」	小林
9	28	木	第1回長野市障害者虐待防止・権利擁護研修	小川
7	11	火	長野県セルフ「食品表示、人材育成セミナー」	滝澤
	12	水	長野県セルフ「HACCP セミナー」	滝澤
	12.13	水木	長野県知障協北信支部県外研修	武田
	19	水	長野県知障協「施設長研修」	小林
11	10	金	地域で暮らそうフォーラム	小林
12	14	木	第2回長野市障害者虐待防止・権利擁護研修	高波
1	25	金		高波
	28	月		高波
2	6	木	関東社会就労センター協議会第2回研修会	小林
	19	月	長野市第3回障害者虐待防止・権利擁護研修	小林
3	6	火	長野県知障協「自閉症パワーアップセミナー」	高波

14 家族会について

- ・アトリエ CoCo・キッチン CoCo と共に「CoCo 家族会なごの」として組織、事務局をアトリエ CoCo におく。
- ・総 会：平成29年 6月 3日（土）アトリエ CoCo 食堂
- ・家族のつどい：平成31年 2月24日（日）長野市犀北館
- ・役員会：年2回

15 職員体制について

所長 1名 サービス管理責任者 1名 就労支援員 1名 職業指導員 1名
 生活支援員 1名 看護師（嘱託） 1名 医師（嘱託） 1名

就労継続 B 型支援事業

1 利用者の内訳（平成31年3月末）

- (1) 出身市町村： 長野市 31名 / 坂城町 1名
- (2) 性別： 男性18名 / 女性14名
- (3) 年齢： 平均年齢38歳
- (4) 障がい種別： 知的障がい20名 精神障がい11名 身体障がい1名

2 通所方法（重複あり）

- (1) 徒歩及び自転車（自動車） 11名
- (2) 公共交通機関（バス・電車） 13名
- (3) 家族の送迎 8名

3 日課について

時間	内容
9:00 ~ 9:15	朝礼・ラジオ体操
9:15 ~ 10:30	作業
10:30 ~ 10:40	午前休憩
10:40 ~ 12:00	作業
12:00 ~ 13:00	昼食休憩
13:00 ~ 14:30	作業
14:30 ~ 14:50	午後休憩
14:50 ~ 15:45	作業
15:45 ~ 15:55	掃除
15:55 ~ 16:00	着替え・帰りの会

CoCoJAVJAV：月曜日から金曜日を開所とし、土・日曜日は休みとする。土・日曜日に行事等がある場合は開所とする。祝日は自由通所日。

BakeryCoCo：火曜日から土曜日を開所とし、日・月曜日は休みとする。日・月曜日に行事等がある場合は開所とする。祝日は自由通所日。

4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均 60.9%
65.9%	64.4%	64.9%	61.4%	57.2%	64.0%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
60.4%	64.0%	57.9%	53.5%	59.3%	58.0%	

5 個別支援計画

就労移行支援事業と同様

6 就労活動について

平均工賃

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	14,766円	10月	14,920円
5月	15,656円	11月	15,127円
6月	15,856円	12月	22,279円
7月	19,170円	1月	13,670円
8月	14,412円	2月	14,571円
9月	12,023円	3月	18,214円
平均工賃額 15,888円			

【 クリーニング 】

就労移行支援事業と同様

【 パンの製造・販売 】

《 作業内容 》

- ・パン製造における補助作業、仕込み、焼菓子作りなどを行っている。
- ・パンは、常時30種類ほど用意し、主役でもあるラウンドパンは毎日4種類、新作パンについては季節ごと定期的に販売している。
- ・焼菓子は、食パンやラウンドパンを使用したラスク、クッキーなどを販売している。大量生産が難しいため、ギフト等の依頼のあった際には、すぐに対応ができないこともあり、今後の検討事項である。
- ・ギフトのバリエーションアップを図ってきた、今後も継続する。
- ・外販においては、毎日各所へ出向いての販売か、注文販売（廣望会において）である。効率よい外販先の確保が検討事項である。

就労訓練

- ・利用者作業として、パンの袋詰や焼き菓子作りなどを主としながら、作業工程の中からその方に合わせた仕事をピックアップしている。パンの形成や焼きなどは早朝より焼き上げるという工程ということもあり、利用者さんに担当できる部分は少ないため、今後も分業しながら利用者さんが携われる作業を増やしていきたい。
- ・作業自体が同じ行程を繰り返すものではないため、その都度作業内容が変わる。臨機応変に対応できる力も必要となり、ハードルの高い場合もあるが、できる限り利用者さんに合わせた作業内容を見直しながら対応している。

衛生面

- ・利用者、職員の健康管理では、営業にも関わることで定められた検便よりも多く検査を行い、毎朝の健康チェックから始まりインフルエンザやノロウイルス、食中毒等の予防に努めている。
- ・調理室、店舗内の衛生管理として、毎日の清掃を丁寧に行う。冷蔵庫や棚の消毒液による拭き掃除、床の雑巾掛け等、毎日の清掃が基本となり衛生管理が行き届いている。
- ・営業として「仕出し・弁当」、「食品製造業」の営業許可を取得しており、それに伴うリスクが

ら守るために公益社団法人日本食品衛生協会の保険制度に加入している。

全体として

・コンセプトの見直しを図ってきたが、日々の業務に追われ、追いついていない面があり目に見える形では変化を出せなかった。継続して、新商品の開発に努める。

・外部注文では、長野日赤 HP、保育連盟等、毎年サンドウィッチの大口注文を頂いており、今年度においても注文を頂いている。

7 QOL 活動について

就労移行支援事業と同様

8 カルチャー

就労移行支援事業と同様

9 保健衛生について

就労移行支援事業と同様

10 給食の提供

就労移行支援事業と同様

11 防災訓練・安全について

就労移行支援事業と同様

12 地域との協働について

就労移行支援事業と同様

13 職員研修について

就労移行支援事業と同様

14 家族会について

就労移行支援事業と同様

15 職員体制について

所長 1 名 サービス管理責任者 1 名 職業指導員 3 名 生活支援員 2 名
目標工賃達成指導員 1 名 看護師（嘱託）1 名 医師（嘱託）1 名

平成30年度 地域活動支援センター事業 型（「BakeryCoCo」併設型）

Café CoCo

1 登録利用者数

登録者数：115名（平成31年3月末）

2 開所状況

開所時間：9：30～18：00

開所日数：年間延べ 250日

火曜日から土曜日を開所とし、日・月曜日・祝日を休みとする。日・月曜日・祝日に行事等がある場合は開所とする。

3 生産活動について

【カフェでの調理及び接客サービス作業】

《 作業内容 》

- ・カフェでの接客作業、環境整備、清掃等
- ・レジの補助 ・作業体験 ・社会体験

4 QOL活動、行事イベントについて

サンドイッチ教室

月1回実施。季節や行事に合わせたサンドイッチを作る。恒例となり皆が楽しみにしている。季節や食品の栄養効果、豆まきなどの行事のいわれ等を学ぶ場ともなっている。

CoCo 運動部

冬季の陽が短い期間を除き、月1回ホワイトリンクにて運動の機会を作る。毎回5～10名程度の参加がある。(療育手帳等の提示にて無料利用可)

CoCo 健康部

月1回程度実施、7～8名程度参加。毎回、自律神経によいといわれる塗り絵とストレッチの時間を設けている。健康に関して関心を持って参加でき、野菜の料理を作りましたと報告もある。塗り絵を自宅でも始めた方、ゆっくり食べるようにした方、健康目標を立てている方もいる。また、クイズ方式、参加型で考え楽しみ進めることができている。

第1回「健康とは 寿命について 長野県民の健康 まごはやさしいについて」 第2回「働くこと 笑顔について」 第3回「糖尿病 良く噛むこと」 第4回「糖尿病 ねばねばメニュー」 第5回「これまでの復習 筋肉について 歩行の練習」 第6回「ストレス」 第7回「新年の健康目標」 第8回「言葉ってむずかしい」 第9回「長寿と短命」

季節を感じるイベント(開催イベントの一部)

4月：お花見会(須坂市、長野市)・映画鑑賞

5月：善光寺花回廊・中野市土雛絵付け体験

6月：須坂市五月人形・坂城町バラまつり

7月：長野市プラネタリウム・善光寺祇園まつり・ケルト音楽演奏会

8月：善光寺門前ぶらり ・白い動物園

9月：長野市少年科学センター・善光寺門前ぶらり

10月：ふれあいフェスタ(希来里)・ふくしネットフェスタ

11月：善光寺門前ぶらり

12月：ザワメキアート展・望年会

1月：善光寺門前ぶらり

2月：スケート観戦

3月：善光寺門前ぶらり

そこでしか味わえない物事のふれあいは、要所で組込むと、皆がいつもより楽しみにしてもらえるので定期的に組んでいきたい。集合時間場所、多数での移動について確認を徹底すること、買い物での金銭管理など、一層の見守りが必要である。

善光寺門前ぶらりでは、七夕まつり、善行寺と甘味処、えびす講、リノベーションについてシリーズで行った。熟知した案内人の方に案内をしてもらい、自分たちだけでは知り得ない情報、知識、味を堪能できる。シリーズ化し継続的に同じ地域を訪れることで参加者が行きやすく、遊

びやすく、親しみやすい地域と捉えることができる。四季の変化を楽しめる。おなじみの店をつくり、親睦を深めることができ、双方が地域理解の場となる。地域の方々の協力、理解を経て、地域理解を進めることができる。案内の方の明るさ、牽引力もあり、親しんでいる。質問する方もいたり「今度は一人で行けるかな」と話す方もいる。

食事会等

月1回の外食ランチまたは外食ディナーでは、徒歩圏内の飲食店で開催。事業所周辺のおなじみの店になっている。利用者さんがおなじみの店で勝手に分かっている利点といつも同じ店になってしまうという課題はあるが今後も継続していきたい。利用者さんが食べ方や注文の仕方を教える側と教えてもらえる側の役割ができていて微笑ましい場面がある。同じ店を利用するので店員の対応もスムーズになっている。

女子会

定期的に女性だけを集めて健康情報を中心にテーマを決めて開催、毎回4～5名参加。利用者さん1名は一緒に病院の予約をとり乳がん子宮がん検診に行くことができた。

第1回「生理について」 第2回「乳がん 子宮がん」 第3回「タオル体操 骨粗鬆症 クリスマスツリー作り」 第4回「冬の肌の手当て」 第5回「いろの勉強 おまもり作り」

手作り教室

2～3か月に1回程度実施、5～10人の参加あり。後期においては講師の先生をお呼びし実施。同じ先生という安心感がえられたら良い。

5 相談支援について

今年度よりなんでも相談日（毎週木曜日午後）を設ける。木曜日以外の相談が多い。

相談内容

職場の人間関係 家族との関係 受診報告 就職活動について 友人との関係 健康面と体調について 食事・睡眠・運動について 減量について

運動する場を見つけたいという方のため一緒に教室に見学に行くこともあった（サンライフ長野）。「仕事を辞めたい」、「もうどうでもいいんです」と自殺めいた深刻な相談の場合もある。マイサポ長野の相談員と連携しているケースもある。

今年度、法人内に開設された長野市委託相談事業の相談員と連携し、相談につながるケースもある。

クリニックの帰りに寄っていく方もおり、クリニックに地活通信が置けたら良い。

同じ悩みを持つ方たちとピアカウンセリング企画を検討中である。

メンタルヘルス研修会講師を行った。

6 保健衛生について

食品を扱うため、身だしなみや衛生管理の指導、手洗いうがいの励行、感染症予防として情報提供、食品手袋の使用、アルコール除菌等の衛生管理を行っている。

インフルエンザや感染症などの対応について、認識ができるように支援を行っている。

情報の共有として、チラシやポスターでの共有を行っている。

7 家族との協働

ご家族の様々な想いに寄り添い、利用者さん自身をサポートできるように協力し合いながら支

援を行っている。

ご家族自身が理解することの難しい場面もあり、ご家族へのサポートも必要である。

8 地域との協働

近隣の福祉事業所からの依頼があり、イベントへの協力をさせていただいている。

見学や体験など随時行い、介護関係の研修の一環として協力することができた。

パンフレットやチラシの掲示や配布をし、地域の方への情報提供を行う。

若里地区の活動や商工会等へ積極的に参加、協力をさせていただいた。

9 職員研修について

障がい者の権利擁護、虐待防止に関する研修の受講をした。

長野市障害ふくしネットや外部で開催される研修へ参加した。

相談支援事業の研修に参加、法人内・事業所内での研修へ参加した。

10 その他

危機管理の面から、防犯カメラの設置しており、利用者さんや職員の安心安全を守ることはもちろんのこと、ご近所の方にとっての安心へもつながっている。

11 職員体制について

管理者 1 名 支援員 1 名 看護師（嘱託） 1 名 医師（嘱託） 1 名

指定相談支援事業

1 実施事業

相談支援事業については、法人内においての各相談支援事業所の相談支援専門員と調整を図りながら担当している。法人内別事業所のケースと他法人のケースを担当していたが、地域生活支援センターCoCo ながのと調整を図り、法人内ケースのほとんどはそちらへ移行していただくようになった。

他法人のケースでは、法人内から移行されたケースや、そのケース内容により継続した支援が必要であることを確認しており、継続支援となっている。ご家族、事業所からの聞き取り、必要に応じて家庭訪問をさせていただき、状況把握に努めている。ご本人の意思はもちろんのこと、関係する方々との間を調整する役割が相談支援員にはあり、今後もそのように努めていけるようにする。

2 実績（計画相談作成）

		サービス等利用計画作成数	モニタリング報告数
平成30年	4月	0件	0件
	5月	0件	1件
	6月	0件	2件
	7月	1件	0件
	8月	0件	3件
	9月	0件	0件

	10月	0件	0件
	11月	1件	0件
	12月	2件	0件
平成31年	1月	0件	1件
	2月	1件	0件
	3月	0件	0件
	計	5件	7件

第2種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業
多機能型障がい福祉サービス事業所

スタジオCoCo

スタジオ CoCo は平成27年4月に開所させて頂き、4年が経過いたしました。千曲河畔の恵まれた自然の中で、利用者・職員が一緒になって明るく、元気に歩んでいます。利用者も徐々に増え32名になりました。様々な利用者がある中で、一人ひとりにあった支援ができる作業場・居場所を考え、安心して働ける環境作りが大切だと思っております。個々の能力を高め、自立に向かえるよう支援を行ってきました。

平成30年度はリネンサプライ事業においては春以降、新規の仕事が加わり売上収入が前年度比で+10.6%増となりました。福祉サービス事業では在籍利用者数の増加で+27.5%の収入増となりました。平成30年度の総収入は3億9222万円となり29年度より4252万円(+12.1%)ほど増加となりました。

支出面では最低賃金・燃料費の上昇が経費を押し上げ、新規の仕事を入れたことにより材料費・外注加工費も増加しました。人員配置の見直し、設備の入れ替え・調整等を行うことにより生産効率を上げるよう取り組んできました。

5年目のスタジオ CoCo は、利用者数の定員(40名)確保、労災・交通事故ゼロ・更なる生産性向上を目標に進んでゆきたいと思っております。

収入・費用の年度間比較

	事業活動収入計	就労支援事業収入	福祉サービス事業収入	サービス活動費用計
27年度	271,552	247,362	22,517	425,095
28年度	343,897	298,636	34,406	339,220
増減率	+26.6%	+20.7%	+52.8%	-20.2%
29年度	349,699	303,973	38,355	341,394
増減率	+1.7%	+1.8%	+11.1%	+0.6%
30年度	392,225	336,107	48,996	373,182
増減率	+12.1%	+10.6%	+27.7%	+9.3%

単位 : 千円

増減率は前年度比

事業の開始

平成27年4月1日 開所

平成27年6月1日 リネンサプライ・工場の本格稼働開始

利用者の推移

就労継続支援A型事業

定員14名

年月日	移動状況等	在籍者数
平成30年 4月 1日	クリーニング工房 CoCo より1名異動	14名
10月15日	自己都合により1名退所	13名

12月24日	一般企業へ就職のため1名退所	12名
平成31年3月31日		12名

就労継続支援B型事業

定員 10名

年月日	移動状況等	在籍者数
平成30年4月1日	他事業所移行支援より1名入所	5名
6月18日	1名入所	6名
11月19日	1名入所	7名
平成31年3月31日		7名

就労移行支援事業

定員 10名

年月日	移動状況等	在籍者数
平成30年4月1日	1名入所	3名
平成31年3月31日		3名

生活介護事業

定員 6名

年月日	移動状況等	在籍者数
平成30年4月1日		5名
9月6日	1名入所	6名
平成31年3月31日		6名

就労継続支援A型事業

1 利用者の内訳

出身市町別 長野市1名 千曲市7名 上田市2名 坂城町2名
 性別 男性9名 女性3名
 平均年齢 26歳(20~37歳/ 20代...9名 30代...2名)
 障がい種別 知的障がい 療育手帳 A1...1名 B1...3名 B2...6名
 精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 1級...1名 3級...1名

2 通勤方法

- (1) 送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 7名
 (うち1名はCoCoホーム千曲より通勤)
- (2) 徒歩及び自転車 2名(うち1名はCoCoホーム三本木より通勤)
- (3) 自家用車(本人運転による) 2名
- (4) 50CCバイク 1名

* 戸倉駅から事業所間の送迎は開所時から8人乗り乗用車2台で実施していた。

「2018年度 日本郵便 年賀寄附金配分事業」により送迎・外出時用マイクロバスを整備。平成30年11月12日からマイクロバスを利用している。

3 勤務体制

始業時刻 8:40 終業時刻 17:10

休 憩 昼休み（50分） 15時休み（20分）

実労働時間 7時間20分

年間休日 90日

- ・繁忙期及び納期の変更等のため、1年単位の変形労働時間制で運営をしている。原則として木曜日・日曜日は休みとした。希望者は残業も行っている。
- ・「就労継続支援A型労働者 就業規則」に準じた運営を行っている。

4 通所状況

通所率

H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
98.0%	90.1%	91.9%	97.0%	84.9%	90.6%

H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	平均
94.9%	97.4%	98.0%	96.2%	95.4%	100%	94.5%

通所率は昨年度より1.1%の減少となった。療養中の方が算定に含まれている。他は安定した通所状況となっておりそこだけを見ると1.2%の増加となった。

5 利用者の給与

給与は、労働実態に合わせ労働基準監督署の承認を得て決定している。最低賃金を確保できるよう努力しているが、最低賃金の減額特例を受けている方は、10名いる。通勤費は全額支給、有給休暇付与、社会保険・労働保険全員加入。

年収の状況

0円～800,000円	1名（退職者1名）
800,000円～1,000,000円	4名
1,000,001円～1,300,000円	2名（退職者1名）
1,300,001円～1,400,000円	4名
1,400,001円～1,500,000円	1名
1,500,001円～1,600,000円	2名

平均年収 1,294,983円

月額平均 107,915円

計14名

障害基礎年金受給	2級	9名	年間779,300円
	1級	1名	年間974,125円

6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労継続支援A型計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

7 利用者の作業内容

洗い場	2名	多種ローラー	5名	シーツローラー	3名
浴衣ローラー	1名	タオルたたみ	1名		

A型利用者は洗い場、ローラーでの作業を主としている。中には体力等に応じ軽作業のタオルたたみを担う方もいる。

8 生産活動

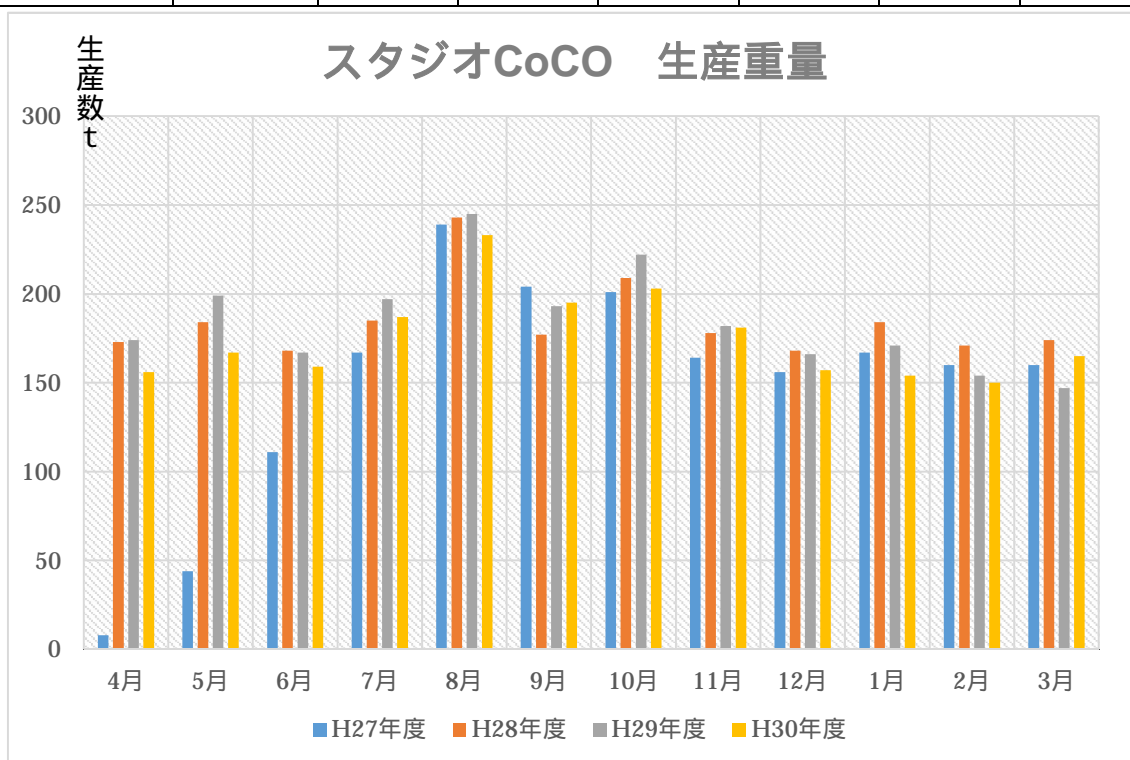
取り扱い業務 ホテル・旅館寝具等のクリーニング
 シーツ 掛けカバー 枕カバー クロス類 ナプキン類
 浴衣 ガウン タオル類 一般クリーニングの取次ぎ
 布団リース

生産状況

平成 30 年度は軽井沢にできたホテル（4 件）を受注したため、長野リネンサプライ(株)と生産調整を行い、軽井沢 4 件はスタジオCoCoで生産し、斑尾・上越方面は7月以降長野リネンサプライ(株)に生産を委託した。小物類の割合が増えたため、生産重量は昨年度を下回ったが売上げは 10.6%の増加となった。費用の面では、最低賃金・燃料費が上昇したため、人員配置の見直し等により効率化を進めた。

増減は前年度比（単位：千円）

年 度	27 年度	28 年度	増減率	29 年度	増減率	30 年度	増減率
就労支援事業収入	247,362	268,636	+20.7%	303,973	+1.8%	336,107	+10.6%



○月別生産重量

(単位：t)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27 年度	8	44	111	167	239	204	201	164	156	167	160	160	1,781
H28 年度	173	184	168	185	243	177	209	178	168	184	171	174	2,214

H29年度	174	199	167	197	245	193	222	182	166	171	154	147	2,217
H30年度	156	167	159	187	233	195	203	181	157	154	150	165	2,107

9 配送業務

- ・配送担当職員：4名
スタジオ CoCo で仕上げをしているリネン品の納品回収を主な業務としている。
- ・事業所所有車：7台
4tトラック2台 2tトラック2台 ハイエース3台
- ・担当エリア
長野市内2名 上田市内1名 千曲・篠ノ井方面1名 斑尾・上越方面1名

10 健康管理

(1) 日々の配慮

- ・朝会時の健康観察と声掛け
- ・作業時の巡回指導と担当職員からの直接指導
- ・特定指導・相談
- ・インフルエンザ等感染症予防のための「手洗い・うがい・消毒・マスクの着用」励行、声掛けの常時実施
- ・熱中症、脱水症状の注意喚起と水分・塩分補給等の声掛け（夏場は保冷剤の支給、定時の水分・塩飴等の補給を実施）

(2) 健康相談

日 時：月1回 基本的に第2火曜日 13:00～15:00

場 所：医務室

内 容：体重測定・血圧測定・面談による健康相談

状 況

日	人数	日	人数
4月24日(火)	9名	10月9日(火)	11名
5月8日(火)	10名	11月26日(月)	9名
6月12日(火)	10名	12月27日(月)	8名(+職員1名)
7月10日(火)	11名	1月15日(火)	11名
8月21日(火)	10名(+職員1名)	2月12日(火)	25名 利用者全員測定
9月21日(火)	11名		

まとめ

- ・日常的な相談が多い。ご自分のことはもとより、ご家族の病気や変化によりご自身が悩んだり不調となる場合もあり、そのようなことも聞いていただき対処方法や安心感を得ていたように感じる。
- ・生活介護サービスには看護師を配置するといった要件がある。そのような観点や不調を感じにくい、ご自分から言葉を発することが困難、あるいは表現が苦手といった方も多いため、毎回生活介護サービス利用者全員を健康相談の対象とし、副院長には生活介護棟を訪

問していただき、その場にて状況の把握をしていただいた。慣れた場所での対応となり落ちついて行えた。

- ・2名の利用者は一般就労を目指して企業等で実習や資格取得をされていた。その間事業へは通所しないが前後で健康相談を行い、環境の変化なども意識しながら本人の体調をうかがうなどして相談を行った。
- ・かかりつけ医を定期受診されている方には受診の様子をうかがい必要に応じて作業上や生活の注意点等のアドバイスを行った。腰痛や足の痛み、むくみの相談あり。通院、服薬をしている利用者の必要な情報等を副院長にお伝えし把握をしていただいている。
- ・みなさんが、作業とは異なり落ち着いた雰囲気の中で安心をして自分の思いや、身体状況を相談することができている。事業所としても対応方法等助言をいただき大変に助かっている。

(3) 健康診断

全日本労働福祉協会による健康診断 52名(利用者29名/職員23名)

日時:平成30年10月2日(火)14:45~16:30

実施機関:(財)全日本労働福祉協会

実施内容:身長・体重測定・血圧測定・尿検査・視力検査・聴力検査・血液検査・胸部レントゲン、心電図・医師による問診

まとめ

- ・院長、副院長に診断結果を確認いただき、健康相談につなげていただいた。合わせて、就業制限の部分について重労働可否についてご教示をいただいたため対象者に対して対応させていただいた。特に症状の気にかかる職員に対しては面談等において通院を勧めるとともに働き方についての相談を行った。
- ・結果に「要精検」と出た方には、通知を出し医療機関への通院をすすめた。また、健康相談時にも状況把握、対応等助言をいただいた。

安里院長による健康診断 22名

日時:平成31年3月16日(土)14:00

実施者:安里 進 嘱託医師

実施内容:問診および聴診、体重、血圧、腹囲の測定

(4) 予防接種

インフルエンザ予防接種 39名

日時:平成30年11月17日(土)13:30

まとめ

- ・予防接種を行うことで、インフルエンザ、風邪に対する予防意識が高まった。当日接種できなかった方は、安里医院やかかりつけ医で接種をした。アレルギーで接種できない方もいる。今期、インフルエンザ感染者は2名である。いずれも重症化はしていない。
- ・事業所で予防接種を実施していただけるため、受けやすい。本人、職員もだご家族からもこのような声がある。昨年よりも接種者が5名程度増加している。

- ・毎年高齢者の予防接種についての事務手続きが変更、あるいは市町により対応が異なるが安里医院との情報共有によりスムーズに行えている。
- ・今年度は、インフルエンザをはじめ感染症に対して事業所としても、安全衛生委員会を中心に、保健・給食・清掃といった各係、そして個人でも対策を講じた。「手洗い・うがい・消毒・マスク」を基本に常に朝会にて予防を訴えた。トイレ、洗面所での石鹸による手洗いと消毒の徹底。正しいうがい方法の指導。通所時、朝会後のうがいの徹底。定期的あるいは定時の手すり・作業台・台車等のアルコール消毒。朝会でのマスクの着用。乾燥防止。掲示物による呼びかけ。家庭内での感染防止等、様々な対策を行った。

(5) 健康講話

日 時：平成31年3月16日(土) 13:30

講 師：安里 進 医師

内 容：「貧血について」

わかりやすく動画を使いながら貧血の特徴、症状、原因を教えていただいた。そして規則正しい生活をすることや水分・鉄分をとるための食材のアドバイスをいただいた。

(6) その他 利用者の状況

既往症等 ・糖尿病1名・食物アレルギー2名・メニエール氏病1名・てんかん4名
通所状況等

- ・通所率は良い。繁忙期等メニエールの方は定期的に休みをいれることで突発的な休みがない。
- ・生活介護は9:00~15:00/16:00。他の事業は8:40~17:10が開所時間。とはいえ、体力、精神面を考慮し16:00終了、あるいは週に1日午前中のみ。3日間午前中のみと他デイケア利用。等個々の状況に応じる方もいる。
- ・B型事業利用者の中には、定刻の休憩以外にご自身の精神面と体力面を考慮して支援者と相談のうえ独自に午前・午後と各20分程度静養される方がいる。
生活介護利用の方の中にも、作業後「疲れた」と訴え1時間近く静養を希望される方や、昼食後決まって静養をされる方がいる。都度、体調の確認を行うが、特に具合が悪いわけではなくご本人の決められた日課としての静養となっている。
- ・最近ではアスペルガー症候群やADHD、自閉症といった発達障害の方々、また精神障がい者のご利用や希望者も増えてきている。集団の中での作業や、立ち仕事が苦手な方もいる。個々の障がい特性、個性等に応じ個別の対応を必要とする場面が増えていると感じる。

熱中症対策

平成30年の猛暑に対し事業所として様々な熱中症対策を行った。水分補給については始業前と午前中・午後各1回ずつ現場にて定時の支給。1日2回保冷剤の支給。冷却用タオルの支給。A型利用者の繁忙期中の公休設定。等々を行った。

11 安全・衛生管理

スタジオ CoCo 安全衛生方針

当事業所は、従業員の安全を第一に考え運営をしていきます。また、従業員も安全衛生

意識を向上させるため朝礼・会議などで情報交換を行いOJTで危険箇所周知・不安全作業防止について確認をしていきます。労災事故が起こらないように安全衛生上の提案を積極的に行う風土をつくりあげていきます。

スタジオ CoCo 平成 30 年度安全衛生目標

労働災害 0

決まった作業手順を必ず守る。

相互の安全確保のため、大きな声での掛け声と合図を徹底する。

(1) 安全衛生委員会の開催

月 1 回安全衛生委員会を開催している。労働災害に関する知識を深めるとともに、危険予知トレーニング【KYT】をしながら工場を巡回している。危険箇所があった場合にはその場で改善するか、改善案を出すようにしている。「不安全な行動」・「不安全な状態」をお互いにチェックしている。

日時	内容
平成 30 年 4 月 10 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・不安全行動について ・起動スイッチの確認 ・工場内各部署での停止ボタン、起動スイッチの作動、手順の確認を行う
6 月 5 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットに関して対策打ち合わせをした上で、工場内のパトロールを実施
7 月 17 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・A E D の操作方法確認および機器の点検・確認・バッテリー交換を実施
8 月 1 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全衛生作業標準」の確認 各部署ごと安全衛生マニュアルとして留意する。事業所内の利用者、職員だけでなく作業に関わる人全員に徹底する。 ・熱中症対策を行う
9 月 11 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の再確認 「かもしれない」に対する危険意識をもつ 異臭、におい、埃からの火災注意 ・非常停止ボタンの位置確認 ・常に危険予知を意識するよう徹底
10 月 16 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内危険箇所の確認 全ロール・通路・工具置き場 (部品と工具を分別しておく) ・洗い場・タオル 全体の不要な物品の片付け、整理整頓を実施。
11 月 6 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生宣言によりインフルエンザ予防の徹底について対策 ・部署ごとのヒヤリハットの見直し
12 月 4 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング業法についての勉強会 特に留意すべき点を現状の課題にあわせ管理者から説明を行う

平成 31 年 1 月 8 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング業法を基に工場内の見回りを実施 清掃、機械・器具の清潔・消毒・未洗濯物、既洗濯物仕上げ 洗濯物の区分、格納収納場所、容器等の区別 指定洗濯物の 区別・消毒 等 特に重要な点を確認
2 月 8 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内の危険予知見回り
3 月 12 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・水防について 随時河川氾濫の情報を得られるようにする。 避難困難者は休ませる等早目の対応をとる 事業所の外に出て工場周辺の地形を見る。 ・午後、全体の防災訓練を行う 指定緊急避難場所（避難所兼 ねる）である上山田小学校まで実際に歩く

(2) 安全管理

《事業所・工場》

- ・労働安全衛生手帳（日本リネンサプライ協会発行、全 49 ページ）の読み合せを平成 27 年 12 月 11 日以降毎日朝礼の中で行っている。気を付けなければならない事を説明し、注意を喚起し、安全意識の向上に努めている。
- ・停止スイッチの作動確認を現場作業員が毎朝行っている。（平成 27 年 12 月より）異常があった場合には工場長または洗い場主任に報告し安全確認を実施している。その他の異常（異音・異臭・蒸気漏れ・エア漏れ）も部署ごとで確認をしている。
- ・朝礼にてヒヤリハットの情報を発表してもらい、対策につなげている。
- ・毎月スタジオ CoCo における安全衛生の重点項目を決めて「今月の安全作業宣言」を掲示している。朝礼で趣旨を理解してもらい事故防止を呼び掛けている。
- ・毎日 12:00～12:10 の時間で部署ごとに清掃を行っている。当番でトイレ・玄関・廊下・食堂を清掃し、他の人は職場周りの清掃を行っている。
- ・玄関・トイレ・事務所・食堂・工場の出入り口ドア等の取っ手、ノブ、電気のスイッチ等をエタノール系消毒液で拭いて感染症の対策をしている。
平成 30 年度からは、工場内の洗濯後の清潔物を扱う台車、作業台等も消毒液を用いて拭いている。

《交通・車両》

- ・リネンサプライ配送用の全車両および、利用者の送迎車両にドライブレコーダーを取り付けた。ルートミーティングにおいて運転中の危険状況を検証している。

(3) 防災訓練

防災計画により平成 30 年度は防災訓練を 2 回実施した。

平成 30 年 9 月 11 日 (火) 消火・通報・避難誘導訓練

2 F 乾燥機からの出火を想定。いちばん火の元となりやすい場所ということで緊張感を持ち行った。速やかに避難を行うことができた。

平成 31 年 3 月 12 日 (火) 通報・避難誘導訓練・合わせて水防避難も行った。

- ・タオルからの出火を想定。火災非難時の人数確認に時間と手間を要した。その日に事業

所内にいる人が、実際、火災や災害のときにどの場所にいるのか。所属部署で計数するのか、その時いる場所の人として計数するのか「誰が(何人)その時間に現場に居たか」の確認方法を定める必要がある。

- ・河川の氾濫、水害に備え指定緊急避難場所（避難所兼ねる）である上山田小学校（千曲市大字新山）まで職員、利用者全員で徒歩にて避難訓練を行った。（片道 12 分程度）今回は場所の確認が主であったが、道路歩行中の注意事項、誘導の仕方、実際に経路とする道路や経路等については今後も検討する必要があると思われた。

12 委託給食

常時利用者 9名

昼食数 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 270 日

利用数 2, 298 食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見収集（都度確認）

利用者の食物アレルギーの調査

誕生日メニューの実施（利用者の希望メニューによる）

給食検討会の実施（キッチン CoCo・栄養士・調理師・所長・給食担当）

13 QOL 活動の実施状況

諸行事の実施及び参加

千曲・坂城自立支援協議会さんさんネットの行事実施及び参加

スタジオ CoCo での事業及び行事の実施

季節に応じた行事「クリスマス会」「鏡開き」「節分」等

家族会が行う家族レクに参加

月	日	曜日	内容	備考	利用者	他
4	2	月	入所式	法人（アトリエにて）	1名	1名
6	17	日	チーム対抗スポーツ大会	サンアップル	6名	4名
	29	金	ごちゃまぜパーティー	さんさんネット企画	4名	3名
7	1	日	アートフェスティバル 2017	サンアップル	6名	4名
	13	金	はぐるまの会	自立支援協議会 就労部会	1名	1名
	21	土	ながのアピリンピック	高齢障害求職者雇用支援機構	2名	1名
9	1	土	全体会	千曲坂城地域自立支援協議会	2名	2名
	9	日	障がい者スポーツ大会	長野県	6名	4名
	30	日	フードドライブ	ライオンズクラブ	6名	2名
10	6	土	稲養祭	稲荷山養護学校	5名	3名
	13	土	よつば祭り	上田養護学校	2名	1名
	14	日	アトリエ CoCo 収穫祭	アトリエ	7名	4名
	21	日	そば打ち体験と忍者村	家族会ちくま レク	8名	11名
12	18	火	クリスマス会	スタジオイベント係	全員	

1	11	水	鏡開き	スタジオイベント係	全員	
1	27	日	白鳥園へ行こう！	さんさんネット スタジオ企画	6名	4名
2	24	日	家族のつどい	家族会（犀北館）	3名	8名
3	7	日	日帰り旅行	こんにやくパーク・群馬サファリ・上里カンターレ	13名	12名
3	10	日	ボウリング大会	ホクレクアトリエ企画	7名	4名

* 7月に実施した第44回ながのアピリンピック クリーニング部門には2名の利用者が出場をした。うち1名が銅賞を獲得した。

14 CoCo 家族会ちくま

運営の補佐を行った。

総会 平成30年6月23日（土）クリーニング工房 CoCo 食堂
 総会出席者 会員8名 職員2名
 講演「様々な相談事例から、皆さんの悩みに寄り添います」
 講師 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター
 センター長 中村 美恵子 氏

家族レク 平成30年10月21日（日） 戸隠そば打ち体験と忍者村
 参加者 家族8名 利用者8名 職員3名

家族のつどい 平成31年2月24日（日） ホテル犀北館（長野市）
 参加者 家族6名 利用者3名 職員5名

役員会 年3回開催

15 地域への開放状況

千曲市及び周辺市町

- ・三本木地区のお祭りに寄付をし、協力した。
- ・地域の常会への寄付、清掃活動等へ参加をした。
- ・北信レクHoc-Rec'18「ボウリング大会」
- ・千曲・坂城地域自立支援協議会

全体会 事業所連絡部会 就労部会 さんさんネット部会 に参加

現場実習の受入れ

稲荷山養護学校（本校） 更科分教室、基幹相談支援センター等の関係支援機関から
 体験実習や1年生のグループ実習、就職をめざしての実習の受け入れ

施設研修のための見学受入れ（学校、PTA、民生児童委員協議会、県内外の施設、
 手をつなぐ育成会、企業等）

*平成30年度は入所希望もしくは入所を考えたい障がい者の方29名の見学あり。

*実習、見学に際しては隣接する地域生活支援センターCoCo千曲/CoCoホーム三本木の紹介もさせていただき希望に応じて見学を合わせて行っている。

16 職員研修について

- ・毎朝の打ち合わせ会、職員会議（全体で月1回）生産会議（月1回）支援会議（おおよそ週1回）を行い、ヒヤリハットをはじめ日常の気づきを共有し、より良い生産活動、事業運営

が行えるよう努めた。

- ・毎朝全員で「安全衛生手帳」の読み合わせを行い工場内における危機管理・安全管理と工場運営について学び、確認を行った。
- ・主任者会を行い、リネンサプライ及び機械設備の専門知識を学んだ。
- ・安全衛生委員会においてリネンサプライのみではなく、感染症、防災等多岐わたる話題や課題について学び合い、毎月の安全衛生宣言に反映させ事業所内で労働および活動をする全ての人に周知を行った。
- ・虐待権利擁護研修については法人の職員研修にて学ぶほか、外部の研修参加者による伝達研修を行った。
- ・クリーニング従事者講習、交通安全運転管理者講習、防火管理者講習に参加をした

主催・実施主体	内容	出席者
社会就労センター関係	平成 30 年度 全国社会就労センター総合研究大会	1 名
長野県知的障がい福祉協会関係	平成 30 年度自閉症支援セミナー（1 日受講・4 回）	1 名
	北信支部研修	1 名
	知障協施設長研修	1 名
	北信支部代表者会	1 名
長野県・県社会福祉協議会関係	長野県障がい虐待防止・権利擁護研修	1 名
	平成 30 年度高次脳機能障害研修会	1 名
	平成 30 年度強度行動障がい支援者養成研修基礎研修	2 名
	平成 30 年度強度行動障がい支援者養成研修実践研修	1 名
長野障害者職業センター	就業基礎研修（2 日間）	1 名
千曲・坂城自立支援協議会関係	全体会	2 名
	事業所連絡会	1 名
	就労部会	1 名
	さん・さんネット部会	1 名
長野県・県社協関係	長野県障がい虐待防止・権利擁護研修	1 名
長野労働局	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	2 名
その他	クリーニング師研修	1 名
	防火管理者講習	1 名
	安全運転管理者講習	1 名
法人関係	法人職員研修会・総会	14 名

17 職員体制について

所長 1 名 サービス管理責任者 1 名 工場長 1 名

職業指導員 2 名 生活支援員 1 名 賃金向上達成指導員 1 名

事務員 医師（嘱託） 看護師（非常勤）

支援員は一緒に作業を進め、一人ひとりにあった作業の見極めを行うことや、面談等利用者に寄り添い支援計画の作成をした。

就労移行支援

1 利用者の内訳

出身市町別 長野市 1名 千曲市 1名 上田市 1名
性別 男性 2名 女性 1名
平均年齢 31歳(19~54歳/ 10代...1名 20代...1名 50代...1名)
障がい種別 知的障がい 療育手帳 B1...1名 B2...2名

2 作業訓練内容

事業運営日数 273日(基本的には木・日の週休2日制 他開所日は希望通所)
日 課 8:40~17:10 昼休み 50分 3時休み 20分
(基本的には本人希望と体調・体力等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。)
作業訓練内容 タオルのたたみ作業 タオル・ガウンの袋詰め作業
洗い場仕分け補助
就職に向けて職場実習・求職活動を行う

状 況

- ・工場内で就職に向けて作業をした。
- ・1名はハローワークの紹介にて民間活用委託訓練事業を活用し「介護職員初任者研修」を受講し資格を取得。介護現場の就職を目指し就職活動を行っている。
- ・平成30年度は千曲市の方1名の就労アセスメントを実施。アセスメント後は他のB型事業所利用となった。

3 利用者の通所方法

- (1) 送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 2名
(うち1名は帰りのみ電車の時間に合わせ路線バスを利用)
- (2) 徒歩 1名(CoCoホーム三本木より通所)
* 戸倉駅から事業所間の送迎は開所時から8人乗り乗用車2台で実施していた。
「2018年度 日本郵便 年賀寄附金配分事業」により送迎・外出時用マイクロバスを整備。
平成30年11月12日からマイクロバスを利用している。
・事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている。

4 通所状況

通所率

H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
92.4%	95.5%	97.0%	98.5%	93.9%	90.9%

H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	平均
93.8%	95.2%	92.4%	93.9%	87.9%	90.9%	93.9%

5 利用者の工賃支給

年・月	平均工賃額	年・月	平均工賃額
H30.4	16,300円	H30.10	18,000円
H30.5	17,533円	H30.11	16,000円
H30.6	17,383円	H30.12	19,800円
H30.7	19,883円	H31.1	16,933円
H30.8	16,900円	H31.2	16,000円
H30.9	16,000円	H31.3	25,067円
月額平均		17,983円	

6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労移行支援計画」を立てる。また3ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

7 健康管理

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

8 安全衛生管理

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

9 委託給食

希望者には給食を提供（1食250円）

常時利用者 1名（平成31年3月31日現在）

昼食数 平成30年4月～平成31年3月 270日

合計198食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見収集（都度確認）

利用者の食物アレルギーの調査

誕生日メニューの実施（利用者の希望メニューによる）

給食検討会の実施（キッチン CoCo・栄養士・調理師・所長・給食担当）

10 QOL活動・カルチャーの実施状況

諸行事の実施及び参加

千曲・坂城自立支援協議会さんさんネットの行事実施及び参加

スタジオ CoCo での事業及び行事の実施

季節に応じた行事「クリスマス会」「鏡開き」「節分」等

家族会が行う家族レクに参加

月	日	曜日	内容	備考	利用者	他
4	2	月	入所式	法人（アトリエにて）	1名	1名
6	17	日	チーム対抗スポーツ大会	サンアップル	6名	4名
	29	金	ごちゃまぜパーティー	さんさんネット企画	4名	3名
7	1	日	アートフェスティバル2017	サンアップル	6名	4名

	13	金	はぐるまの会	自立支援協議会 就労部会	1名	1名
	21	土	ながのアビリンピック	高齢障害求職者雇用支援機構	2名	1名
9	1	土	全体会	千曲坂城地域自立支援協議会	2名	2名
	9	日	障がい者スポーツ大会	長野県	6名	4名
	30	日	フードドライブ	ライオンズクラブ	6名	2名
10	6	土	稲養祭	稲荷山養護学校	5名	3名
	13	土	よつば祭り	上田養護学校	2名	1名
	14	日	アトリエ CoCo 収穫祭	アトリエ	7名	4名
	21	日	そば打ち体験と忍者村	家族会ちくま レク	8名	11名
12	18	火	クリスマス会	スタジオイベント係	全員	
1	11	水	鏡開き	スタジオイベント係	全員	
1	27	日	白鳥園へ行こう！	さんさんネット スタジオ企画	6名	4名
2	24	日	家族のつどい	家族会（犀北館）	3名	8名
3	7	日	日帰り旅行	こんにやくパーク・群馬サファリ・上里カンターレ	13名	12名
3	10	日	ボウリング大会	ホクレクアトリエ企画	7名	4名

* 7月に実施した第44回ながのアビリンピック クリーニング部門には2名の利用者が出場をした。うち1名が銅賞を獲得した。

工場稼働日におけるカルチャー教室の実施
スポーツ・文化活動 外出他

月	日	曜日	内容	備考	利用者	他
4	11	水	ダンス/かるた取り	スタジオ食堂	10名	4名
6	5	火	バラ祭りに行こう	坂城町	8名	4名
7	11	水	スクリーンでDVDを見よう！	スタジオ食堂	9名	4名
8	29	金	手作りスイーツ	スタジオ食堂	10名	4名
9	26	水	ダンス発表の練習をしよう！	スタジオ食堂	11名	4名
10	31	水	足湯へ行こう	万葉超音波温泉	8名	3名
11	28	水	クリスマス会の飾りつけをしよう！	スタジオ食堂	5名	3名
1	23	水	みらいさんへ行こう	カフェみらい	9名	3名
2	19	水	音楽を楽しもう！	スタジオ食堂	10名	6名
3	27	水	スポーツをしよう！	月影体育館	6名	4名

* 今年度初めての企画が多かった。暑い夏、冷えた食堂でスクリーンを使ってDVD鑑賞。涼しげなスイーツ作り。地域に新しくできた「カフェみらいさん」での飲食と新年の抱負を語り合う会。等充実をしていた。

- ・スポーツをしよう。みらいさんへの外出にはマイクロバスを利用することで、全員が同時に移動することが可能となりより安全、安心して実施することができた。
- ・音楽を楽しもう！は、音楽療法士による音楽カルチャーを行った。ひとりひとりが打楽

器を使い演奏をしたり、ピアノやピアノカ、パーカッションに合わせて歌うなどとても楽しく和やかに行えた。日頃見せない笑顔を見せ、気持ちが高揚する中で自分のやりたいことや夢を語る方もいた。今後も継続をしていきたいと考える。

- ・外出が苦手な方もいるため食堂で楽しめる内容を設定したところ進んで参加ができた。
- ・カルチャーへの参加は自由選択とし、参加をされない方は生産活動を行った。

11 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

12 地域への開放状況

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

13 職員研修について

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

14 職員体制について

所長 1 名 サービス管理責任者 1 名 工場長 1 名

職業指導員 1 名 生活支援員 1 名 就労支援員 1 名

事務員 医師（嘱託）看護師（非常勤）

支援員と一緒に作業を進め、一人ひとりにあった作業の見極めを行うことや、面談等利用者に寄り添う支援を行った。

就労継続支援 B 型

1 利用者の内訳

出身市町別 千曲市 5 名 上田市 1 名 坂城町 1 名

性別 男性 4 名 女性 3 名

平均年齢 39 歳（21～48 歳 / 20 代...2 名 30 代...1 名 40 代...4 名）

障がい種別 知的障がい 療育手帳 B1...5 名

精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 2 級...1 名

身体障がい 身体障がい者手帳 3 級...1 名

2 通所方法

- (1) 送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 5 名
(うち 1 名は帰りのみ路線バスを利用)

- (2) 自転車 2 名

* 戸倉駅から事業所間の送迎は開所時から 8 人乗り乗用車 2 台で実施していた。

「2018 年度 日本郵便 年賀寄附金配分事業」により送迎・外出時用マイクロバスを整備。

平成 30 年 11 月 12 日からマイクロバスを利用している。

・事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている。

3 作業訓練内容

事業運営日数 270 日（基本的には木・日の週休 2 日制 他開所日は希望通所）

日 課 8:40～17:10 昼休み 50分 3時休み 20分 ダンス等 QOL10分程度
 (精神面・体力面で継続しての作業が困難な方、既往症のある方等、体調管理や個別対応が必要な方が多いため相談をしてできるだけ本人の体力等に沿った日課を決めてご自分のペースで作業を行っている)

作業訓練内容 タオルたたみ作業 袋詰め作業 他

状 況

- ・30年度には利用者増となった。
- ・短時間の作業から始め段階的に活動時間を延ばしている方、対人面で課題があり苦手な人と同時刻の電車に乗ることを避ける方。2名は15:40までの活動となっている。
- ・てんかん発作あり、デイケア1日と併用の方は、週3回午前だけの通所で様子を見ています。長時間立っての作業が難しいため、座って出来るガウンたたみを行った。本人の作業速度に合わせ1日に30枚程度を事前に用意している。また疲労感を軽減するため休憩時間を決め、無理なく作業できる環境にした。
- ・全員が個々の体調に合わせて、ご家族やご本人と話し合いながら、全体の休憩時間のほかにも休憩を設定する等して日課を作り作業を進めている。
- ・生活介護と就労移行支援の仲間と一緒に行く月に1～2回のカルチャーを楽しみにして作業のモチベーションにしている利用者もいる。

4 通所状況

通所率

H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
98.1%	89.6%	88.6%	94.2%	76.5%	94.7%

H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	平均
95.1%	87.8%	84.5%	85.1%	88.0%	90.9%	89.4%

- ・個々の体力および精神面等から通所状況は大きく異なる。週に3日のみの通所の方もいる。1名は対人面で特定の人に固執、同時に腰痛が悪化し1ヶ月以上通所が困難になった。比較的自由通所日には欠席の方が多く、祝日が多い月等は通所率が低い。中には自由通所日にも、積極的に通所をされる方もいた。

5 利用者の工賃支給

年・月	平均工賃額	年・月	平均工賃額
H30.4	18,050円	H30.10	18,525円
H30.5	19,350円	H30.11	15,721円
H30.6	16,925円	H30.12	19,721円
H30.7	20,917円	H31.1	15,336円
H30.8	17,225円	H31.2	13,914円
H30.9	17,017円	H31.3	24,267円
		月額平均	17,961円

6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労継続支援B型計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

健康管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

8 安全衛生管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

9 給食の提供

希望者には給食を提供（1食250円）

常時利用者 6名

昼食数 平成30年4月～平成31年3月 270日

合計1,199食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見収集（都度確認）

利用者の食物アレルギーの調査

誕生日メニューの実施（利用者の希望メニューによる）

給食検討会の実施（キッチンCoCo・栄養士・調理師・所長・給食担当）

10 QOL活動・カルチャーの実施状況

就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

11 CoCo家族会ちくま

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

12 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

13 職員研修について

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

14 職員体制について

所長1名 サービス管理責任者1名 工場長1名 職業指導員1名

生活支援員1名 目標工賃達成指導員1名 事務員 医師（嘱託） 看護師（非常勤）

生活介護事業

1 利用者の内訳

出身市町別 千曲市6名

性別 男性4名 女性2名

平均年齢 24歳（21～35歳/ 20代5名 30代...1名）

障がい種別 知的障がい 療育手帳 A1...4名 B1...2名

身体障がい 身体障がい者手帳 2級...1名（知的障がいと重複）

2 通所方法

自転車及び家族の送迎 6名

3 日課

- 9:00～9:30 通所
- 9:30～9:40 朝会、ラジオ体操
- 9:40～12:00 作業
- 12:00～12:10 清掃
- 12:10～13:00 休憩
- 13:00～15:00 作業、創作的活動
- 15:00～15:20 帰りもしくは休憩
- 15:20～15:50 ダンス
- 15:50～16:00 帰りの会

4 通所状況

通所率

H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9
84.5%	90.0%	91.8%	84.5%	73.5%	84.8%

H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	平均
73.5%	84.8%	68.9%	83.6%	81.8%	93.6%	83.5%

- ・週5回通所者3名、週4回通所者2名である。1名は年度途中で入所し、週に1回のペースで通所したが、圏域外へのショートステイとなり12月以降は通所がない状況となっている。体調不良が原因での欠席の方はほとんどなく、皆元気に安定して通所をされている。

5 利用者の工賃支給

年・月	平均工賃額	年・月	平均工賃額
H30.4	6,588円	H30.10	7,383円
H30.5	6,933円	H30.11	7,092円
H30.6	7,283円	H30.12	9,217円
H30.7	9,146円	H31.1	6,342円
H30.8	6,488円	H31.2	6,292円
H30.9	6,446円	H31.3	10,321円
月額平均		7,461円	

6 個別支援計画

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「生活介護計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

7 生産活動

《クリーニング作業》

タオル・ダスターのたたみ作業

ガウン類・作務衣ズボン・ホテル館内着（ジャージ）のたたみ作業

バスローブのしわ伸ばし（たたむ前にしわを伸ばし形を整える）

ガウン類のボタン止め

洗濯物の移動・結束

ウエス作り

商品の納品回収・配達業務補助

《その他》

食堂清掃（全体の清掃時間のほかに行う）

食材運び補助・昼食前のテーブル拭き、トレイの準備補助など

《実施状況》

- ・生活介護事業利用者の作業は作業室と通称きらきら棟で行っている。
作業室ではタオル・ダスターたたみとガウンのたたみ作業を主としている。皆、丁寧できれいな製品作りをすることができる。美容室のフェイスタオルを黙々と時間いっぱいたたむ方、午前と午後に自分で決めた枚数のみを毎日たたむ方、作業時間を決めてたたむ方と様々である。たたむ枚数やスピードも個々で異なる。全体のたたみ作業が連続して行われている中で、出来るかぎり本人に合わせた環境、日課で行えるようにと考えている。
- ・ガウンやバスローブのたたみ作業、仕上げ作業は整形や過程が難しい。そのため、たたむ前にボタンをとめる、台車からおろして、しわにならないよう伸ばして置く。館内着を色別、上衣・下衣に仕分ける。といった前処理を行っている。タオルよりも若干重量やかさがあるが「俺の仕事」と決めている利用者が率先して行っている。やり方や見本を見せ、職員と共に行うにつれて自分でやり方を覚え種類ごとに分けることができるようになった。
- ・以前はクリーニング作業をしていたが今は作業にのりにくくなった利用者がある。家事の延長のような取り組み（テーブルを拭く、雑巾を縫う等）を好む傾向にあるため日中の作業活動の中に、食堂清掃や食材運びの補助、新聞紙の整理といった内容を取り込んでいる。
- ・クリーニング品の配達業務 坂城町移住体験者住宅へのリース布団類の納品回収、企業へウエスの納品等を支援員とともにいった。あいさつや品物の扱いについて事前にレクチャーし元気に行うことができていた。
- ・平成 29 年 4 月から『増築棟 きらきら』が出来、活動を開始。2 年が経過した。パーテーションを設置し、個々のスペースを設け落ち着ける環境となっている。（通称）きらきらではダスターのたたみ作業とウエス作りを作業種としている。他に自立支援課題への取り組み。創作活動等も同スペースにて行っている。自閉症、ダウン症の利用者がそれぞれの特性に応じた個別の日課、環境にて過ごしている。
- ・きらきらで行うダスターのたたみ作業とウエス作りは、本人の体調等をみながら行っ

ている。個別に午前に2～3回、午後に2回ほど本人のペースに合った枚数で行っている。タイマーや枚数を表示するカード、日課表、声かけ等を行いながら行っている。時々不安定になり自傷行為のある方もいるが、日々送迎時や連絡ノートにて家族と連絡をとりあい共有しながら支援をすすめている。

- ・ウエスの販売については営業活動を行うところまでいかず、継続して受注のある企業1件と近隣の企業1件分に留まった。今後の営業活動について対策を練りたい。

《販売状況》

ウエス売上 1kg 350円		
月	重量(kg)	金額(円)
4月	0	0
5月	23	8,000
6月	0	0
7月	20	7,000
8月	10	3,500
9月	0	0
10月	0	0
11月	30	10,500
12月	0	0
1月	0	0
2月	10	3,500
3月	0	0
合計	93	32,500

8 その他の活動状況

体力づくり

「スポーツをしよう！」

前年好評だった体育館でのスポーツカルチャーを、生活介護事業の月間の予定に組み入れた。体重の増加や日常の運動不足や体力不足解消に向けて行う。希望をする利用者3～4名と職員2名、送迎運転手1名の体制をつくり、ともいきライフ月影(坂城町)の体育館でおおよそ1ヶ月に1回「スポーツをしよう」を行った。

体操、バスケットボール、バドミントン、バランスボールと様々な器具や遊具が設置されており、皆楽しみながら行うことができるため、うれしそうだった。広い空間でのびのびと自由に、安全に体を動かすことができ、運動不足解消や気分転換を図ることができた。継続をしていきたい。

「ウォーキングをしよう！」

以前から行っているウォーキングも継続し、その日の天候や利用者の体調に見ながら週1回程度行っている。スタジオ CoCo 周辺の千曲川河川土手を歩くコース、と三本木公園まで歩き公園内のグラウンドで走る等を行った。

雨天や雪、夏場の暑さ、健康状態（花粉症）により中止することも多く、通年とおして平均的には実施ができなかったが、今後も継続をしていきたい。

野菜作り、収穫の手伝い

ジャガイモとサツマイモ堀りの手伝いをした。自分たちで種や苗を植えて育てる。収穫する。とまではいかないが身近なところで行われている野菜作りに関わることができ貴重な体験ができた。

創作活動

・余暇を利用して紙に好きなキャラクターの絵を描く。他の利用者の目にも触れる箇所に展示を行った。

* 今後も個々の特性を考慮し、作業に取り組みやすい過ごしやすい環境を整えていく。また、障がい特性や個性に合わせ出来ることを増やしていきたい。支援者が各々専門職としての知識をもち力を発揮し、チームとして支援を行っていく必要があると考える。

9 健康管理

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

10 安全衛生管理

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

11 委託給食

希望者には給食を提供（1食 250円）

常時利用者 5名

昼食数 平成30年4月～平成31年3月 256日

合計 1,146食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見収集（都度確認）

利用者の食物アレルギーの調査

誕生日メニューの実施（利用者の希望メニューによる）

給食検討会の実施（キッチン CoCo・栄養士・調理師・所長・給食担当）

12 QOL活動・カルチャーの実施状況

就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

13 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

14 地域への開放状況

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

15 職員研修について

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

16 職員体制について

所長 1名 サービス管理責任者 1名 生活支援員 5名

事務員 医師（嘱託） 看護師（非常勤）

【第 2 種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業生活介護事業】 【フリースペース事業】

障がいのある人たちの表現活動を行う場として、2 年を終えることができました。当法人がこれまで実践してきた障がいのある人が地域の中で望むスタイルで自分らしく生活をおくことを支えてきた活動を、新たに須崎市(須高地域)において行っております。障がいのある人の多様な生き方に貢献するために、求められている必要となる資源を整えて、質の高いサービスを提供することで障がいのある人及び家族の望みをかなえることができるように更に一層と応えていくための所存を冷ますことなく持ち続けています。

アートカフェ CoCo に通ってくる障がいのある利用者たちは、自分の考えや想いを上手く言葉にして表すことが苦手だったり、そもそも言葉を扱うことが全くできなかつたりとする方が多いです。彼ら彼女たちの意思や想いは社会の中では見逃されやすいですが、私たちは日々彼ら彼女たちに真摯に向き合っており、声なき声や思いを丁寧に探り、感じ取ることに努めています。利用者たちは、自分の考えや想いなどを自らが好きである活動を通して自分らしく表現しています。個性的な色気をたっぷりと感じられる素敵な作品もたくさん生まれています。長野県内で行われている障がいのある人たちのアート展である「ざわめきアート」で入賞した方が数名いたり、他の団体等が主催とする作品展にも参加したりして、様々な場で利用者たちの作品を展示等しております。

今後も、表現活動や作品に芸術的な評価をもらえるアーティストも生まれてくるのではないかなとも思います。育成もしていきたいです。また、表現活動や作品の紹介や展示、販売、グッズの開発及び販売も行っていきたいです。

カフェの運営は平成 30 年度においては、スタッフ体制等の理由により休止しており、現在も継続中です。検討するべき課題です。

障害のある人たちの表現活動を行う場と併設する形で同時にフリースペース事業を行っています。不登校や引きこもりの状態にいる人たちの居場所づくりを行っています。自らのことを肯定できなかつたり自信を持てなかつたりする人たちが当事業所にて行っている活動(表現活動や社会体験活動等)に個々で自らに合った形で参加して取り組むことで、安心して活動できる居場所として過ごすことができる、社会や地域の中で自分らしく活躍していくことを成し遂げることができる、そのようなフリースペースの運営を目指しています。

生活介護事業

(利用者の推移)

(定員 10 名)	平成 30 年度総在籍者数	15 名	(平成 30 年度末登録者数	15 名)	
平成 30 年 4 月	4 名入所		・・・	在籍者数	14 名
	(特別支援学校高等部等卒業生	4 名)			
	(他事業所と併用	2 名)			
平成 30 年 7 月	1 名入所		・・・	在籍者数	15 名

(他事業所と併用 1名)

1 利用者の内訳

(6) 利用者総数 15名

(7) 出身等市町村別 長野市 6名 須坂市 6名 小布施町 1名 高山村 1名
千曲市 1名

(8) 性別 男 9名 女 6名(総数)

(9) 年齢 30.6歳(平成30年度末)

(10) 障がい種別 知的障がい者 14名

身体障がい者 3名

発達障がい者 1名 重複者数名あり

(6) 障がい支援区分 <3>3名 <4>5名 <5>4名 <6>3名

2 通所方法

(6) 徒歩または自転車 0名

(7) バイクまたは車(本人運転による) 0名

(8) 公共交通機関利用 0名

(9) 送迎 9名

(10) 家族または他事業所等による送迎 9名

(ア) 重複者あり

3 日課について

9:30 ~ 10:00まで	着替え 朝会 ラジオ体操等
10:00 ~ 12:00まで	午前の活動
12:00 ~ 13:30まで	昼食 休憩
13:30 ~ 15:00まで	午後の活動
15:00 ~ 15:30まで	掃除 おやつ 着替え 帰りの会等

利用者の事情または活動内容等によっては、このとおりの日課ではない。

土または日曜日は活動内容によって様々に設定した。

4 通所状況

通所実態(通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
45%	44%	47%	47%	47%	51%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
52%	53%	50%	51%	52%	50%	49%

上記の通所率の数字は、週に5~6日を開所としているところで、個人個人の事情により週に1~4日で通所している方も半数程度あり、その状況を条件にした通所率の数字である。

5 個別支援計画

本人や家族との面談や、関わりのある関係者等を含めた会議を開くなどして、本人のそれまで

の歩みや、好きなことや得意なこと、苦手なこと、行動面でや日常生活上の行為等で配慮すること等々に関して、情報収集や確認を行い、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成した。

何よりもまずは、本人中心というスタンスを重視して、願いやニーズ等を把握するように努めた。言葉にして相手に自分の意見や考えを伝えることが難しい利用者が多いので、日常の行動等を観察して分析したり、家族等の周りの関係者等からのアドバイス等をもらったりして、本人の意思や思いを探り、個別支援計画に反映していきました。当事業所外での、生活の場面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとって情報を共有して、そのうえで当事業所として担うべき課題に関しては、個別支援計画の目標として取り入れ対応にあたった。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行いました。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、定期的に支援計画を作成している。

6 活動について

【表現活動(絵画、造形、書道等の創作的活動他)等】

(1) 表現活動(絵画、造形、書道等の創作的活動他)

日々の日課の中で、活動内容に関しては、基本的に所員個々が気に入っている活動に個別に取り組んでいました。絵を描いたり、書道を行ったり、ウォーキングをしたり、音楽を聴いたり歌ったり、ペーパーで工作をしたり、話をしたり等々。毎週木曜日にはプロの講師の方である関孝之氏に来ていただいてアートワークショップを行っていただいた。プロの講師の方によるワークショップはより深みのある活動を行うことができ、より興味を持ち楽しんで活動に参加することができた。それらの活動を通して作製した作品を、ながのアートミーティングが主催する「ざわめきアート展」に応募して入選した方も数名おり、彼らたちは県内外の数か所の美術館等で展示や作者紹介の機会をいただくこともできた。事業所外での活動等にも積極的に参加した。

7 QOL 活動について

QOL 活動については日々の活動の中で取り入れ、実施しました。季節ごとの行事を企画して行い、楽しみました。ざわめきアート展等の外部で行われたイベントにもでかけて、楽しむことができた。

8 保健衛生について

(1) 健康診断について

- 2 回実施 -

第 1 回目

- ・日時 : 平成 30 年 6 月 28 日 (木) 午後 1:30 ~ 5:00
平成 30 年 7 月 5 日 (木) 午後 1:30 ~ 5:00
- ・実施 (依頼) 機関 : (財) 全日本労働福祉協会
- ・実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、胸部レントゲン、聴力検査 (対象者のみ)、血液検査 (対象者のみ)、心電図 (対象者のみ)、医師による触診及び問診
- ・受診者数 : 5 名

第 2 回目

- ・日時 : 平成 30 年 8 月 21 日(火)及び 8 月 27 日(月)
- ・実施(依頼)機関: 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師
及び医師
- ・実施内容 : 触診及び問診
- ・受診者数 : 0 名

その他

第 1 回目の診断結果が出来次第、その診断結果をもとに立岩 Dr 及び看護師より意見及び助言等をいただき、健康管理に関する指導をいただく機会ではあるが、平成 30 年度に関しては受診者はいなかった。

(2) 健康相談について

齊藤恵子看護師(嘱託)により、月に 1 回程度(火曜日) 1 人 20 分程度かけて行った。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4 月	1 回	7 名	10 月	1 回	9 名
5 月	1 回	7 名	11 月	1 回	9 名
6 月	1 回	8 名	12 月	1 回	9 名
7 月	1 回	8 名	1 月	1 回	9 名
8 月	1 回	8 名	2 月	1 回	9 名
9 月	1 回	9 名	3 月	1 回	9 名
実施回数 12 回			延相談者数 101 名		

(3) 肥満対策について

肥満状態若しくは肥満傾向にある利用者が数名いる。数名とも肥満に関しての自覚が苦手なようであり、食事量の管理等の支援は必要とする。昼食はキッチン CoCo より提供してもらっており、昼食はおかずやごはんの量は決まっているので、食べ過ぎるということはないのだが、家庭等に於ける食事は多くとったり、間食もあつたりするようであり、1 日をとおしては多めなのかもしれない。日常的に適切な量と内容等の食事をするように努めることに意識を持ってもらいたいと思うので、健康診断や健康相談等で得られる情報を確認しながら日々の支援において、そして家族ともやりとりして対応していきたい。

(4) 血圧について

毎月の健康相談にて、血圧測定を実施した。血圧が高めの利用者が 1 名いる。様子を見ていく。

(5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、鼻炎、痛み止め等の経口薬、及び消毒液、絆創膏、湿布、目薬等、かゆみ止め並びに体温計を整えている。生理通や頭痛の訴えにより、痛み止めの薬を渡す等の支援を行なった。自傷や肌が荒れやすい体質だったりして、手指等に傷がよくある利用者が数名いて、絆創膏が使われることが多かった。一部の風邪薬や目薬・湿布薬などのように全く使用しない薬もあった。

(6) 服薬支援について

服薬支援を行っている利用者は3名である。管理を行っており、行為は自身でできる。

(7) 「傷病記録」について

服薬、静養、癲癇の発作等の場合に必要な情報の記録し支援を行った。

(8) 嘱託の医師と看護師との連携について

平成30年8月に立岩医師による健康診断が行われたが当事業所よりは受診者はいなかった。斎藤看護師による健康相談を基本的に月1回程度実施した。

健康診断については第1回目の6月及び7月の健康診断の結果のデータを立岩医師に渡して、診断結果に応じて、必要な場合には各所員個別に指導及び助言等をいただく予定であったが、当事業所よりは参加者がいなかった。また日常の情報交換や共有を通して、利用者個別の健康状態や対応等について指導や助言をいただき、利用者の健康管理支援や日常や年度等の健康衛生活動の取り組みにつなげている。

(9) 個別の健康情報について

自身の体調不良等の訴えを行えない利用者が多いので、日常的に利用者の様子をしっかりと観察することで体調を把握している。また休むときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認等を行っている。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも所員個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっている。

(10) 清掃、整理整頓等について

清掃については、利用者によってそれぞれができる箇所を行っている。清掃を行っていない利用者もいる。従って、利用者が帰宅等した後に、職員が一斉に清掃を行っている。整理整頓にも心掛け、5Sが保たれた事業所を維持できるように努めている。

(11) その他

毎日の朝会において、利用者の健康状態の確認をまめに行った。

毎日、通所して来た際も含めて外から帰ってきた時には、インフルエンザ及び風邪等の予防も含めて、日常的に手洗い及びうがい液でのうがいを行うように努めた。行えない利用者もいた。

インフルエンザや感染性胃腸炎等が流行る時期には、朝会等で予防及び対処法について説明し、また予防及び対処マニュアルを配布して衛生管理の徹底に努めた。特に11月にはインフルエンザの予防接種の呼びかけをした。予防接種を受けた利用者もいたが、個人個人の事情により行わなかった利用者もいた。インフルエンザに罹患した方もおり、1週間程度休んだ。来年度も呼びかけはしていきたい。

9 給食について

- ・給食を楽しみに通所する利用者が多い。楽しい時間でもあった。
- ・キッチン CoCo より提供してもらっており、栄養士に作成したメニューで提供されており、適切であったと思われる。
- ・給食検討会にて給食に関する情報交換及び共有を行い課題検討を行った。嗜好調査も行い、好き嫌いやアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応してきた。好き嫌いでの嗜好による配慮は行ったが、アレルギー対応は特に必要がなく行わなかった。

- ・体重等など考慮して、職員が調節してごはんを盛ったり、また、調味料もかけすぎないようにと職員が行うなどして、健康面での配慮を行った。

10 旅行について

(1)実施内容等

第1回目

(ア)実施年月日

平成30年9月6日(木)~9月7日(金)

(イ)参加人数

計3名(利用者1名、家族1名、職員1名)

(ウ)旅行会社

日本旅行長野支店

(エ)行先他

『レゴランドジャパンと下呂温泉の旅』

・見学場所

1日目：風穴の森・まつりの森

2日目：レゴランドジャパン

・宿泊場所

下呂温泉「小川屋」

(オ)その他

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催しました。

第2回目

(ア)実施年月日

平成30年9月13日(木)~9月14日(金)

(イ)参加人数

計3名(利用者1名、家族1名、職員1名)

(ウ)旅行会社

日本旅行長野支店

(エ)行先他

『三鷹の森ジブリ美術館と鴨川シーワールドの旅』

・見学場所

1日目：ジブリ美術館 海ほたる

2日目：鴨川シーワールド

・宿泊場所

勝浦ホテル三日月

(オ)その他

アトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共催した。

評価及び課題

9月の上旬の2週にわたって2グループに分けてアトリエ CoCo、CoCoJAVJAV、家族会と共

催して実施しました。利用者総数に対して参加者はかなり少なかった。参加された方はのんびりとゆっくりとできて存分に満喫できたようであり、また事業所内外の人たちの交流を楽しめたようである。

当事業所単独での旅行については、年度計画としては立てていたが、実施計画を立てる余裕がなかったり等の理由で実施しなかった。

11 防災訓練について

(1) 防災訓練

第1回目

- ・実施日：平成30年 7月2日(月) 13時30分～14時00分
- ・参加者：利用者4名 職員6名 計10名
- ・内容：避難訓練。事業所内のカフェ厨房内のIHの不具合により、火災が発生したと想定して避難訓練を行った。
- ・課題及び反省点：

事業所が開所して1年経ったところでの避難訓練であり、前回までの経験を参考に、職員及び利用者双方を対象として、「通報・消火・避難訓練実施マニュアル」にのっとり、一連の動きを確認した。カフェの厨房より出火という事態を想定して、発見・通報・初期消火・避難(誘導)における、それぞれの対処方法等を順番どおりに一つ一つ確認した。発見から避難完了までの時間は2分19秒であった。前回より大幅な短縮になったが、それは利用者の方々に予め訓練を予告していたため、スムーズな避難が可能であったからと推察する。現実には火災が起こった際には事前連絡はできないため、今回の経験をもとに、それぞれの状況に合わせた相応な判断と行動ができることを目指して、状況に合わせた訓練を続けていきたい。

(2) 消防設備点検

総合点検として年に2回(平成30年5月及び11月)に業者に委託して実施した。

(3) その他

- ・自衛消防団の編成及び調整。職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置。

12 地域との協働について

- ・見学や研修を受け入れた。
(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、他事業所等)
- ・地域の諸団体等との連携を行い、様々な地域ネットワーク等に積極的に参加した(須高地域自立支援協議会等)

13 職員研修について

- ・ケア会議や職員会議を定期的実施し、日業業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めた。
- ・相談支援従事者初任者研修、サービス管理責任者研修、虐待防止研修、強度行動障害研修等の外部の機関が行う研修に積極的に参加し、知識や技術の向上に努めた。

14 職員体制について

所長	1名
サービス管理責任者	1名
生活支援員	5名
看護師（嘱託）	1名
医師（嘱託）	1名

フリースペース事業

[事業及び活動等の内容・課題・評価等について]

普段より、障害福祉サービス事業生活事業を運営しており、障害のある人のエンパワーメントを最大限引き出し活かした活動（表現活動（アート活動等））を行っております。その自由であたたかな空間として、不登校やひきこもりの子どもや大人たちが自分らしく過ごすことのできる癒しの場として利用していただくことを目指しております。平成30年度においては体制等に課題があり、運営をできませんでした。

個別にゆったりとのんびりと自分の思うように時間を過ごしたり、スタッフや利用する仲間たちとの会話を楽しんだり、相談をしたり、そしてアート関係の表現活動や調理実習等の社会体験活動等の、自らが楽しめて取り組むことのできる活動に参加したりして、居心地のよい安心できる居場所として、そして他者及び地域や社会とつながりを得ることで、自分らしく生きていくことのできるきっかけやパワーの源を得ることのできる場として、今後において運営を目指していきたいと思っております。

1 活動内容等について

(1) アート関係の表現活動について

毎月毎週木曜日に外部講師である関孝之氏に来ていただいて、生活介護事業の障がいのある利用者を対象としてアートワークショップを行っている。絵を描いたり、書を書いたりして、好きな表現活動を行うことで楽しく時間を過ごし、自らのことを表現していくことの面白さを味わうことのできる場面であるが、フリースペースの利用者も気軽に参加してもらいたいと思っている。

(2) そめそめカフェ

- ・そめ BU のおばちゃんたちと一緒に草木染めを行って、昼食を楽しむワークショップ
- ・4回開催

日時	草木染め種類	参加者数
平成30年6月16日(土)	よもぎ・たまねぎ	15名
9月15日(土)	マリーゴールド クズ	15名
11月17日(土)	クリ・アボガド・ケヤキ	15名
平成31年2月16日(土)	アカネの根	15名

平成 30 年度事業報告

第 2 種障害福祉サービス事業

(共同生活援助事業・居宅介護事業・短期入所(ショートステイ)事業・相談支援事業)

地域生活支援センターCoCo ながの・ちくま

この年度はグループホームの利用者の入退居が少なく、また、支援にあたる世話人の入れ替りも少なく、入居されている方の日々の生活に仕事の中心をおくことができたと感じています。普段できない部分の生活の場の環境整備、個別の買い物の付き添い、個別の通院の付き添い等、個別のかかわりも大切にすることができました。

また事業所内では、委託の相談員や計画相談スタッフとの連携、日中事業所との連携をながのとちくまのスタッフの連携等、多くの場面で連携を意識して支援にあたってきました。当事者の皆さんが地域で暮らすには、多くの方との連携を意識していくことが欠かせないと実感しました。

利用されている皆さんが住み慣れた地域で自分の夢を語り、暮らしていくことを実現させるために、ご本人・ご家族の声に耳を傾けながら支援していきたいです。

【共同生活援助事業】グループホーム

1. 事業の開始

平成 16 年 1 月 15 日	CoCo ホーム千 曲	(女性 4 名)
		平成 21 年 4 月～(女性 5 名男性 2 名)
		平成 28 年 3 月～(女性 6 名男性 4 名)
平成 17 年 7 月 1 日	CoCo ホーム白塚 102	(女性 4 名)
	CoCo ホーム白塚 103	(男性 4 名)
平成 18 年 8 月 7 日	CoCo ホーム表参道	(男性 6 名・女性 1 名)
		平成 22 年 6 月～(男性 7 名)
平成 20 年 12 月 1 日	CoCo ホーム蔵 町	(男性 7 名)
		平成 21 年 11 月～(男性 9 名)
平成 22 年 6 月 1 日	CoCo ホームぼたんの里	(女性 4 名)
平成 25 年 2 月 10 日	CoCo ホーム山 王	(男性 5 名)
平成 29 年 6 月 1 日	地域生活支援センターCoCo ちくま 開所	
	長野・須坂市内のホームを地域生活支援センターCoCo ながのの事業とし、千曲市内のホームを地域生活支援センターCoCo ちくまの事業とする	
平成 29 年 6 月 1 日	CoCo ホーム三本木	(男性 8 名)

入居者定員総数 5 1 名

・平成 30 年度の入居者数の変動

平成 30 年 5 月	CoCo ホーム千曲	女性 1 名入居(自宅より)
平成 30 年 6 月	CoCo ホーム三本木	男性 1 名退去 自宅へ
平成 30 年 9 月	CoCo ホーム千曲	女性 1 名退去 自宅へ

CoCo ホーム千曲 男性 1 名退去 ホーム三本木へ
平成 31 年 2 月 CoCo ホームぼたんの里 女性 1 名入居 (他ホームより)
入居者実数 47 名 (男性 34 名・女性 13 名)

2. 入居者の状況

< CoCo ホーム白塚 102 > 女性 3 名

- ・出身市町村 (長野市 2 名)(千曲市 1 名)
- ・年齢 39 歳 ~ 45 歳
- ・日中の場 キッチン CoCo 1 名 (就労継続 B 型)
アトリエ CoCo 1 名 (就労継続 B 型)
企業就労 1 名 (高齢者施設ことぶきの家 1 名)
- ・ホームの様子

ホーム内での人間関係によるトラブルが多く、人間関係の調整には多くの支援の時間を有している。他者に依存したい、他者に依存されたいといった思いがそれぞれに強く、原因は障がい特性、及びその方の生育歴に寄るところが強く、日常の情報共有、日中事業所との情報共有、日々の統一された支援を必要としている。支援者は日々の発信に適切に対応することを心掛け、医療との連携、環境の調整、今できることを実践している。

また、個別的な支援として、定期通院を必要としているため、通院と服薬が確実にできるよう日程の確認や通院時の付添い、服薬の確認の支援をしてきた。

< CoCo ホーム白塚 103 > 男性 4 名

- ・出身市町村 (長野市 1 名)(飯山市 1 名)(小川村 1 名)(筑北村 1 名)
- ・年齢 60 歳 ~ 74 歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo 3 名 (就労継続 B 型)
企業就労 1 名 (株式会社ミヤマ)
- ・ホームの様子

高齢期にさしかかった男性のメンバーが暮らすホーム。加齢による様々な体調の変化に対応して、通院や服薬を含めた健康管理の支援を続けている。4 名とも人間ドックを受診し、必要な治療に結びつけてきている。現在は 4 名とも元気に日中の就労・活動の場に通うことができている。

居室の整理整頓や衣服の管理が難しくなっており、個別に居室の整理を行なっている。また、ご本人の希望に合わせた外出・買い物や余暇の充実等の支援を広げている。

< CoCo ホーム表参道 > 男性 7 名

- ・出身市町村 (長野市 6 名)(坂城町 1 名)
- ・年齢 21 歳 ~ 58 歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo 2 名 (就労継続 B 型 2 名)
アートカフェ CoCo 1 名 (生活介護 1 名)
CoCo JAVJAV 2 名 (就労継続 B 型 2 名)
ななせ仲まち園 1 名 (就労継続 B 型)
企業就労 1 名 (長野リネン本社工場)
- ・ホームの様子

毎日ショートステイの仲間を受け入れるようになり、様々な方が利用をしているが、ホームの中は落ち着いた生活が続いている。夕食の配膳は声を掛けあったり、入浴の順番を声を掛けあったり、ホームの仲間同士で声を掛けあう雰囲気の良いホームとなっている。健康管理・金銭管理や余暇の過ごし方など、個々の生活課題にも目を向けて取り組んできた。

<CoCo ホーム蔵町> 男性 9名

- ・出身市町村 (須坂市 7名)(長野市 1名)(木島平村 1名)
- ・年齢 44歳~59歳
- ・日中の場 企業就労 9名(長野リネン須坂工場 8名・本社工場 1名)
- ・ホームの様子

企業就労・社員寮の経験が長く、35年以上の永年勤続の表彰を受けているメンバーもいる。独立心が高く、自分の生活スタイルが確立されている。最近、加齢に伴う体力の低下や、疾病も現れるようになってきた。しっかりと働き続けるための健康管理とともに、日常生活や余暇の経験の幅を広げる支援を心がけている。ご家族の高齢化や他界による、親から兄弟への代替わりで、身内との関係性に変化があり、ご本人を取り巻くご家族との関係調整の支援が始まっている。また、数名は定年を控え今後の生活の仕方についても考えていく時期となっている。

<CoCo ホームぼたんの里> 女性 3名

- ・出身市町村 (長野市 2名)(高山村 1名)
- ・年齢 26歳~59歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo 3名(生活介護 2名・就労継続B型 1名)
- ・ホームの様子

自然に恵まれた環境の中で住み込み世話人の支援を受けて暮らしている。ショートステイの利用者さんも受け入れながら、2名の入居者が暮らしていた。年度途中で1名の新規入居者があり現在は3名の入居者で暮らしている。

とても落ち着いた雰囲気の中生活をし、週末は帰省する人・余暇支援を受けて楽しむなど思いの過ごし方をしている。

<CoCo ホーム山王> 男性 5名

- ・出身市町村 (長野市 5名)
- ・年齢 24歳~55歳
- ・日中の場 企業就労 3名(株式会社ミヤマ 1名・轟電化工業 1名・丸一産商 1名)
アトリエ CoCo 1名(生活介護) CoCo JAVJAV 1名(就労継続B型)
- ・ホームの様子

長野駅に近い街中のホームとして平成25年に開所。他ホームから転居した2名からのスタートだったが、変わらない5名のメンバーでお互いの個性やペースを尊重しながら暮らしている。先輩メンバーを見習いながら、若いメンバーが生活場面で出来ることを増やして来ている。

<CoCo ホーム千曲> 女性 7名 男性 1名

- ・出身市町村 (長野市 3名)(坂城町 2名)(上田市 2名)(中野市 1名)
- ・年齢 20歳~53歳
- ・日中の場 クリーニング工房 CoCo 5名

(就労継続A型4名・就労継続B型1名)

スタジオ CoCo 1名(就労継続A型)

企業就労 2名(長野リネンサプライ1名・(株)ロビニア1名)

・ホームの様子

CoCo ホームの中で1番歴史のあるホーム。このホームを地域生活のスタートとして、一人暮らしから結婚まで実現させた先輩がいる。元気に挨拶を交わしたり、体調の悪い仲間に気遣いの言葉をかけたりと人間関係は良好。朝夕には共有スペースに男女混合の食事風景が見られる。新たな入居者となったメンバーもホームの雰囲気になじみ、仕事に余暇に思い思いの毎日を過ごしている。

<CoCo ホーム三本木> 男性 8名

・出身市町村(長野市4名)(千曲市2名)(坂城町1名)(須坂市1名)

・年齢 21歳~54歳

・日中の場 クリーニング工房 CoCo 3名(就労継続A型3名)

スタジオ CoCo 2名(就労継続A型1名・就労継続B型1名)

チューリップの家 1名(就労継続B型)

企業就労 2名(戸上リネンサプライ1名・西友1名)

・ホームの様子

平成29年度6月に新しく開所したCoCoホーム。地域のニーズに応えるために、ショートステイ付ホームとして8名の入居者がホームでの暮らしをスタートしている。

当初は慣れない集団での生活に戸惑いもあったが、現在は、食卓では冗談を交えた会話があり、食後も世話人や入居者同士の団欒する姿が見られている。日中はそれぞれの場所で就労され疲れて帰る方が多く、ホームに戻られてからは、心身共にリラックスできる環境を目指したい。

入居されている方の多くが、社会の中でトラブルを抱えやすい障がい特性を持っているため、トラブルを未然に防ぐ、または初期の段階で対応できる環境にしておく必要がある。

3.生活状況 / QOL等

各ホームとも、地域の中で行事や清掃活動に声をかけていただき、世話人と共に地域の実情に合わせて積極的に参加させていただいた。

それぞれのホームに個性があり、それぞれの入居者に生活のスタイルがある事を尊重しつつ、スタッフ体制を充実させる事で、より個別的な支援ができるよう心がけてきた。

余暇支援においては、ホーム毎の小旅行や食事会等の他に、ホーム間の交流を兼ねたプロ野球観戦・一般就労者対象の宿泊旅行等の企画を提案して実施した。また、買い物・映画・カラオケ・スポーツ等個別の希望に沿った余暇支援のニーズも多く、ガイドヘルプを利用して楽しんでいただいた。

4.職員体制

地域生活支援センターCoCo ながの

管理者 1名(ちくまと兼務) サービス管理責任者 2名 生活支援員 5名

世話人 16名 (白塚102・103) 3名

(表参道) 4名(宿直1名)

(蔵町)	3名
(ぼたんの里)	2名(宿直1名:住み込み)
(山王)	4名

地域生活支援センターCoCo ちくま

管理者	1名(ながのと兼務)	サービス管理責任者	1名	生活支援員	2名
世話人	14名	(千曲)	6名		
		(三本木)	8名		

5. 食事

各ホームとも手作りで栄養バランスのとれた食事の提供をこころがけると共に、世話人の負担を軽減するために、ヨシケイ、コープといった食材配達の業者を適時活用している。季節の行事メニューや誕生日メニュー、外食の企画等、入居者にアンケートをとりながら嗜好を取り入れた献立も作っている。入居者や体験で利用された利用者からは「食事が美味しい」と良い評価を頂いている。

6. 健康管理

日常の健康チェックに加えて、通院・服薬の支援を行ってきた。加齢とともに体調の変化が現れてきている入居者が多く通院の種類や回数が増えてきている。必要な人にはホームで血圧や体重測定を続けている。通院先は、地域の内科をはじめとして、歯科・眼科・耳鼻科・精神科・皮膚科・胃腸科・婦人科・整形外科・総合病院と多岐にわたり、定期通院の付き添いが必要なところを複数持っている入居者もいる。医療機関と連携しながら情報を共有して支援してきた。

また、40歳以上で人間ドックの受診を希望する方には、申込み手続から当日の付添いまでを支援しており、30年度は2ホーム、6名の入居者が受診した。疾患の早期発見に努めている。

冬期に感染が心配される「インフルエンザ」「ノロウイルス」等の対策としては、流行期に入る前から手洗い・うがい・消毒を各ホームで徹底する体制を整えた。今期は発症を広めることなく流行期を乗り切ることができた。

7. 防災体制

各ホームとも、前期後期2回の避難訓練を計画実施した。入居者の仕事の関係や帰省等の都合で全員が参加できる日程の調整が難しいホームもあった。

防災用品については期限切れの水や食料がないかを点検、不足の物を補充できるよう手配した。

また、水防法の改正に伴い、水害・土砂災害のイエローゾーンに入っているホームについては、防災計画の見直しを行っている。

8. 研修等

- ・月1回を目標にホーム毎の支援会議を行い、世話人と生活支援員で支援の振り返りと情報の共有及び支援の方向性の確認に努めた。
- ・長野市・千曲市・須坂市の自立支援協議会の各部会に参加して情報共有を行った。
- ・世話人研修は法人内部で1回、外部の研修への参加1回を実施し、ほぼ全員が出席して学ぶことが出来た。

第1回：6月27日(水)

講義：「良い支援のために」【基礎編】

講師：長野市障害者権利擁護センター 代表 奥村和枝氏

グループホームの実践発表：CoCo ホーム表参道・CoCo ホーム三本木

第2回：11月30日（木）

長野市ふくしネット世話人連絡会

学習会「様々な障がいについての理解」

講師：長野県あいサポーター研修

- ・その他内外の研修の機会に必要なに応じて参加して、支援のレベルアップに努めた。

9. 地域への開放

GHについての問い合わせや見学の希望を受け、その都度見学のご案内をしてきた。ホーム三本木については、地域の民生児童委員の方や保健師の方の見学を受け入れた。入居希望者や養護学校の先生方の見学希望があって対応した。

10. 評価及び課題

CoCo ホーム表参道を訪問すると、満面の笑顔を見せ迎えてくれるSさんがいる。重い障がいを抱えているSさんではあるが、ご本人の障がい特性に合わせた環境設定と、ご本人の希望に沿った支援を組み立てることで、多くあった課題行動も今ではほとんど見ることがない。ホームと日中事業所間との連絡を密にとることで、本人が困った時には早い段階で対応することができている。そして今年度の大きな変化として、帰省した自宅からホームに帰ってくるのがスムーズになっている。以前は、頑として動かずスタッフが迎えに行き何とか連れ帰る・・・といった状況だった。そんな中、ご家族に家庭でも同じ支援をして頂き、一人前の大人として丁寧な説明を心がけて頂けたことで、スムーズにホームに帰ってこれるようになった。私たちは、自分たちの現場だけではなく、ご家族にもわかりやすく支援の説明ができ、ご本人を取り巻く環境が統一できていることの大切さを教えられた。

CoCo ホーム千曲では、朝寝坊して慌てて出かけていくTさん。朝食も食べない、彼女のスタイルを貫き通していた。その頃は日中事業所での働き方にも影響が出ていた。それが昨年度の彼女の姿だ。朝起きられないのは血圧の問題もあり医療と連携した。朝食は食べやすいよう特別に一口おにぎりを提供した。その後、朝食は納豆ご飯に広がり、今年度末には「みんなと同じ朝食を食べたい」と本人から希望が出始めた。ここまでくると、朝は自分で起きて朝食を済ませ元気に出かけていくTさんの姿がある。もちろん日中事業所でも良い働く姿を見ることができる。頭ごなしに「朝起きられないあなたが悪い」と言ってしまうばそれまでだ。なぜ朝起きられないのかを研究すると共に、ご本人の希望に合わせた個別支援が大きな実を結ぶことが分かる。毎朝一口サイズのおにぎり提供、結構な手前はあるが、その特別なかわりが、ご本人を育てて行き、エンパワメントを進めるエネルギーとなる。ご本人の希望することに耳を傾け、一つ一つゆっくりと実践していくことが大切であり、また、職員全体で自分たちの支援の振り返りを常にしていきたいと感じる。

CoCo ホーム三本木に入居されている方の多くは、身辺処理の自立度が高く普段の生活については多くの支援を必要としていない。逆に、社会とつながる機会が多いため、社会的トラブルが絶えない。金銭をだまし取られたり、ある日突然荷物が届いたり、夜遊びした上ホームに帰って

こなかったり、酔いつぶれたり・・・日々の出来事には事欠かない状況にある。そんな中でも、利用者さんの「失敗する権利」を認めながら、トラブルはできる限り回避できるよう、支援者間の意思統一、及び関係者間の情報共有が欠かせない。当事業所だけで解決するのではなく、日中事業所、相談支援事業所、地域の相談支援センター、行政、保健師、警察・・・ご本人を取り巻く関係者の協力を大切にしていきたい。

「答えは現場が教えてくれる」、常に現場の支援を通して学び、地域で暮らす方々の生活、夢の実現を支えていきたい。

【短期入所事業】ショートステイ

「自立生活をしたい!」「グループホームで生活してみたい!」「将来的には自立した生活をしてほしい」「親元を離れての暮らしがイメージできる体験をさせたい」「緊急時に対応してもらえう場があると安心」という本人・保護者の願いに沿うべく、当法人の共同生活援助事業所住宅の一室を活用して短期入所（ショートステイ）の事業を開始して、9年が経過しようとしている。

この間、ご希望に応じて見学のご案内をしたり、希望者には面談・体験の手順を踏んで、新たに利用を開始していただいた人もいた。

利用のきっかけや目的は様々で、グループホームで生活リズムを作りたい人、家を離れる体験をしてみたい人、グループホーム入居に向けて練習したい人のほかに、家庭の都合や事情で緊急に利用したい人などであった。

1. 事業の開始

平成 22 年 7 月 1 日 CoCo ホーム表参道 / CoCo ホームぼたんの里

平成 29 年 6 月 1 日 地域生活支援センターCoCo ちくま (CoCo ホーム三本木)

2. 事業提供の場所と定員

CoCo ホーム表参道 定員 1 名

CoCo ホームぼたんの里 定員 1 名

CoCo ホーム三本木 定員 2 名

3. 利用状況 (月別のべ利用人数)

	H30. 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H31. 1 月	2 月	3 月
表参道	22	25	22	22	22	23	24	19	18	19	18	22
ぼたんの里	11	11	10	9	11	10	11	11	12	14	13	14

三本木	14	16	22	26	22	25	28	27	27	30	30	29
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

4. 評価及び課題

事業開始9年目、定期利用者（月1回・隔週1回）が定着している。

ホーム表参道においては、当法人内で福祉サービスを利用されている方が利用をしているが、ここ何年かでそれ以外の、地域で暮らす方のショートステイ利用希望が増えている。人員配置等安全を第一に考え、出来る限りの受け入れ態勢を整え受け入れてきている。限られた人数しか受け入れることができないが、利用をされている方からは評価して頂き、毎月の定期的な利用が続いている。

今年度も当法人内の方で数名の方が新規利用につながっている。平日にとどまらず、週末の利用を希望される方が増え、より一層利用ニーズは高くなっている。そのため、ほぼ毎日利用者を受け入れる状況が続いている。

ホームぼたんの里においては、ご家族の急な予定のために、緊急的に利用される方が数名いらした。定期的に利用されている方のため、緊急であっても問題なく利用することができている。日常的に利用していることが、「緊急状況を減らす」良い実践だったと思う。また、今後のご本人の生活を考え、自立の視点からご家族から少し離れたご本人の時間を作る為に、連泊にて利用を始めた方も増えている。

交通機関利用の不便さにより利用者が減ってはいるが、定期的に月に複数回利用される方や、連泊を希望する方が増えたため、利用日数は増えている。今後も、個別のニーズに合わせてご利用して頂ける環境を整えて行きたい。

ホーム三本木は、利用できる居室が2床あることが大きなメリットであり、利用の仕方はさまざまな方法を検討することができた。同じ日中事業所を利用されている方2人で同日に利用することで、日中事業所の送迎を利用することができる。ご家庭の事情により、週の半分を受け入れた方もいる。また、家庭内虐待の危険から緊急での利用を進めた方もあった。地域からの利用ニーズは高く、できる限りその希望に沿った受け入れを行っていききたい。

また、ショートステイを利用されている方のケア会議には、必ずスタッフが参加し、情報の共有を行ってきた。ショートステイ利用時の適切な関わり方の参考にすると共に、自立に向けた今後の支援に活かすことができている。

利用の理由としては、ご家族の介護軽減もあるが、よりご本人の自立を視野に入れた利用を希望されていることが多いと感じる。障がいの重い方であっても、地域で自立した生活を送るための地域社会資源として有意義に活用されることにつながり、今後も利用頻度は高くなっていくと思われる。

また、利用希望がない方においても、スタッフがケア会議に参加したり、ご家庭・ご本人の様子をお聞きする中で、定期的なショートステイを利用することがご本人のために適していると判断できるものについては、積極的にショートステイの利用をすすめ、利用につなげて行きたい。

ショートステイ利用時だけに限らず、生活全体を視野に入れた利用を提案していきたい。

【居宅介護等事業】 地域生活支援センターCoCo ながの -

事業開始年月日 平成 18 年 7 月 1 日

平成 22 年 5 月より、長野市基準該当事業所として登録

事業内容

- ・居宅介護事業（身体介護中心・家事援助中心・通院等介助）
- ・行動援護事業
- ・移動支援事業
- ・長野市障害児自立サポート事業
- ・市町村障害児（者）タイムケア事業

職員体制

管理者 1 名 / サービス提供責任者 1 名 / 居宅介護等従事者 5 名

行動援護従事者 2 名 / 移動支援従事者 8 名 / タイムケア等従事者 8 名

利用者

日中の通所事業利用者 / グループホーム入居者

在宅単身生活者 / 在宅の障がい者・児（日中を他法人事業所利用）

長野養護学校児童・生徒 / 稲荷山養護学校児童・生徒

特別支援学級及び情緒学級在籍児童・生徒

評価及び課題

<居宅介護事業>

居宅介護事業については、ヘルパーの不足により当事業所だけでは担うことのできない利用希望について、他事業所との協力体制の上、支援提供を続けている。情報の共有、ケア会議への参加等を行うことで、関係者間との連携を円滑にとることができた。

年々、通院等介助の利用を希望される方が増え続けている。障がいを抱える方にとって、通院に関する支援はとても重要な部分であり、適切な支援提供がされるべきである。特に地域で暮らす方達にとっては、その人を大きく支える部分であり、これからもそのニーズは増え続けて行くと思える。また、グループホーム入居者の高齢化も進み始め、通院を担うことのできるヘルパーが今後必要になる。

<移動支援事業・行動援護事業>

移動支援については、当法人の日中活動事業所を利用されている方及び退所者、グループホーム入居者、また地域にて在宅生活をされている方に対して、買い物や社会生活上必要な外出支援及び、余暇活動等の社会参加に係る支援を個別的、またはグループとして提供することができ、総合的に支援をすることができた。

ご本人からの希望に沿った外出計画を立て、付き添うことで、ご本人の余暇支援を支える重要な支援を提供することができている。また、なかなか自分から希望を伝えることのできない利用者さんに対しては、情報提供・相談・実際に体験してみるといった支援を提供することで、その方の余暇の充実や広がり、または自己選択・自己決定の充実が図られてきている。利用者さん一

人一人が希望する内容に応えることで、その先にはその人らしい地域での暮らしがあり、その人の幸福があると言える。

行動援護については、当法人内の方の利用希望、及び当法人以外の場からの利用希望があり、出来る限り対応してきている。そのため、地域で暮らす重い障がいを持つ方の社会参加を支え、余暇支援、外出支援を積極的に提供することが出来ている。しかし、対応が困難な場合もあり、今後も行動援護従事者の育成、確保が必要となっている。行動援護に従事することのできるヘルパーの確保が急務であり、ヘルパーやスタッフの専門的スキルの獲得も必要となっていく。

< 障害児自立サポート事業・タイムケア事業 >

障害児支援においては、利用されている児童が学童期を過ぎたため、全体の利用時間は減っている。主に学校の長期休暇中に利用が主なものとなった。しかし、利用する児童については、個別の活動が必要となる方が多く、支援者の配置に配慮が必要なことが多くあった。

受け入れた際には、集団での活動、外出等を通じ、様々な社会体験を積む時間を提供することができた。複数の事業所を利用している児童については、ケア会議を通して各事業所間の情報共有を計ると共に、統一した支援につなげることができている。

特別支援学校在学中の児童さんについては、サービス利用に関すること、また生活上の困りについてケア会議に参加する等相談にのることができた。タイムケア事業としてお預かりするだけでなく、相談にのる、今後について一緒に考えるとといった地域の社会資源としての役割を果たすことにつながっている。また、個別の相談を受ける中で、当法人に計画相談を依頼される方が増えており、児童期からの信頼関係の築きが大切だと言える。

今後も活動の充実及び、個々に合わせた療育的支援の充実を図っていきたい。

< 全体的課題 >

利用者一人一人のその人らしい要望、多様な要望に応え、充実した地域生活を支えるためには、サービス提供従事者の増員、スキルアップ、及び統一された支援提供が不可欠。

行動援護従事者は、行動援護従事者研修、または強度行動障がい支援者養成研修への参加が義務づけられているため、計画的に研修会への参加をすすめると共に、計画様式や記録様式を整えてきた。

スキルアップについては、行動援護従事者研修・強度行動障がい研修への派遣を続け、行動障がいを持つ方に対して質の高い支援が提供できるようにすると共に、発達障がい児・行動障がい等を持つ重度の障がい児・者の支援を受けることのできる体制を作っている。

また、発達障がいをお持ちの方の利用希望も増えている。発達障がいの方への支援においては、専門的な知識、技術を持つことが求められている。そのため、知的障がい福祉協会等が開催するセミナー、研修会等に積極的にスタッフ派遣し、学び、日頃の支援に活かしながら、今後も利用者さんからの直接的なニーズ・潜在的なニーズに応えられる充実した支援を提供していきたい。

利用実績

	居宅介護 (身体介護・家事援助・通院等介助)			行動援護			移動支援			タイムケア			長野市障害児 自立サポート		
	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用P
平成30年 4月	3	4	4.0	7	20	68.0	19	21	123.0	7	24	68	4	16	114.75
5月	2	3	3.0	5	16	53.0	17	18	111.5	7	25	57.75	4	16	98.00
6月	4	5	5.5	5	15	51.0	18	20	112.5	11	38	115	4	12	71.25
7月	3	3	4.5	8	20	72.0	13	16	94.5	8	28	5	5	25	179.50
8月	3	3	3.0	6	22	76.0	17	19	98.5	7	22	66.25	5	28	225.50
9月	4	5	5.0	7	22	78.5	15	17	96.0	9	25	78.5	4	15	101.50
10月	4	7	7.0	6	17	65.5	21	23	119.0	12	36	117.75	4	12	75.50
11月	2	4	4.0	6	21	75.0	27	28	181	7	19	34.00	4	12	92.75
12月	7	9	10.5	7	19	69.5	18	19	115.5	7	21	45.25	5	15	120.75
平成31年 1月	3	4	4.5	6	20	70.5	16	17	85.5	7	25	52.75	5	19	138.00
2月	4	5	6.5	6	17	54.5	16	16	80.0	11	29	74.25	4	12	98.25
3月	5	6	8.0	7	17	65.5	20	21	112.5	6	24	53.25	5	25	207.75
合計	44	58	65.5	76	226	799.0	217	235	1329.5	99	316	767.75	53	207	1523.50

【相談支援事業】

相談支援専門員が『ちくま』と『ながの』各事業所にて、それぞれが専任で障害福祉サービス等利用計画の作成に取り組むことができた。昨年と同様、長野市からの依頼や高等部卒業に当たり障害福祉サービスを利用したい新規の利用者様の障害福祉サービス等利用計画の作成を行った。また、サービス更新、ご本人・ご家族からの相談（サービス追加・変更等）などに合わせてケア会議を実施してきた。ご本人・ご家族と市ケースワーカー、サビ管、相談支援専門員が顔を合わせて障害福祉サービス利用の状況把握や意向確認を行える良い機会となった。各種サービスの利用方法の相談等、ご本人やご家族に寄り添い身近な存在として相談支援専門員がいたことは、安心につながったように感じる。

相談支援専門員や障害福祉サービス等利用計画の質を向上させるために、指定事業所連絡会に執行部として出席し情報収集、情報共有や各種研修への参加を重ねてきた。

受給者証の管理においても障害福祉サービス支給決定期間終了後、一定期間を過ぎた時点で、受給者証の把握ができていない方の一表を毎月作成した。その一表を事業所へ配布し、家庭や市町村ケースワーカーへの確認を促した。また、内部の報告書についても、請求担当と相談しながら情報把握しやすいものを利用してきた。

市町村によって、提出書類や提出方法が異なる点や、受給者証の発行時期遅滞や更新内容と支給決定された内容に相違がある点等、戸惑う部分があったが順調に進めることができた。

		ながの			ちくま		
		サービス等 利用計画	モニタリング	認定調査	サービス等 利用計画	モニタリング	
H30	4月	6	6	0	7	2	
	5月	8	8	0	14	0	
	6月	9	7	0	7	10	
	7月	13	14	0	2	4	
	8月	2	9	0	6	4	
	9月	7	8	1	7	11	
	10月	5	11	0	2	3	
	11月	6	6	1	2	5	
	12月	9	13	0	4	5	
	H31	1月	13	13	3	1	3
		2月	10	7	1	4	3
		3月	17	13	0	21	2
合計		105	115	6	77	52	

【長野市障害児（者）ケアプラン作成事業】

長野市ケアプラン作成事業については、指定計画相談支援事業の補助的な役割となっている。当法人の持つ長野市障害児ケアプランは、すべて指定障害児相談支援事業に移行することができているため、平成30年度には長野市ケアプランは作成されなかった。

【千曲・坂城障害者(児) 基幹相談支援センター事業】

千曲市、坂城町より事業委託を受け、センターにスタッフを派遣している。

今年度より相談員が5人となり、相談に対応。所長からスーパーバイズを受けながら、相談員の持っている資格の専門性を活かしケースを担当する事ができている。

相談件数はH28年度から約3倍に増加。障害種別としては精神障害の方からの相談の増加が際立っている。支援方法としては、電話相談が圧倒的に多い。入口は電話からの相談が多いが、そこからの訪問や面談につながっていく為、訪問や面談の件数も増えてる。また、直接話せなくてもメールでならつながれるケースもあり、メールの件数も増えている。

支援内容としては、記録を入力の際複数チェックを行っている。就労の相談で福祉サービスにつなげるケース等が多くなっている。また、児童に関してもサービス利用に関する相談が多くなっている。件数としては多くないが、虐待対応や権利擁護に関する相談へも関係機関と協力をしながら対応を行った。

地域生活支援拠点等整備の話し合いをグループワーキングとして行った。

基幹相談支援センターのスキルアップも含め、相談支援専門員のスキルアップやフォロー、事業所側との相談支援事業への理解や協力も必要であり、今後そのような機会を作っていきたい。

【長野市障害者相談支援センター事業】

長野市は7法人が相談支援センターの委託を受け、それぞれ専門員の配置を行い、地域の総合的な相談窓口としての役割を担っている。当法人も今年度長野市より委託を受け、その一つとしてスタートを切っている。

障がい当事者や関係者からの相談で地域の実状を把握する他、困難ケースや地域課題の抽出を行い検討する連絡会への参加、長野市の自立支援協議会である「長野市障害ふくしネット」への関わり、県や圏域単位での連絡調整などの業務に携わった。

今年度の相談実績としては下記の通りである。

障がい種別登録人数（実人数）

身体	(視覚)	(聴覚)	知的	精神	発達	(高次脳)	その他	合計
4	2		12	19	11	2	5	51

障がい種別相談延べ件数

身体			知的	精神	発達		その他	合計
46			357	714	203		149	1,469

身体障がいに視覚障がい・聴覚障がいを含み、その他には高次脳障がいを含む。

支援方法別相談延べ件数

訪問	来所	電話	メール	支援会議	その他	合計
85	20	410	17	55	882	1,469

その他には関係者との連絡調整を含む